

4. アンケート調査

4.1 市民アンケート調査

4.1.1 趣旨

再生可能エネルギーや風力発電に関する市民感覚や風力発電の設置計画の認識状況、また、守りたい自然環境や景観等の地域環境情報等に関する意見を収集し、風力発電ゾーニング計画における「環境保全を優先すべきエリア」と「風力発電の導入可能なエリア」の検討を深めるための資料として活用する。

4.1.2 実施概要

実施主体：石狩市

実施対象：無作為に抽出した市民 1,000 名

実施時期：平成 29 年 12 月 22 日～平成 30 年 1 月 26 日

実施方法：アンケート調査票に返信用封筒を同封し、回収を行う。

調査票：図 4-1(1)～(4)に示す

配布数：1,000 通

回収数： 262 通（回収率：26.2%）

風力発電のゾーニング計画に関するアンケート調査票

※封筒あて名のご本人がお答えください。

I. ご自身のことについてお聞きます。 ※ 該当するものに○をつけてください。

I-1 年代 ① 10 歳代 ② 20 歳代 ③ 30 歳代 ④ 40 歳代 ⑤ 50 歳代 ⑥ 60 歳代 ⑦ 70 歳代 ⑧ 80 歳以上

I-2 性別 ① 男 性 ② 女 性

I-3 居住地区 ① 生振 ② 北生振 ③ 新港 ④ 樽川 ⑤ 八幡 ⑥ 緑ヶ原 ⑦ 花川 ⑧ 花川東 ⑨ 花川北 ⑩ 花川南
⑪ 花畔 ⑫ 緑苑台 ⑬ 本町 ⑭ 志美 ⑮ 美登位 ⑯ 厚田区 ⑰ 浜益区

I-4 家族構成 ① 本人 (回答者) ② 配偶者 ③ 子 (※: 未就学児 小学生 中学生 高校生 その他) ④ 父 ⑤ 母 ⑥ 祖父
⑦ 祖母 ⑧ 兄弟姉妹 ⑨ 孫 ⑩ その他 () ※ あてはまるものすべてに○をつけてください。

I-5 石狩市にお住まいになって通算何年になりますか。 通算 _____ 年

※ 現在働いている方にお聞きます。

I-6 主な勤務地 ① 石狩市内 (石狩湾新港地域以外) ② 石狩湾新港地域 ③ 札幌市 (_____ 区) ④ その他 (_____)

II. 環境、エネルギー対策についてお聞きます。 ※ あてはまるものすべてに○をつけてください。

II-1 環境やエネルギー問題に関する情報をどこで得ることがありますか。
① 新聞 ② 雑誌・書籍 ③ テレビ・ラジオ ④ インターネット ⑤ 学校 ⑥ 講演会・セミナー ⑦ 市広報や冊子 ⑧ その他 (_____)

II-2 普段の生活のなかで、環境に関して関心のあることはどのようなことですか。
① 大気や水質、土壌、騒音、振動などの生活環境 ② 身近な生き物 (動物や植物) や野生生物などの保全
③ 身近な景色から、海、山、川を含む自然の景観 ④ 海辺や川辺の利用、登山や森林浴などの自然との触れ合い
⑤ 家庭や工場・事業所から排出されるごみや廃棄物 ⑥ 地球温暖化や温室効果ガスの排出、電力・化石燃料の消費など、地球環境とエネルギー
⑦ 特にない ⑧ その他 (_____)

地球温暖化の進行は、人為的に排出されるCO₂などの温室効果ガスによる影響が大きいとされています。CO₂の排出が少なく、化石燃料を使用しない再生可能エネルギーの利用が近年注目されていますが、再生可能エネルギーについてお聞きます。なお、**各設問の言葉は別添資料 (用語解説) をご覧ください。**

II-3 あなたが知っている再生可能エネルギーの種類はどれですか。
① 太陽光発電 ② 太陽熱利用 ③ 風力発電 (陸上・洋上) ④ バイオマス発電 ⑤ 水力発電 (小水力含む) ⑥ 地熱発電
⑦ 雪氷熱利用 ⑧ 温度差熱利用 ⑨ 潮流発電・波力発電 ⑩ 知っているものはない ⑪ その他 (_____)

II-4 今後、石狩市内で取り入れていく再生可能エネルギーとして、あなたが望ましいと思うものはどれですか。
① 太陽光発電 (家庭・事業所) ② 太陽光発電 (メガソーラー) ③ 太陽熱利用 ④ 陸上風力発電 ⑤ 洋上風力発電
⑥ 小型風力発電 ⑦ バイオマス発電 ⑧ 大規模水力発電 (ダムなど) ⑨ 小規模水力発電 (河川や水路など) ⑩ 地熱発電
⑪ 雪氷熱利用 ⑫ 温度差熱利用 ⑬ 潮流発電 ⑭ 波力発電 ⑮ その他 (_____)

III. 風力発電についてお聞きます。

III-1 風力発電に対して期待することはどんなことですか。 ※ あてはまるものに○をつけてください。(最大3つまで)
① 地球温暖化対策やCO₂排出削減への貢献 ② 輸入に頼らないエネルギー供給源の確保 ③ 電力を活用した新しい産業を作り出すこと
④ 設置やメンテナンスに伴う雇用の増大 ⑤ 新しい観光や地域イメージを作り出すこと ⑥ 新しい景観を作り出すこと
⑦ 地元住民の電気料金の値下げ ⑧ 停電などの非常時に、風力発電の電力が優先的に地元に配電されること
⑨ 電力出産地と電力消費地の人的・物的 (農林水産物、特産品など) 交流の拡大 ⑩ 特にない
⑪ その他 (_____)

III-2 風力発電に対して気になることや不安に思うことはどんなことですか。 ※ あてはまるものに○をつけてください。(最大3つまで)
① 騒音・振動・低周波音などによる健康被害 ② これまでの景観が損なわれること
③ シャドーフリッカー (羽根を旋回させるとその影が回転により明滅する現象) の発生 ④ テレビ・ラジオなどの電波への干渉
⑤ 鳥類などの動植物、生態系への影響 ⑥ 農業、漁業など地域産業への影響 ⑦ 台風、地震などへの耐久性、倒壊などの事故
⑧ 地域のイメージが損なわれること ⑨ 不動産・地価の下落 ⑩ 特にない
⑪ その他 (_____)

※ 裏面(2 ページ)もお答えください。

図 4 - 1 (1) 市民アンケート調査票 (1/4)

質問Ⅳ-3 Ⅳ-4

記入用紙



図4-1 (3) 市民アンケート調査票 (3/4)



図4-1(4) 市民アンケート調査票(4/4)

4.1.3 調査結果

アンケートの各設問の回答結果を以下に示す。

【Ⅰ. ご自身のことについてお聞きします。】

【Ⅰ－1. 年代】

年代は、「60 歳代」が 74 人（28.5％）で最も多く、次いで、「70 歳代」が 57 人（21.9％）、「40 歳代」が 33 人（12.7％）であった。

表 4－1（1） 年代

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	合計
	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上	
人数（人）	14	10	22	33	28	74	57	22	260
割合（％）	5.4%	3.8%	8.5%	12.7%	10.8%	28.5%	21.9%	8.5%	100.0%

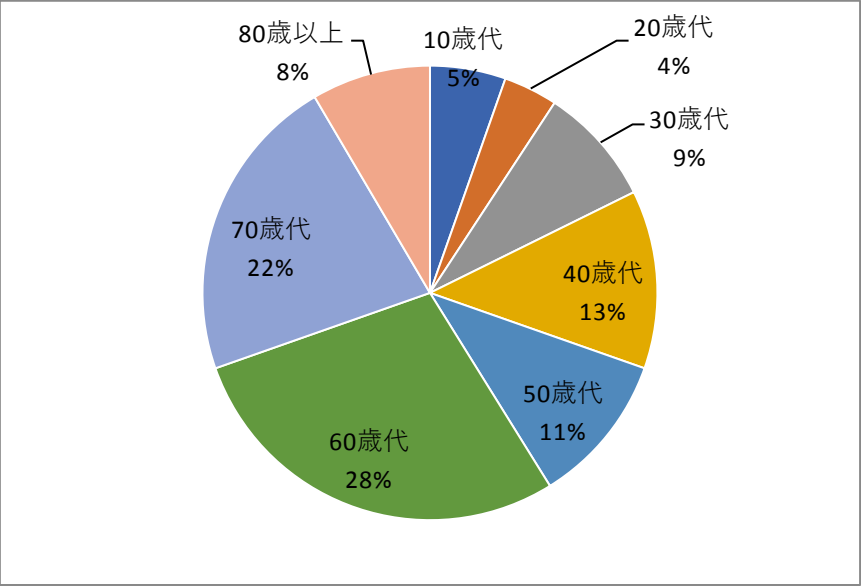


図 4－1（5） 年代

【Ⅰ－2. 性別】

性別は、「男性」が 85 人（32.6%）、「女性」が 176 人（67.4%）であった。

表 4－1（2） 性別

選択肢	①	②	合計
	男性	女性	
人数（人）	85	176	261
割合（%）	32.6%	67.4%	100.0%

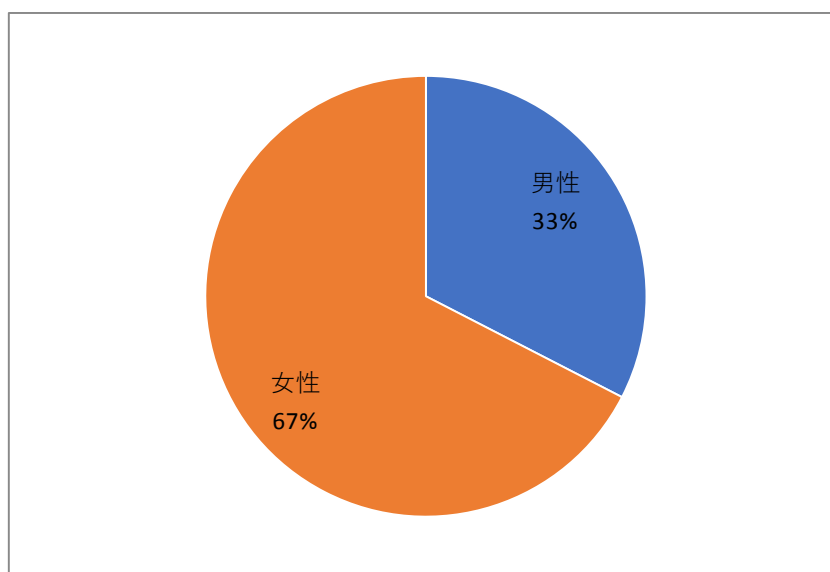


図 4－1（6） 性別

年代と性別のクロス集計では、10代は男性が多く、50代は男性と女性の人数が同じであり、その他の年代は女性が多い結果となっている。

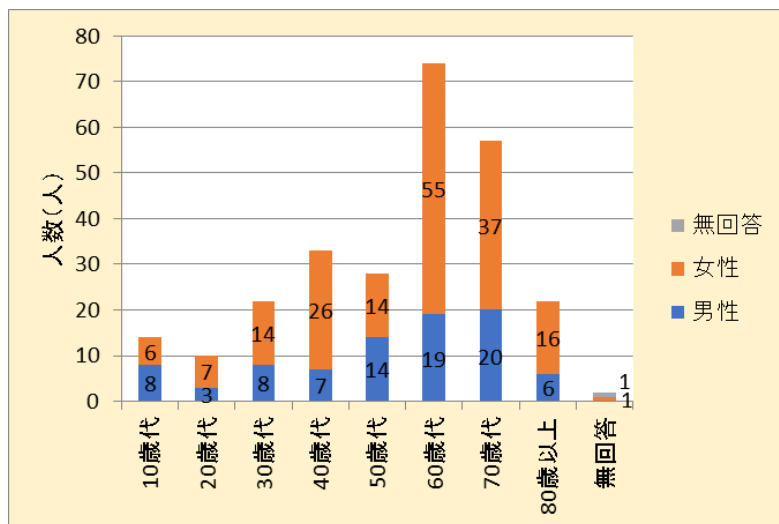


図 4 - 1 (7) 年代と性別

【I-3. 居住地区】

居住地区は、「花川南」が 69 人 (26.6%) で最も多く、次いで、「花川北」が 67 人 (25.9%)、「浜益区」が 33 人 (12.7%) であった。

表 4-1 (3) 居住地区

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	生振	北生振	新港	樽川	八幡	緑ヶ原	花川	花川東	花川北
人数 (人)	1	1	0	20	3	3	13	2	67
割合 (%)	0.4%	0.4%	0.0%	7.7%	1.2%	1.2%	5.0%	0.8%	25.9%
選択肢	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	合計
	花川南	花畔	緑苑台	本町	志美	美登位	厚田区	浜益区	
人数 (人)	69	10	7	3	0	0	27	33	259
割合 (%)	26.6%	3.9%	2.7%	1.2%	0.0%	0.0%	10.4%	12.7%	100.0%

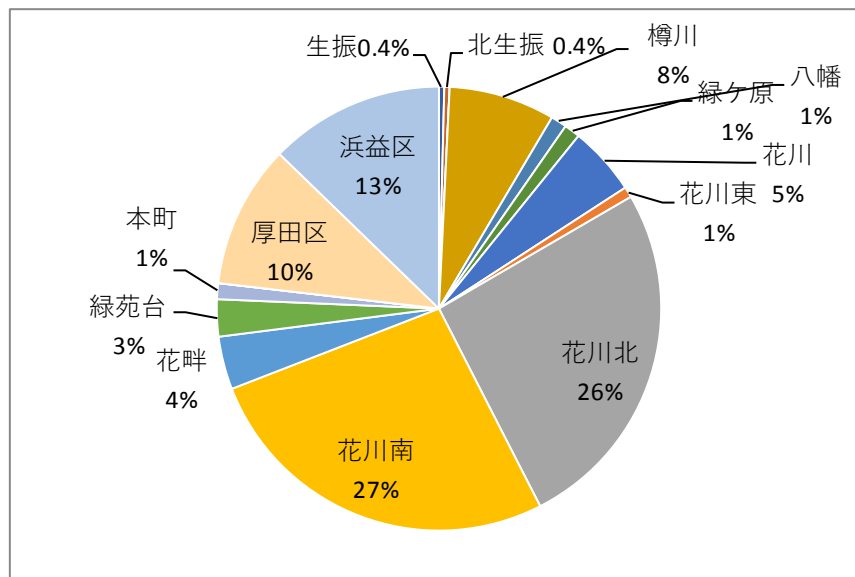
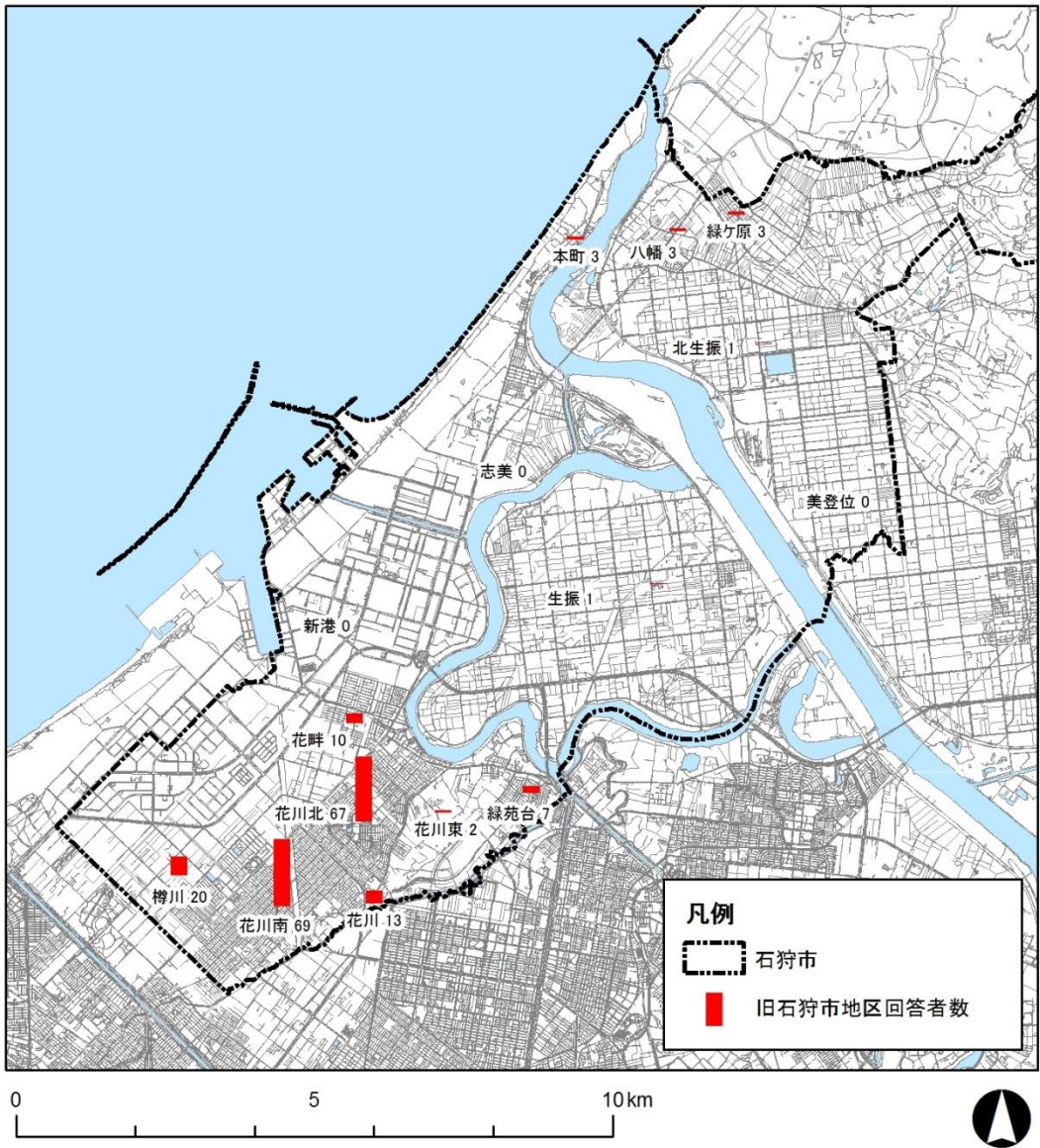


図 4-1 (8) 居住地区

旧石狩市地区の回答者数の分布図を図に示す。旧石狩市地区においては、特に人口が集中している、花川北、花川南、樽川等の南部の地域からの回答が多くを占めている。



背景図：基盤地図情報
※数字は回答者数を示す。

図 4－1（9） 旧石狩市地区の回答者数の分布

居住地区と性別のクロス集計では、厚田区は男性が多く、その他の地区は女性が多い結果となっている。

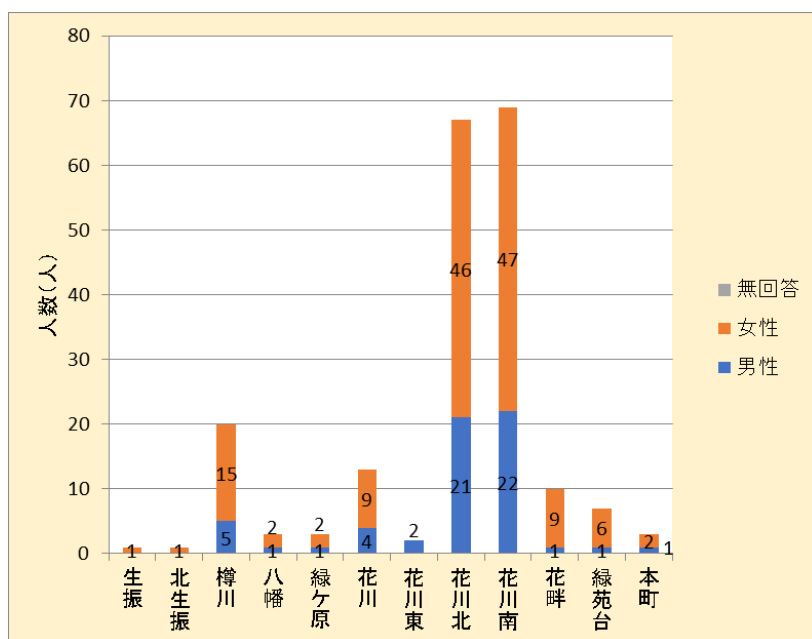
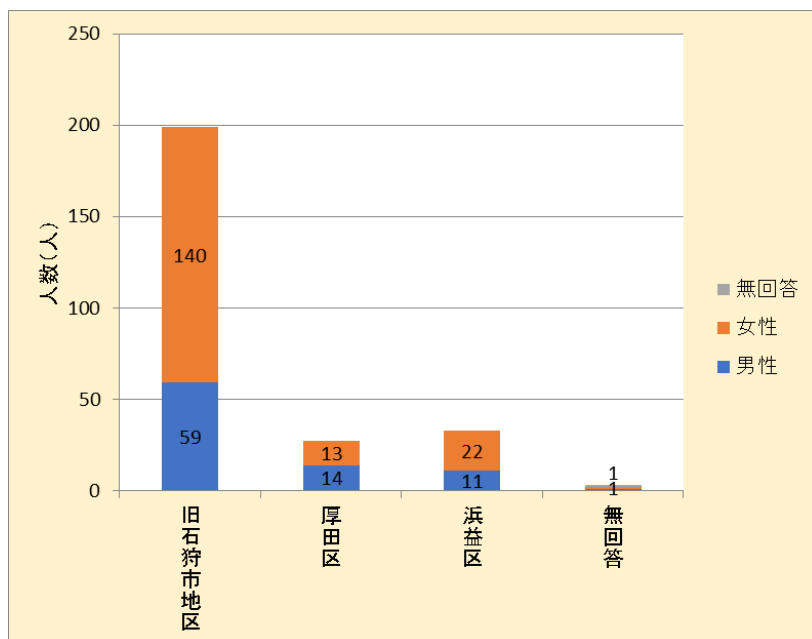


図 4-1 (10) 居住地区と性別

居住地区と年代のクロス集計では、旧石狩市地区及び厚田区は、全年代において回答が得られている。浜益区においては、20 歳代～40 歳代の回答が得られていない。旧石狩市地区及び浜益区においては、60 歳代が多く、厚田区では 70 歳代が多い結果となっている。

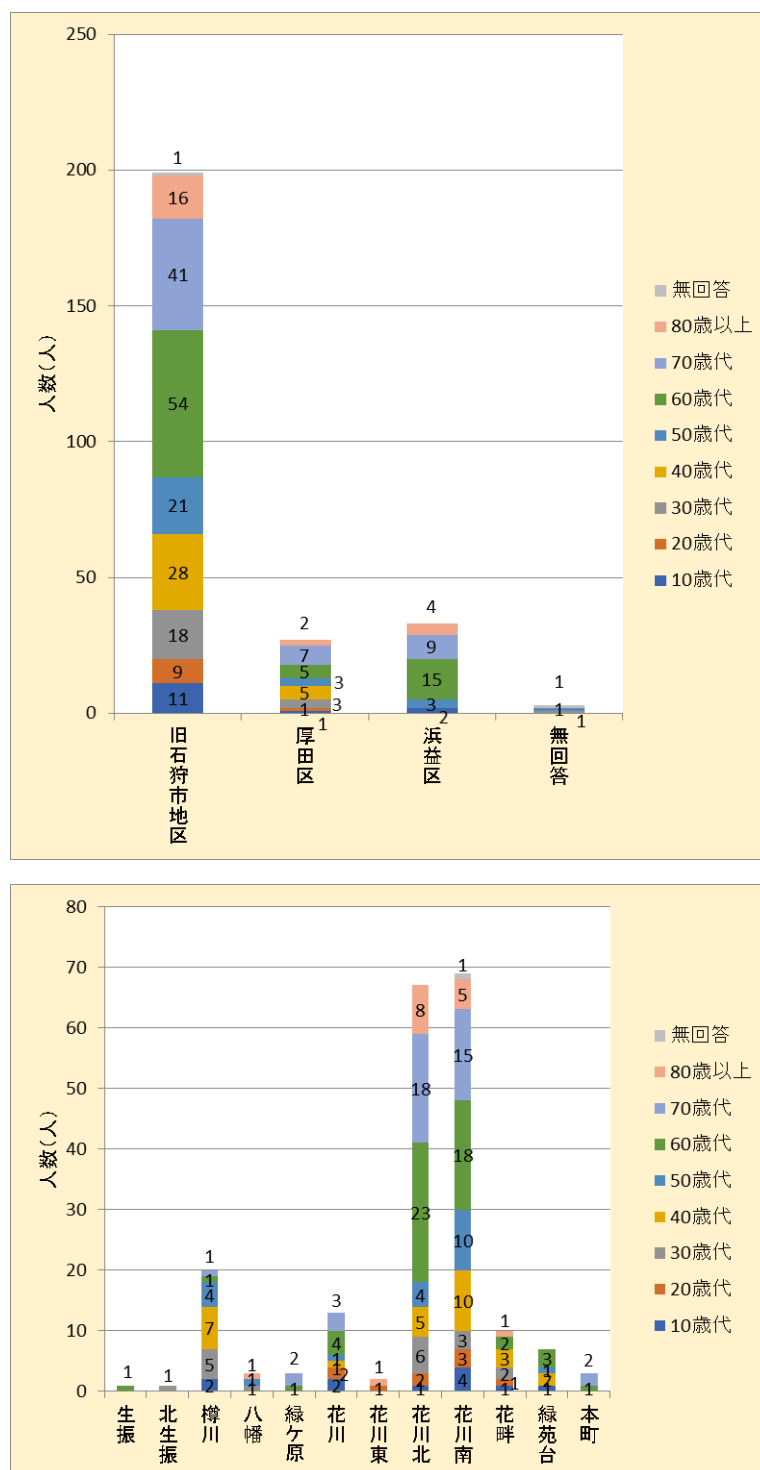


図 4 - 1 (11) 居住地区と年代

【Ⅰ－4. 家族構成（複数回答可）】

家族構成は、「本人」を除いては、「配偶者」が 123 人（46.9％）で最も多く、次いで、「子」が 48 人（18.3％）、「母」が 43 人（16.4％）であった。

表 4－1（4） 家族構成

選択肢	①	②	③	④	⑤
	本人	配偶者	子	父	母
人数	262	123	48	25	43
割合（％）	100.0%	46.9%	18.3%	9.5%	16.4%
選択肢	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
	祖父	祖母	兄弟姉妹	孫	その他
人数	4	6	17	7	2
割合（％）	1.5%	2.3%	6.5%	2.7%	0.8%

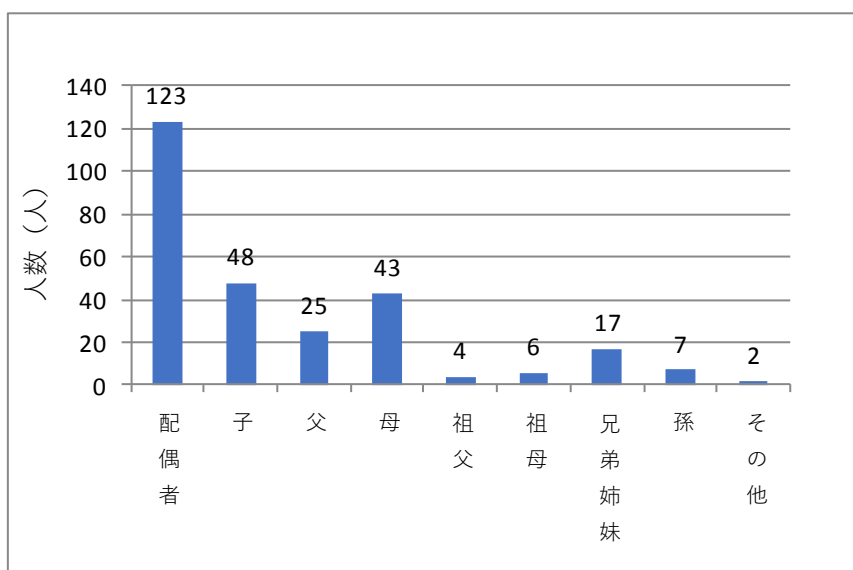


図 4－1（12） 家族構成

家族構成について、総務省統計局ホームページの「世帯・家族の属性に関する用語」を参考に、世帯の種類別人数を集計した。その結果、核家族世帯が 148 人（56.5%）で最も多く、次いで、単独世帯が 91 人（35%）であった。

表 4－1（5） 家族構成（世帯の種類）

選択肢	単独世帯	核家族世帯	3 世代世帯	その他の世帯	合計
人数	91	148	11	12	262
割合（%）	34.7%	56.5%	4.2%	4.6%	100.0%

※世帯の種類は総務省統計局 HP「世帯・家族の属性に関する用語」を参照

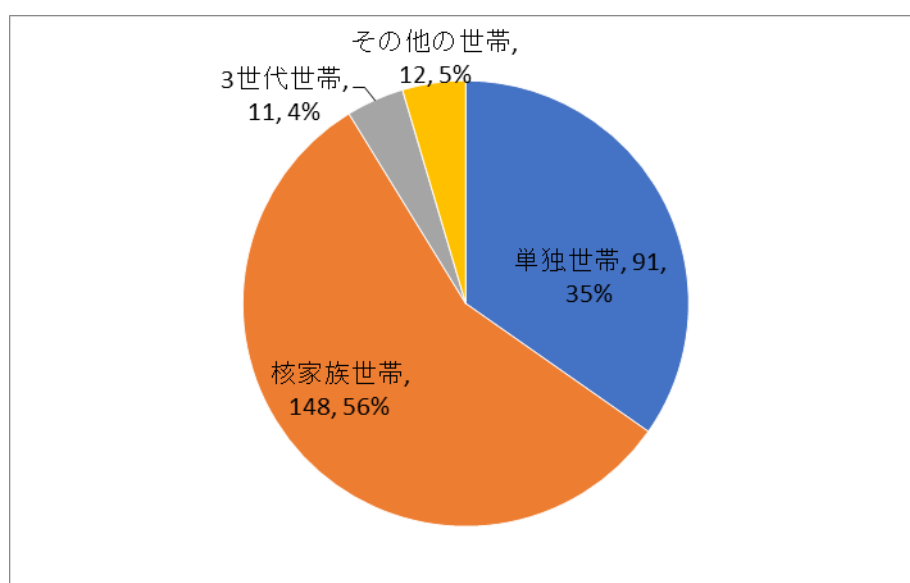


図 4－1（13） 家族構成（世帯の種類）

【Ⅰ－5. 石狩市にお住まいになって通算何年になりますか。】

通算居住年数は、「31 年以上」が 121 人（46.2％）で最も多く、次いで、「16～20 年」が 30 人（11.5％）、「26～30 年」が 27 人（10.3％）であった。

表 4－1（6） 通算居住年数

区分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
	0～5 年	6～10 年	11～15 年	16～20 年	21～25 年	26～30 年	31 年以上	
人数（人）	23	21	17	30	23	27	121	262
割合（％）	8.8%	8.0%	6.5%	11.5%	8.8%	10.3%	46.2%	100.0%

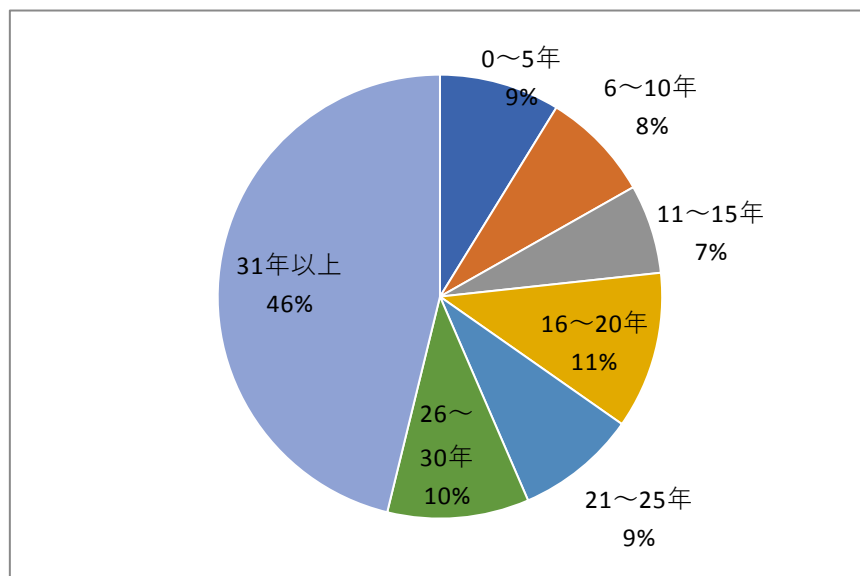


図 4－1（14） 通算居住年数

通算居住年数と性別のクロス集計では、全ての年数において女性が多い結果となっている。特に、31年以上においては女性が75.2%を占めている。また、通算居住年数と年代のクロス集計では、60歳から80歳以上の年代の多くが31年以上となっている。20歳代～50歳代は居住年数にばらつきがみられ、30歳代は0～5年が最も多くなっている。10歳代は6年～20年の間に集中している結果となっている。

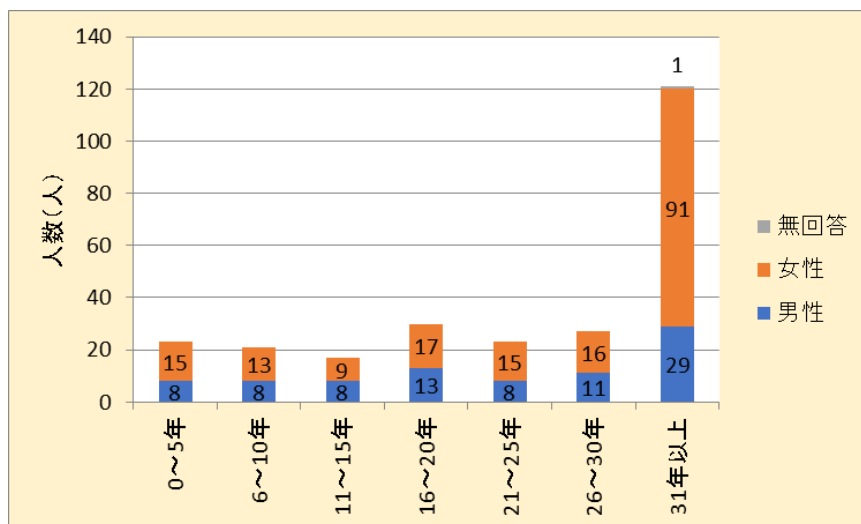


図4-1 (15) 通算居住年数と性別

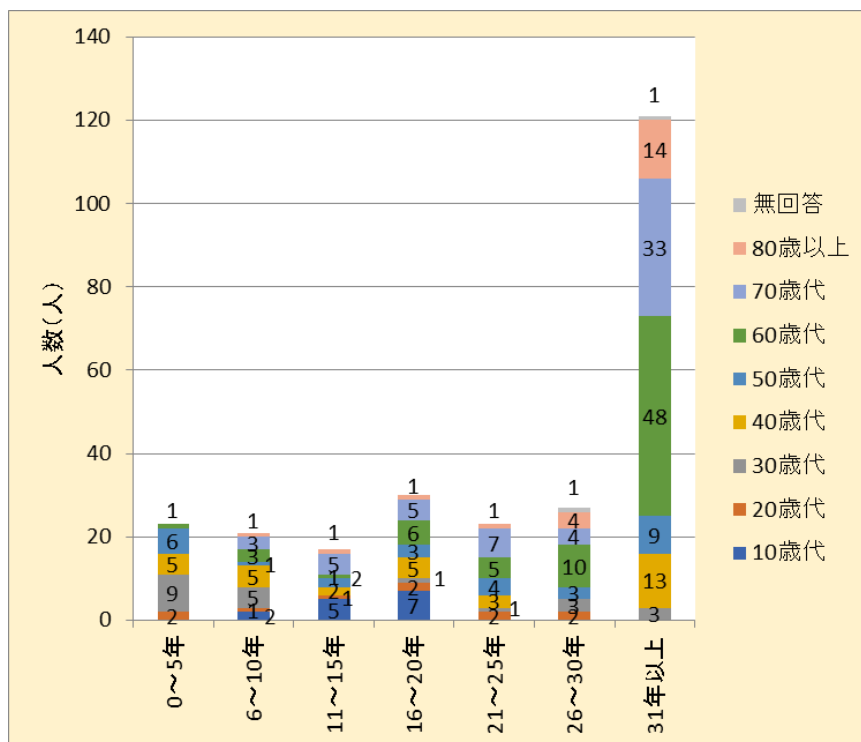


図4-1 (16) 通算居住年数と年代

【Ⅰ－6. 主な勤務地】

主な勤務地は、「石狩市内（石狩湾新港地域以外）」が 56 人（48.7％）で最も多く、次いで、「札幌市」が 42 人（36.5％）、「石狩湾新港地域」が 12 人（10.4％）であった。

表 4－1（7） 主な勤務地

選択肢	①	②	③	④	合計
	石狩市内 （石狩湾新港 地域以外）	石狩湾 新港地域	札幌市	その他	
人数（人）	56	12	42	5	115
割合（％）	48.7％	10.4％	36.5％	4.3％	100.0％

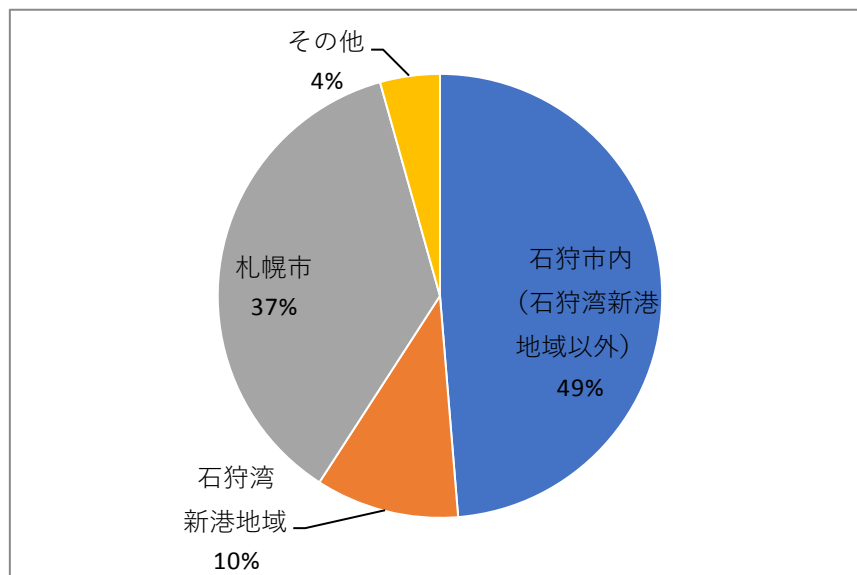


図 4－1（17） 主な勤務地

主な勤務地と性別のクロス集計では、男性女性ともに無回答が最も多く、回答者全体の56.1%を占めている。勤務地としては、石狩市内及び札幌市内に多い結果となっている。また、主な勤務地と年代のクロス集計では、60歳から80歳以上の年代の多くが無回答となっている。30歳代～50歳代は勤務地にばらつきがみられ、20歳代は勤務地としては札幌市が多くなっている。10歳代は無回答が多い結果となっている。

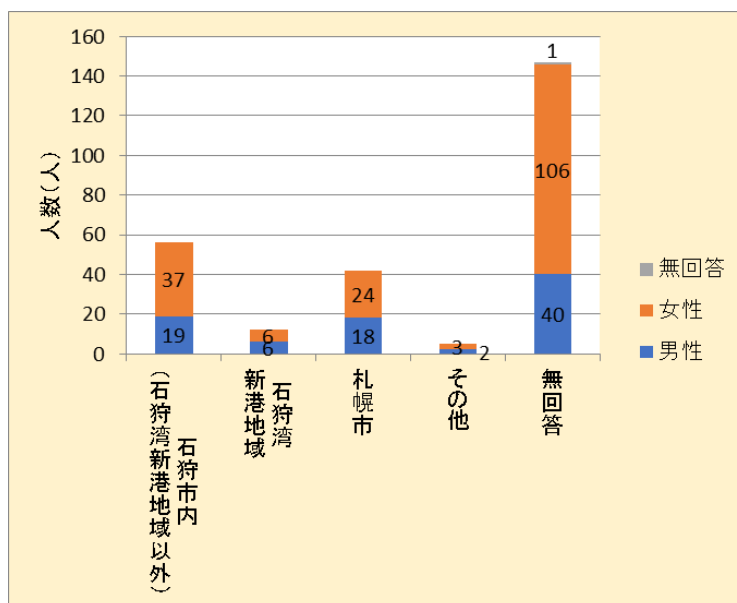


図4-1 (18) 主な勤務地と性別

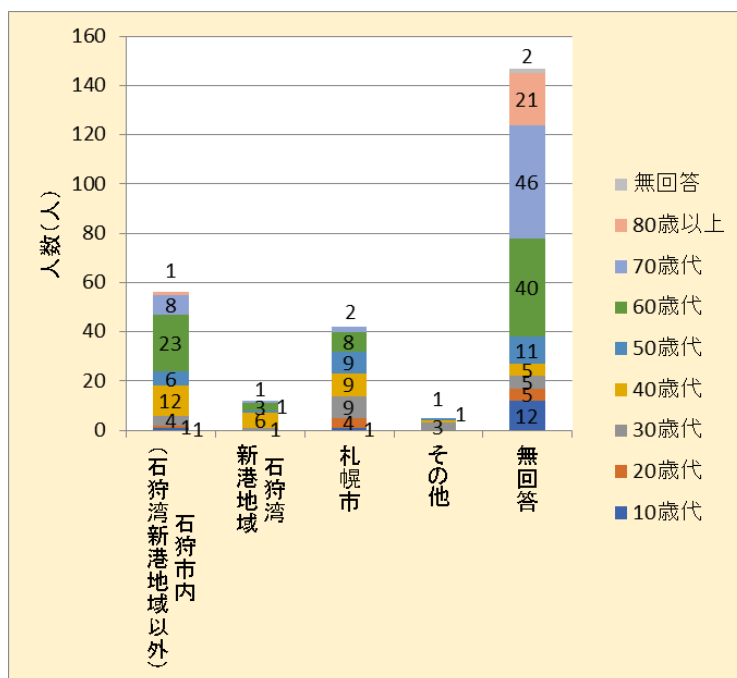


図4-1 (19) 主な勤務地と年代

【Ⅱ. 環境、エネルギー対策についてお聞きます。】

【Ⅱ－1. 環境やエネルギー問題に関する情報をどこで得ることがありますか。

(複数回答可)】

環境やエネルギー問題に関する情報の入手先は、「テレビ・ラジオ」が 205 人 (78.2%) で最も多く、次いで、「新聞」が 178 人 (67.9%)、「市広報や冊子」が 75 人 (28.6%) であった。

表 4－1 (8) 環境やエネルギー問題に関する情報の入手先

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	新聞	雑誌・書籍	テレビ・ラジオ	インターネット	学校	講演会セミナー	市広報や冊子	その他
人数 (人)	178	41	205	55	14	5	75	4
割合 (%)	67.9%	15.6%	78.2%	21.0%	5.3%	1.9%	28.6%	1.5%

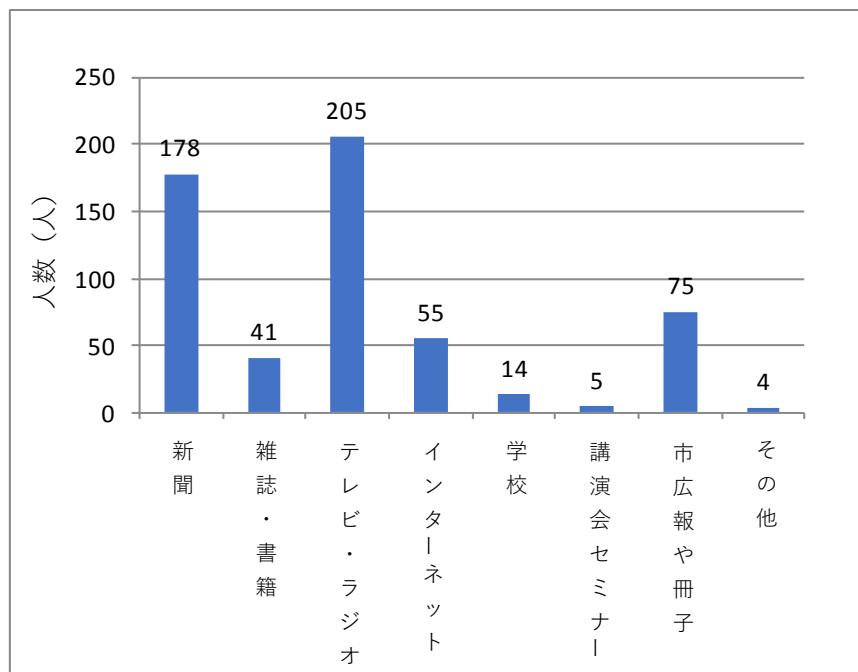


図 4－1 (20) 環境やエネルギー問題に関する情報の入手先

年代と環境やエネルギー問題に関する情報の入手先のクロス集計では、10 歳代は学校、20 歳代から 80 歳以上はテレビ・ラジオが最も多い結果となっている。30 歳代から 80 歳以上については、新聞も大きな割合を占めている。

項目別にみると、「新聞」と「テレビ・ラジオ」は全年代で回答が得られた。「雑誌・書籍」は 20 歳代で 0 人、「インターネット」は 80 歳以上で 0 人、「学校」は 30 歳代、60 歳代から 80 歳以上で 0 人、「講演会セミナー」は 10 歳代から 50 歳代、80 歳以上で 0 人、「市広報や冊子」は 20 歳代で 0 人、「その他」は 10 歳代から 30 歳代、50 歳代及び 60 歳代で 0 人であった。

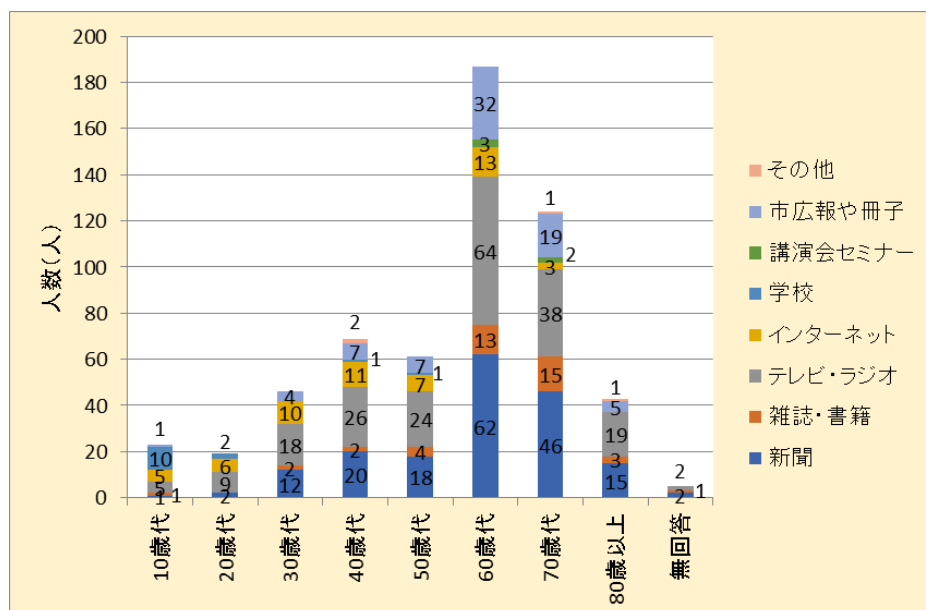


図 4－1（21） 年代と環境やエネルギー問題に関する情報の入手先

【Ⅱ－2. 普段の生活のなかで、環境に関して関心のあることはどのようなことですか。
(複数回答可)】

環境に関して関心のあることについては、「大気や水質、土壌、騒音、振動などの生活環境」が145人(55.3%)で最も多く、次いで、「地球温暖化や温室効果ガスの排出、電力・化石燃料の消費など、地球環境とエネルギー」が134人(51.1%)、「身近な景色から、海、山、川を含む自然の景観」が112人(42.7%)であった。

表4－1(9) 環境に関して関心のあること

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
選択肢	大気や水質、土壌、騒音、振動などの生活環境	身近な生き物(動物や植物)や野生生物などの保全	身近な景色から、海、山、川を含む自然の景観	海辺や川辺の利用、登山や森林浴などの自然との触れ合い	家庭や工場・事業所から排出されるごみや廃棄物	地球温暖化や温室効果ガスの排出、電力・化石燃料の消費など、地球環境とエネルギー	特になし	その他
人数(人)	145	67	112	61	102	134	22	1
割合(%)	55.3%	25.6%	42.7%	23.3%	38.9%	51.1%	8.4%	0.4%

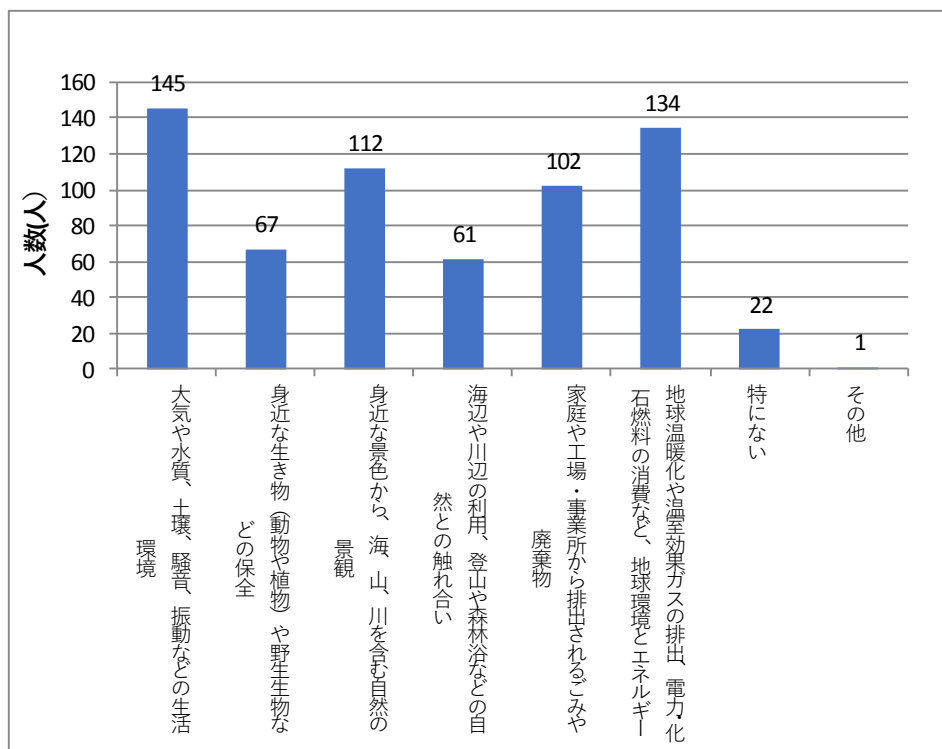


図4－1(22) 環境に関して関心のあること

年代と環境に関して関心のあることのクロス集計では、40 歳代から 60 歳代及び 80 歳以上は「大気や水質、土壌、騒音、振動などの生活環境」が最も多くなっている。20 歳代と 70 歳代は「地球温暖化や温室効果ガスの排出、電力・化石燃料の消費など、地球環境とエネルギー」が最も多くなっている。10 歳代と 30 歳代は「身近な景色から、海、山、川を含む自然の景観」が最も多くなっている。

項目別にみると、「海辺や川辺の利用、登山や森林浴などの自然との触れ合い」については、20 歳代で 0 人であった。また、「特にない」については、50 歳代で 0 人であった。その他の項目については、全ての年代において回答が得られている。

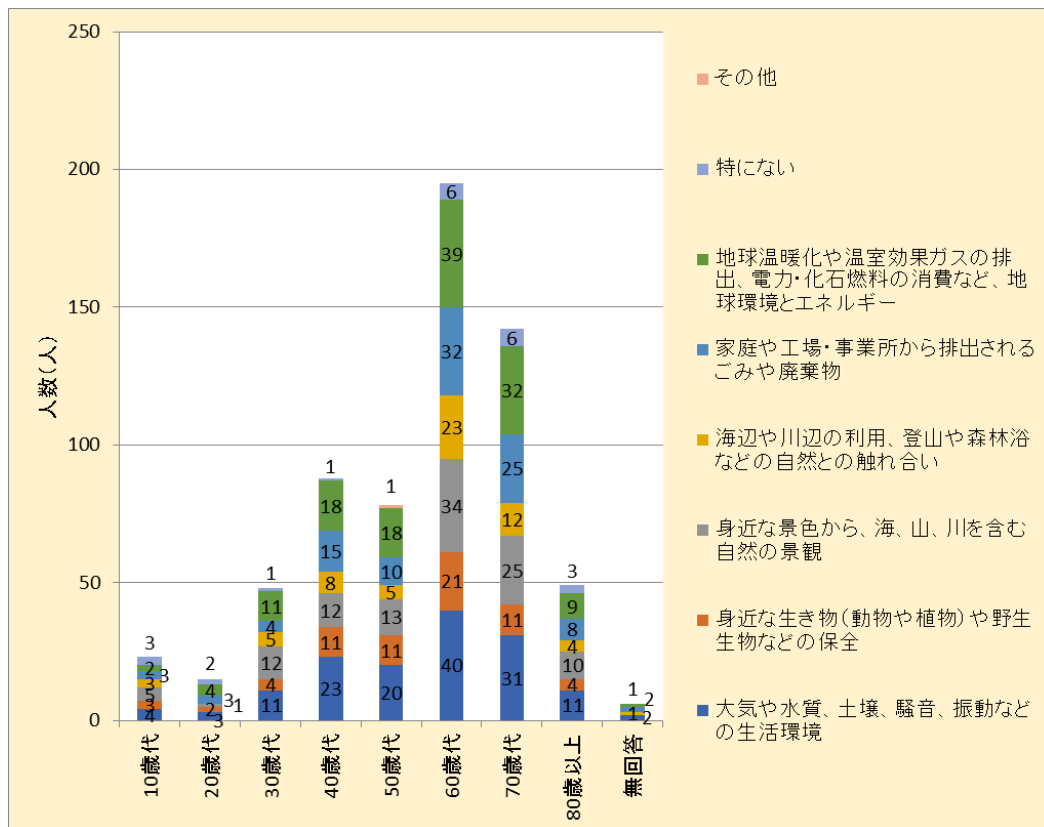


図 4-1 (23) 年代と環境に関して関心のあること

【Ⅱ－3. あなたが知っている再生可能エネルギーの種類はどれですか。(複数回答可)】

知っている再生可能エネルギーの種類は、「風力発電（陸上・洋上）」が 238 人（90.8%）で最も多く、次いで、「太陽光発電」が 236 人（90.1%）、「水力発電（小水力含む）」が 188 人（71.8%）であった。

表 4－1（10） 知っている再生可能エネルギーの種類

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥
	太陽光発電	太陽熱利用	風力発電 (陸上・洋上)	バイオマス 発電	水力発電 (小水力含む)	地熱発電
人数（人）	236	113	238	95	188	122
割合（%）	90.1%	43.1%	90.8%	36.3%	71.8%	46.6%
選択肢	⑦	⑧	⑨	⑩	⑩	
	雪氷熱利用	温度差 熱利用	潮流発電・ 波力発電	知っている ものはない	その他	
人数（人）	65	17	60	5	5	
割合（%）	24.8%	6.5%	22.9%	1.9%	1.9%	

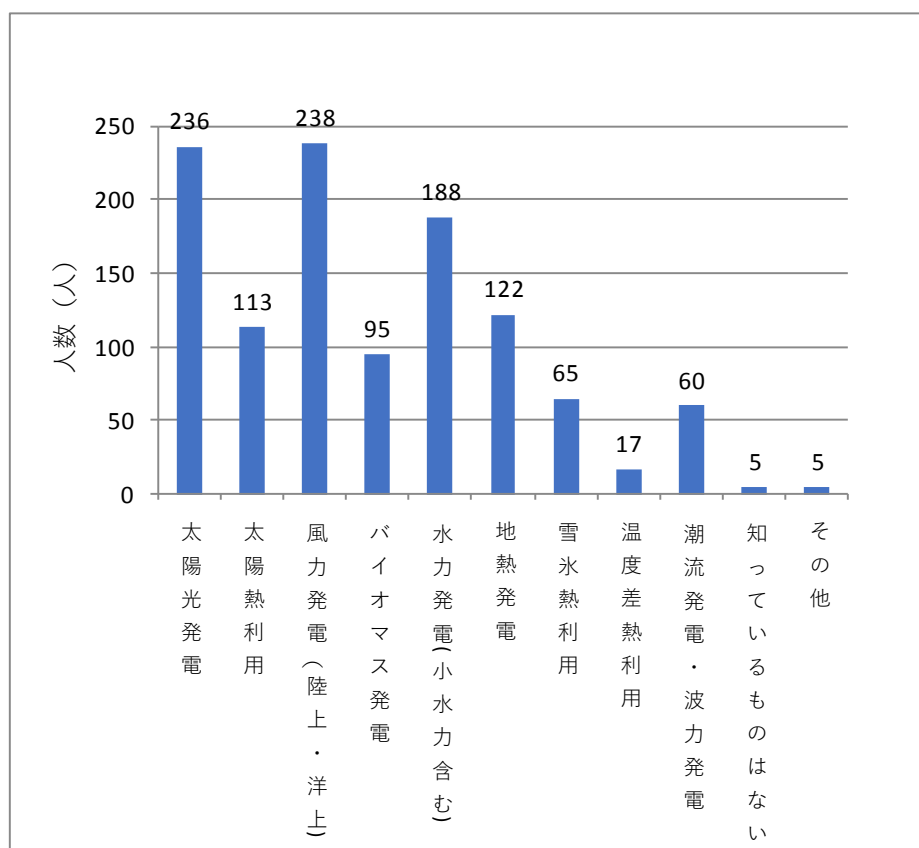


図 4－1（24） 知っている再生可能エネルギーの種類

年代と知っている再生可能エネルギーの種類のクロス集計では、年代による差は大きくはみられない結果となっている。全年代において、「太陽光発電」と「風力発電（陸上・洋上）」が上位1位、2位の人数を占めている。

項目別にみると、「太陽熱利用」は20歳代が0人、「温度差熱利用」は10歳代と20歳代で0人、「知っているものはない」と「その他」は10歳代、30歳代及び80歳以上で0人であり、その他の項目については、全ての年代において回答が得られている。

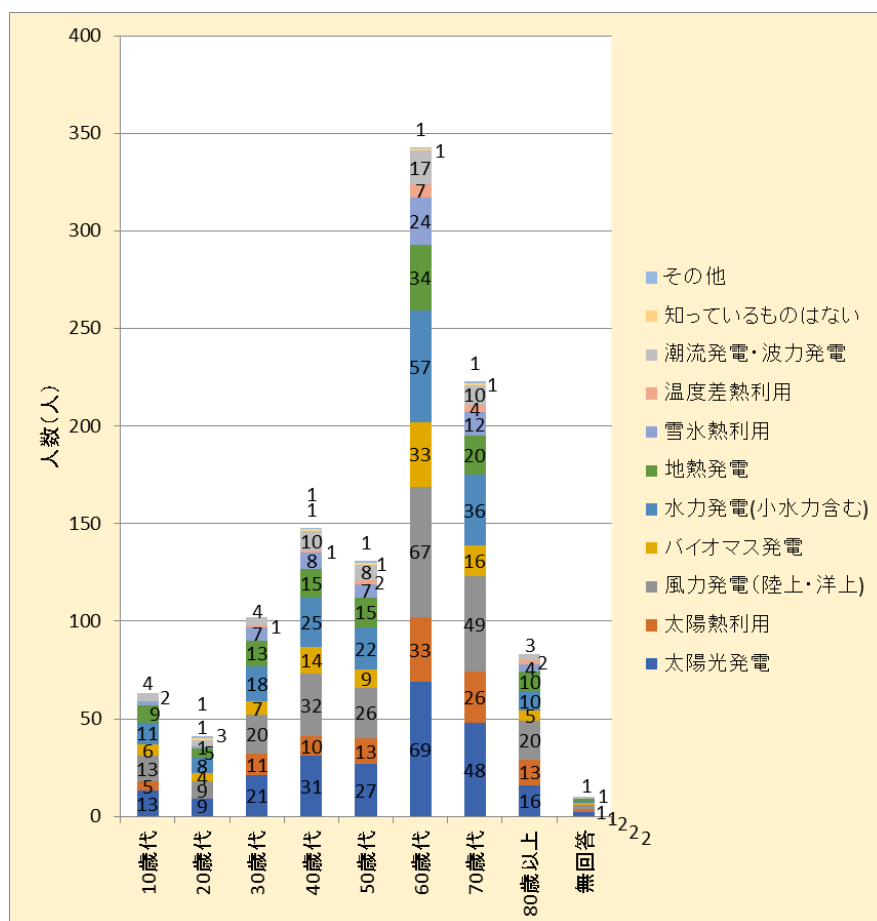


図4-1 (25) 年代と知っている再生可能エネルギーの種類

【Ⅱ－４．今後、石狩市内で取り入れていく再生可能エネルギーとして、あなたが望ましいと思うものはどれですか。（複数回答可）】

今後、石狩市内で取り入れていく再生可能エネルギーとして望ましいものは、「太陽光発電（家庭・事業所）」が 128 人（48.9％）で最も多く、次いで、「太陽光発電（メガソーラー）」が 120 人（45.8％）、「陸上風力発電」が 103 人（39.3％）であった。

表 4－１（11） 石狩市内で取り入れていく再生可能エネルギーとして望ましいもの

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	太陽光発電 （家庭・事業 所）	太陽光発 電（メガソ ーラー）	太陽熱利 用	陸上風力 発電	洋上風 力発電	小型風 力発電	バイオマ ス発電	大規模水 力発電（ダ ムなど）
人数（人）	128	120	51	103	72	44	22	12
割合（％）	48.9%	45.8%	19.5%	39.3%	27.5%	16.8%	8.4%	4.6%
選択肢	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
	小規模水力 発電（河川や 水路など）	地熱発電	雪氷熱利 用	温度差 熱利用	潮流発 電	波力発 電	その他	
人数（人）	15	11	65	9	31	32	5	
割合（％）	5.7%	4.2%	24.8%	3.4%	11.8%	12.2%	1.9%	

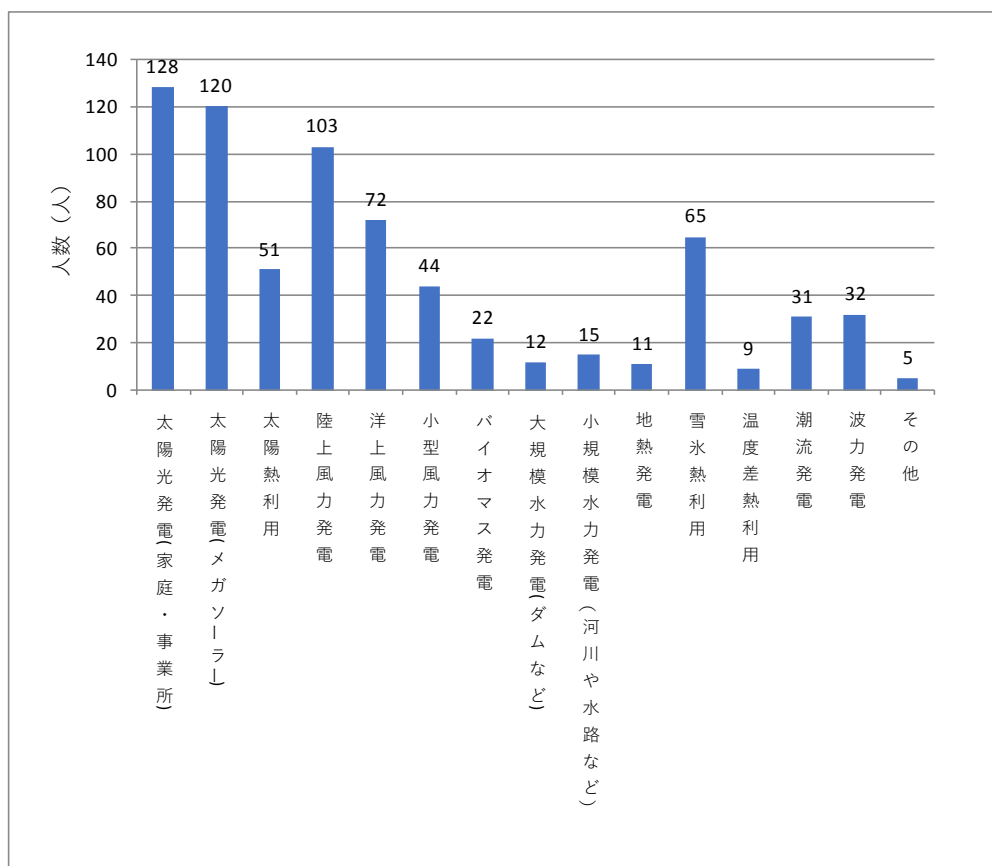


図 4－１（26） 石狩市内で取り入れていく再生可能エネルギーとして望ましいもの

年代と石狩市内で取り入れていく再生可能エネルギーとして望ましいもののクロス集計では、年代による差は大きくはみられない結果となっている。10 歳代、30 歳代、60 歳代及び 70 歳代で「太陽光発電（家庭・事業所）」が最も多く、40 歳代及び 50 歳代で「太陽光発電（メガソーラー）」が最も多くなっている。20 歳代では上記 2 項目が同人数で最も多い。80 歳以上では「太陽光発電（家庭・事業所）」と「陸上風力発電」が同人数で最も多い結果となっている。

項目別にみると、「バイオマス発電」は 10 歳代と 30 歳代で 0 人、「大規模水力発電（ダムなど）」は 40 歳代と 50 歳代で 0 人、「地熱発電」は 10 歳代、30 歳代及び 40 歳代で 0 人、「温度差熱利用」は 10 歳代、30 歳代、40 歳代及び 50 歳代で 0 人、「その他」は 10 歳代、20 歳代、40 歳代、70 歳代及び 80 歳以上で 0 人であり、その他の項目については、全ての年代において回答が得られた。

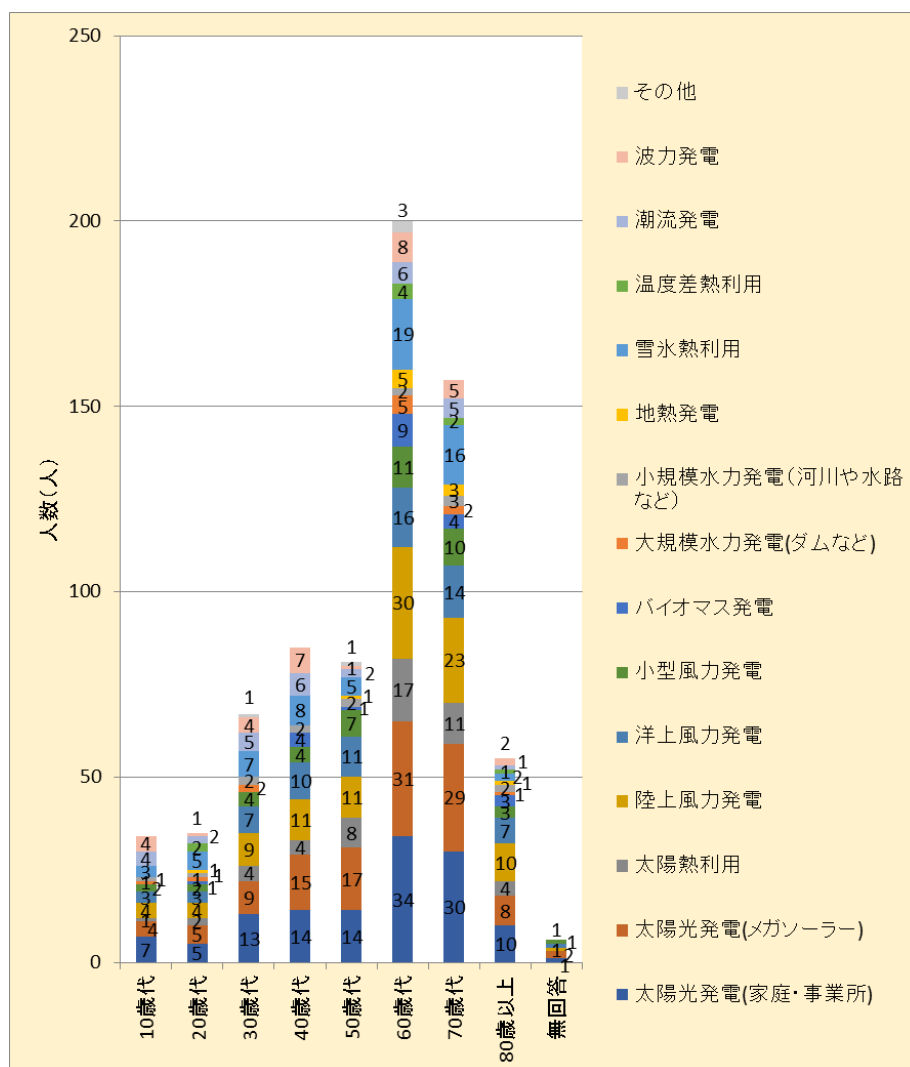


図 4-1 (27) 年代と石狩市内で取り入れていく再生可能エネルギーとして望ましいもの

【Ⅲ. 風力発電についてお聞きます。】

【Ⅲ-2. 風力発電に対して気になることや不安に思うことはどんなことですか。(複数回答可・最大3つまで)】

風力発電に対して気になることや不安に思うことは、「騒音・振動・低周波音などによる健康被害」が178人(67.9%)で最も多く、次いで、「台風、地震などへの耐久性、倒壊などの事故」が145人(55.3%)、「鳥類などの動植物、生態系への影響」が81人(30.9%)であった。

表4-1(12) 風力発電に対して気になることや不安に思うこと

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥
	騒音・振動・低周波音などによる健康被害	これまでの景観が損なわれること	シャドーフリッカー(羽根を旋回させるとその影が回転により明滅する現象)の発生	テレビ・ラジオなどの電波への干渉	鳥類などの動植物、生態系への影響	農業、漁業など地域産業への影響
人数(人)	178	35	23	39	81	35
割合(%)	67.9%	13.4%	8.8%	14.9%	30.9%	13.4%
選択肢	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
	台風、地震などへの耐久性、倒壊などの事故	地域のイメージが損なわれること	不動産・地価の下落	特にない	その他	
人数(人)	145	10	6	23	4	
割合(%)	55.3%	3.8%	2.3%	8.8%	1.5%	

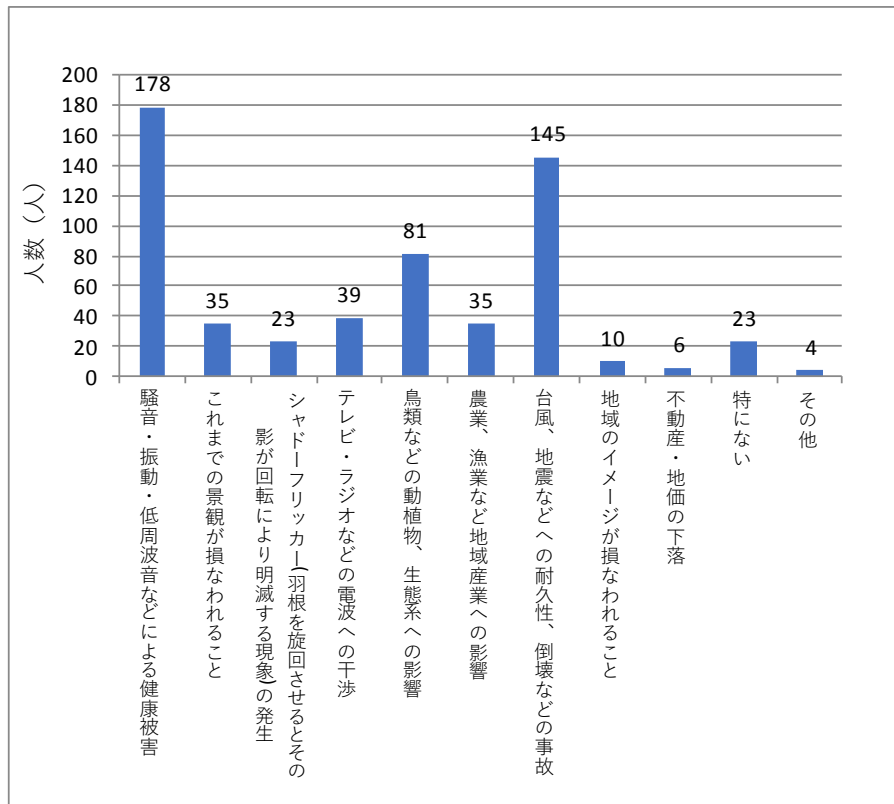


図4-1(28) 風力発電に対して気になることや不安に思うこと

年代と風力発電に対して気になることや不安に思うことのクロス集計では、年代による差は大きくはみられない結果となっている。全年代において「騒音・振動・低周波音などによる健康被害」と「台風、地震などへの耐久性、倒壊などの事故」が上位1位、2位の人数を占めている。

項目別にみると、「これまでの景観が損なわれること」は20歳代で0人、「シャドーフリッカー（羽根を旋回させるとその影が回転により明滅する現象）の発生」は80歳以上で0人、「テレビ・ラジオなどの電波への干渉」は10歳代で0人、「地域のイメージが損なわれること」は10歳代、20歳代及び40歳代で0人、「不動産・地価の下落」は10歳代、20歳代及び80歳以上で0人、「その他」は10歳代、40歳代、60歳代及び80歳以上で0人であり、その他の項目については、全年代で回答が得られた。

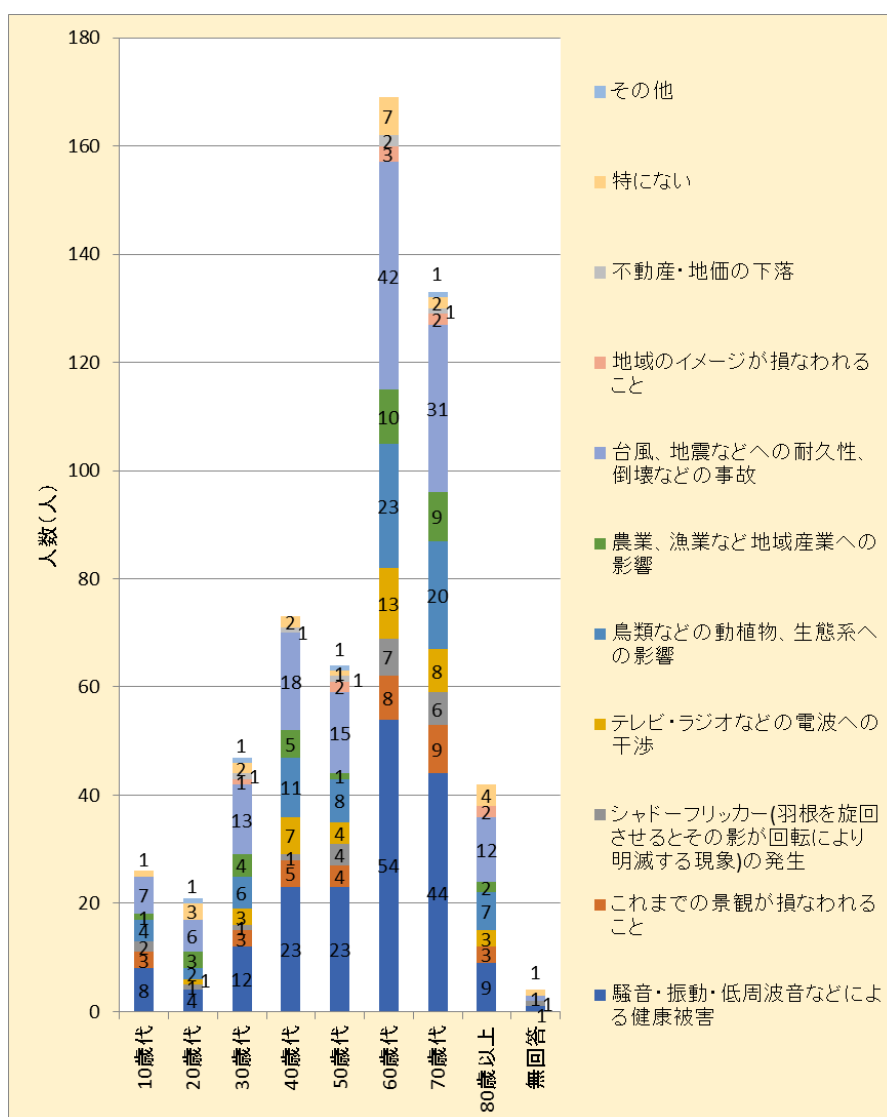


図4-1 (29) 年代と風力発電に対して気になることや不安に思うこと

居住地区と風力発電に対して気になることや不安に思うことのクロス集計では、全ての地区において、「騒音・振動・低周波音などによる健康被害」が最も多く、次いで「台風、地震などへの耐久性、倒壊などの事故」が多い結果となっている。

項目別にみると、「シャドーフリッカー（羽根を巡回させるとその影が回転により明滅する現象）の発生」は厚田区で 0 人、「地域のイメージが損なわれること」は浜益区で 0 人、「不動産・地価の下落」は厚田区及び浜益区で 0 人であり、その他の項目については全ての地区で回答が得られている。また、旧石狩市地区内においては、「騒音・振動・低周波音などによる健康被害」のみ、すべての地域で回答が得られた。

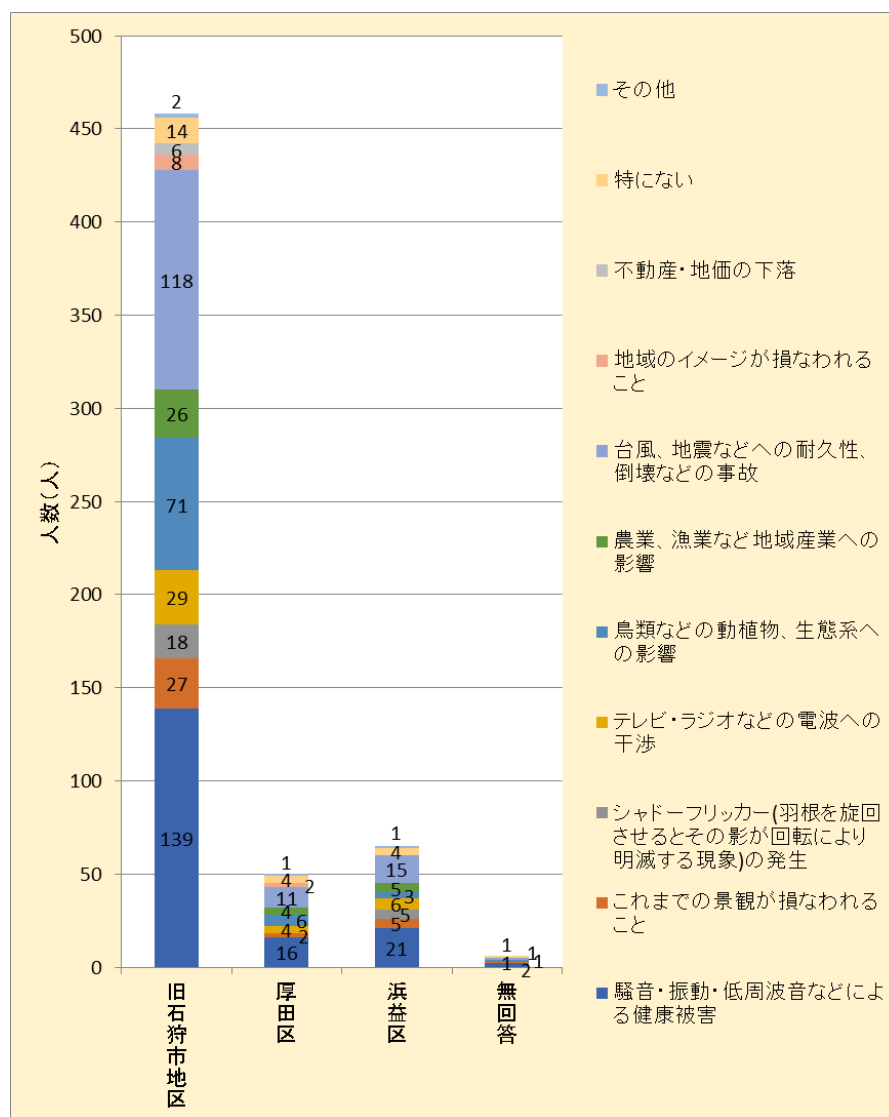


図 4－1（30） 居住地区と風力発電に対して気になることや不安に思うこと

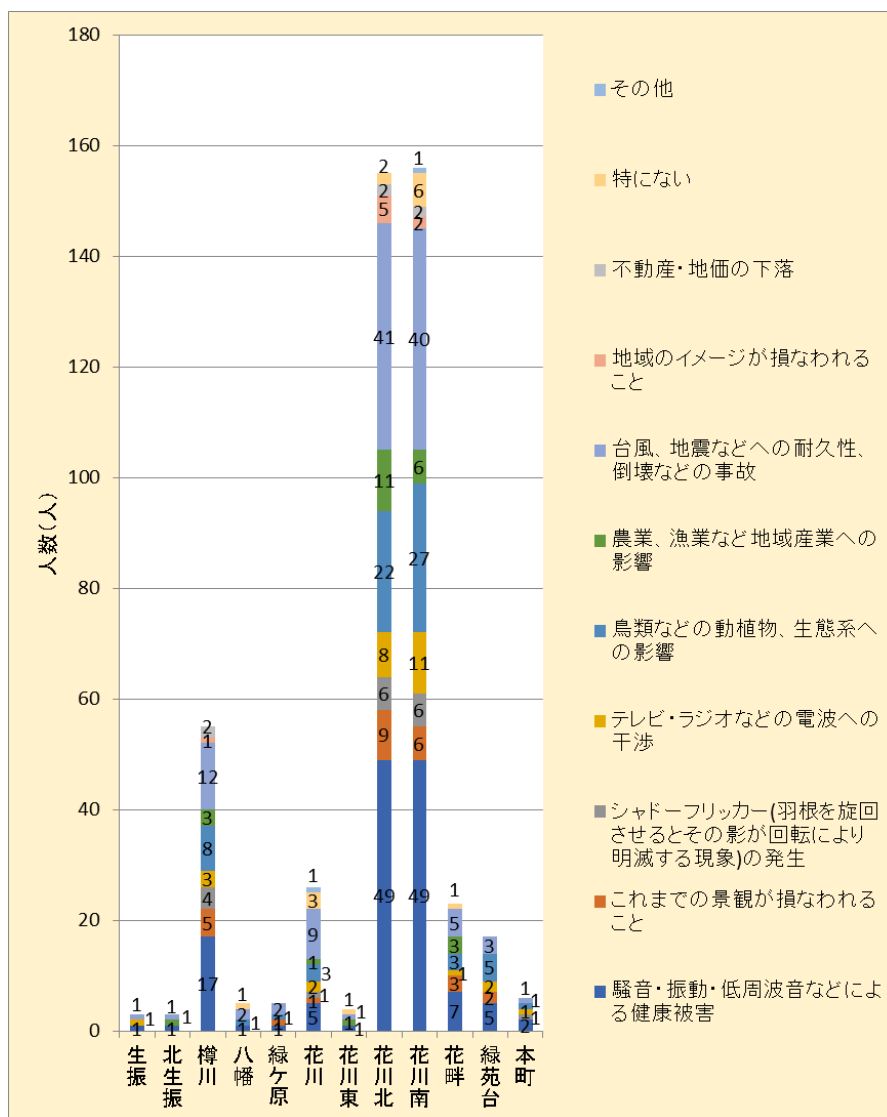


図４－１（３１） 居住地区と風力発電に対して気になることや不安に思うこと
(旧石狩市地区内)

【Ⅲ－3. 石狩市内で今後、風力発電の設置計画があることを知っていますか。】

石狩市内で今後、風力発電の設置計画があることを知っているかについては、「知らない」が122人（48.2%）で最も多く、次いで、「聞いたことがあるが、場所などはよくわからない」が93人（36.8%）、「知っている」が38人（15.0%）であった。

表 4－1（13） 石狩市内で今後風力発電の設置計画があることを知っているか

選択肢	①	②	③	合計
	知っている	聞いたことがあるが、場所などはよくわからない	知らない	
人数（人）	38	93	122	253
割合（%）	15.0%	36.8%	48.2%	100.0%

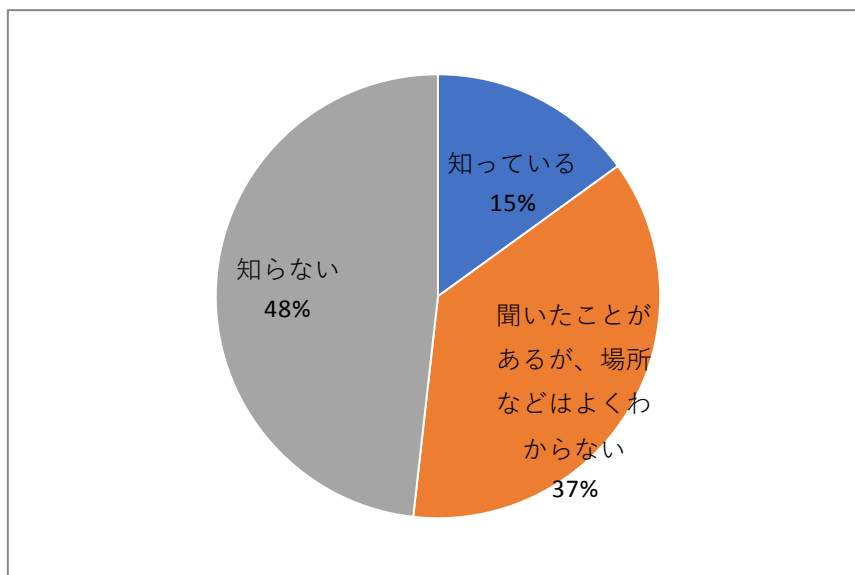


図 4－1（32） 石狩市内で今後風力発電の設置計画があることを知っているか

年代と石狩市内で今後風力発電の設置計画があることを知っているかのクロス集計では、10 歳代から 60 歳代までは「知らない」が最も多く、70 歳代及び 80 歳以上は「聞いたことがあるが、場所などはよくわからない」が最も多い結果となっている。

項目については、「知っている」という回答については、30 歳代は 2 人、40 歳代は 5 人、50 歳代は 2 人、60 歳代は 13 人、70 歳代は 10 人、80 歳以上は 6 人であり、10 歳代及び 20 歳代が 0 人となっている。

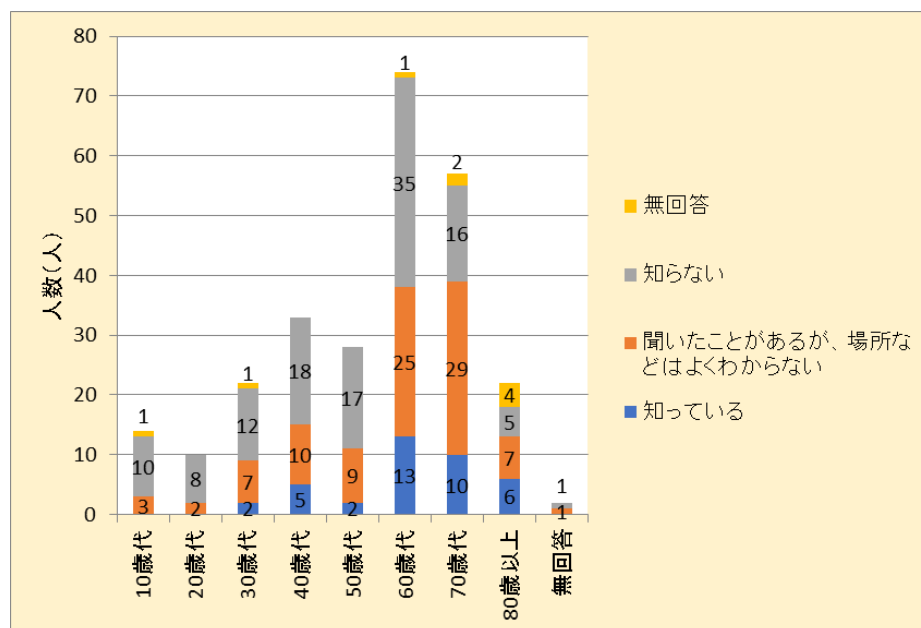


図 4 - 1 (33) 年代と石狩市内で今後風力発電の設置計画があることを知っているか

居住地区と石狩市内で今後風力発電の設置計画があることを知っているかのクロス集計では、「知っている」と回答したのは浜益区で 8 人、旧石狩市地区で 29 人（花川南 11 人、花川北 8 人、樽川 4 人、花畔 2 人、八幡 1 人、緑ヶ原 1 人、花川 1 人、本町 1 人）、無回答 1 人であった。

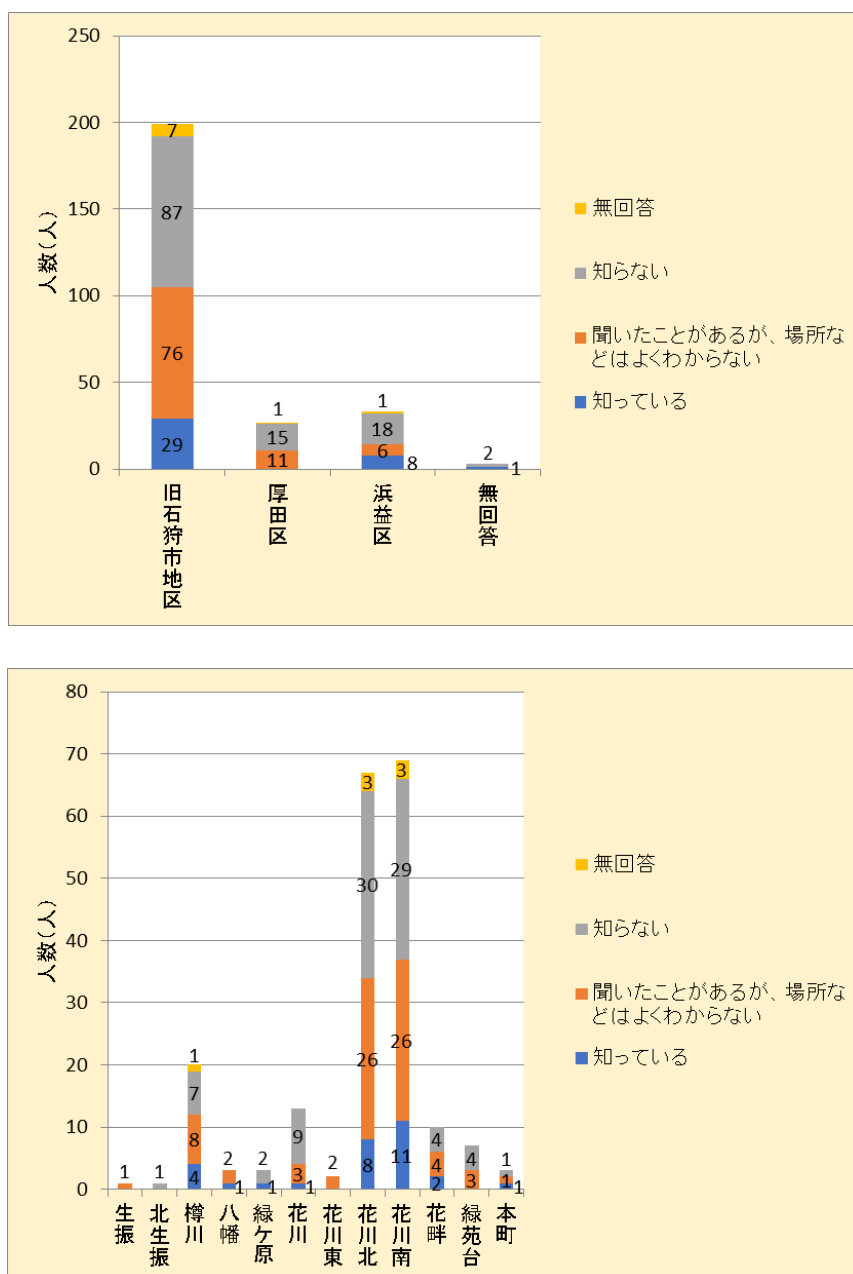


図 4-1 (34) 居住地区と石狩市内で今後風力発電の設置計画があることを知っているか

【Ⅲ－３－１. Ⅲ－３ の質問で「知っている」と回答された方にお聞きします。風力発電の設置計画をどうやって知り、どこに設置されると聞きましたか。】

【どうやって知りましたか。（複数回答可）】

風力発電の設置計画をどうやって知ったかについては、「行政からのお知らせや冊子」が 16 人（6.1％）と最も多く、次いで、「口コミや知り合いから」が 15 人（5.7％）、「新聞やテレビ・ラジオ」が 12 人（4.6％）であった。

表 4－1（14） 風力発電の設置計画をどうやって知ったか

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥
	行政からのお知らせや冊子	事業者からの戸別訪問・チラシ、パンフレット	事業者からの説明会	建設予定地の看板や工事現場	自治会や町内会の回覧	自治会や町内会の集会
人数（人）	16	3	2	1	5	3
割合（％）	6.1%	1.1%	0.8%	0.4%	1.9%	1.1%
選択肢	⑦	⑧	⑨	⑩		
	口コミや知り合いから	新聞やテレビ・ラジオ	インターネット	その他		
人数（人）	15	12	2	4		
割合（％）	5.7%	4.6%	0.8%	1.5%		

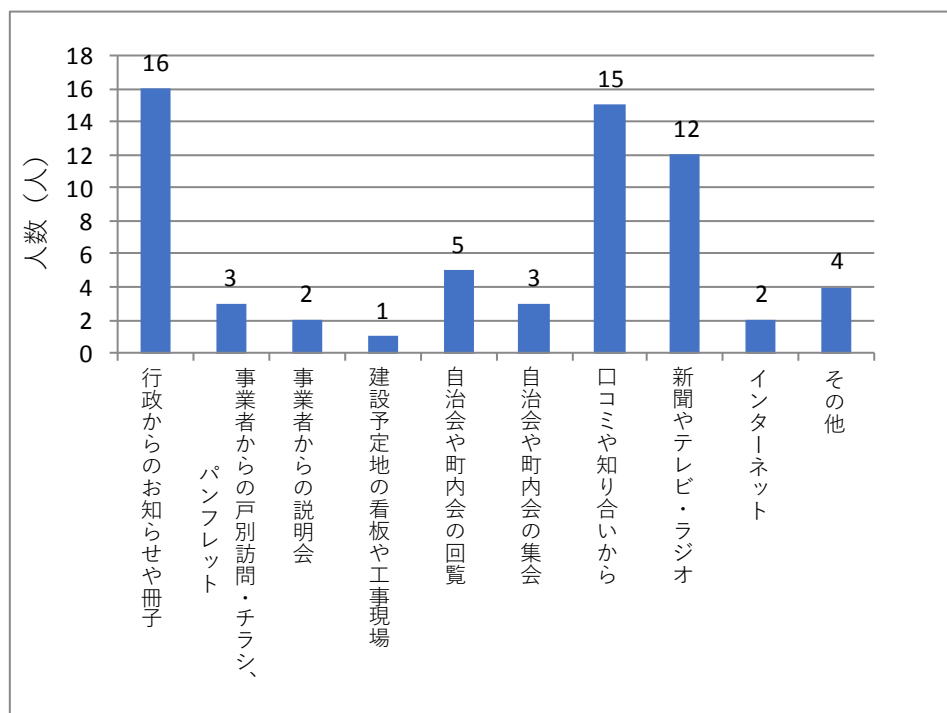


図 4－1（35） 風力発電の設置計画をどうやって知ったか

年代と風力発電の設計計画をどうやって知ったかのクロス集計では、30 歳代から 80 歳以上にかけて「行政からののお知らせや冊子」の回答が得られている。また、30 歳代、40 歳代及び 60 歳代から 80 歳以上において「新聞やテレビ・ラジオ」の回答が得られている。回答者が多かった 60 歳代及び 70 歳代においては「口コミや知り合いから」の回答が多い結果となっている。

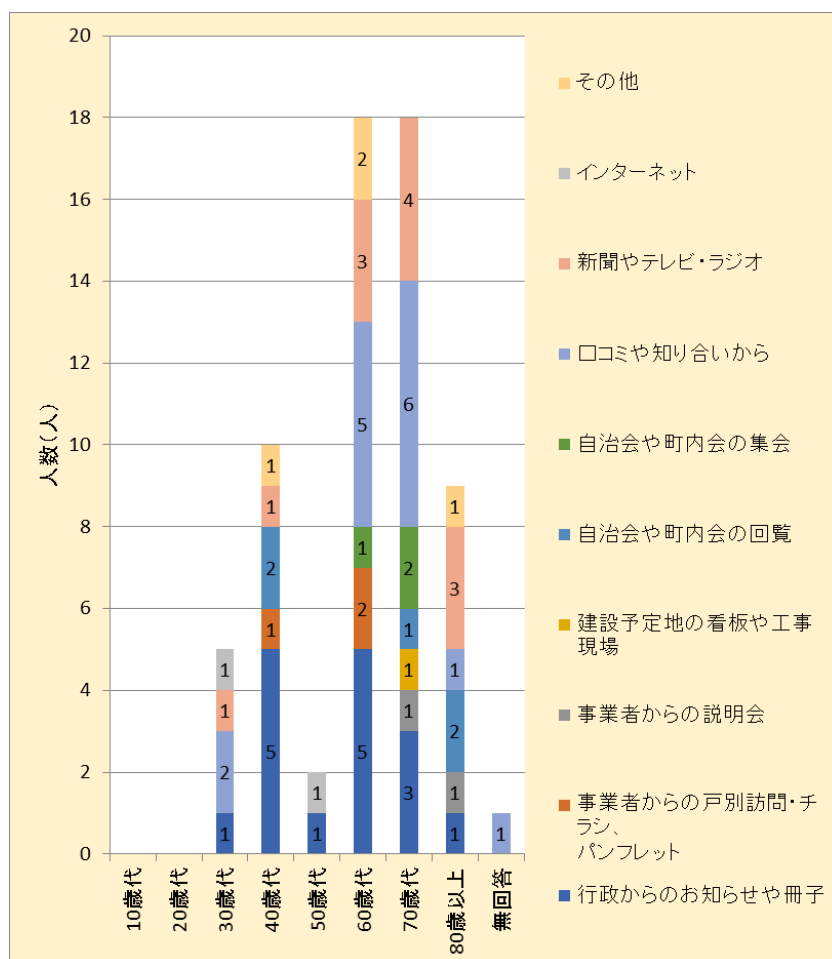


図 4 - 1 (36) 年代と風力発電の設置計画をどうやって知ったか

居住地区と風力発電の設計計画をどうやって知ったかのクロス集計では、回答者が多かった旧石狩市地区では、「行政からののお知らせ」「口コミや知り合いから」「新聞やテレビ・ラジオ」が多く回答されている。大半の地域で「行政からののお知らせ」の回答を得ているが、緑ヶ原、花川及び厚田区（厚田区は「聞いたことはあるが、場所などはよくわからない」と回答した人が回答）は「口コミや知り合いから」のみとなっている。

【どこに設置されると聞きましたか。住所はおよそで構いません。（記述式）】

設置されると聞いた場所については、15 人から回答があり、石狩湾新港地域及びその付近を示す回答が多かった。

表 4－1（15） 設置されると聞いた場所について

回答	人数（人）
石狩湾新港	2
石狩湾新港地域	4
石狩新港地域の海上、洋上	2
石狩湾新港付近	1
石狩湾内	1
浜益	1
石狩市浜益区毘砂別	1
放水路	1
銭函の新川通り	1
石狩花火大会が行われた場所	1

【Ⅲ－４．石狩市内での風力発電について、あなたの考えをお聞かせください。＊具体的な理由があればお答えください】

石狩市内での風力発電については、「どちらかと言えば推進」が 94 人（38.5％）で最も多く、次いで、「今後も推進すべき」が 64 人（26.2％）、「どちらでもない」が 56 人（23.0％）であった。

具体的な理由については、56 人から回答が得られた。具体的な理由の回答結果を表に示す。

表 4－1（16） 石狩市内での風力発電について

選択肢	①	②	③	④	⑤	合計
	今後も推進 すべき	どちらか と言えば推進	どちらでも ない	どちらか と言えば反対	反対	
人数（人）	64	94	56	19	11	244
割合（％）	26.2%	38.5%	23.0%	7.8%	4.5%	100.0%

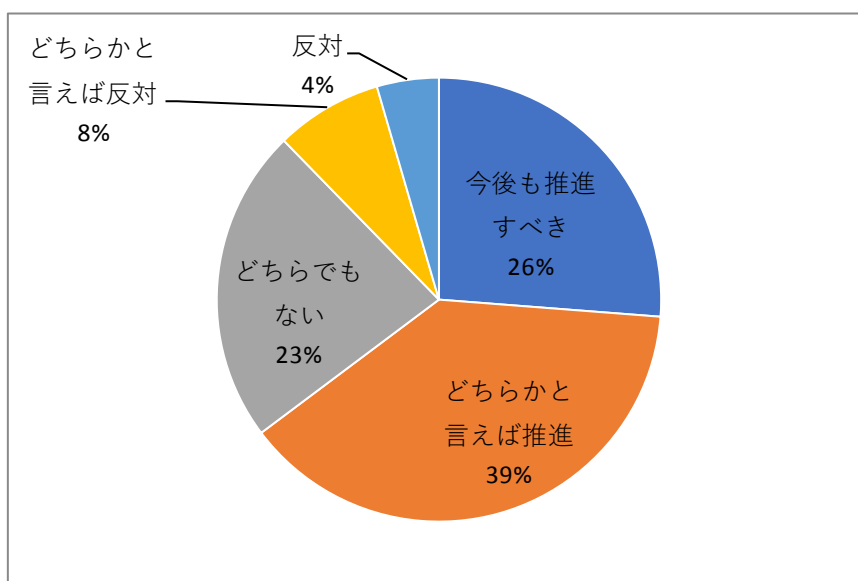


図 4－1（38） 石狩市内での風力発電について

年代と石狩市内での風力発電についてのクロス集計では、20 歳代及び 50 歳代から 80 歳以上において、「どちらかと言えば推進」が最も多い結果となっている。また、30 歳代は「今後も推進すべき」と「どちらかと言えば推進」が同数で多くなっている。10 歳代及び 40 歳代は「どちらでもない」が最も多い結果となっている。

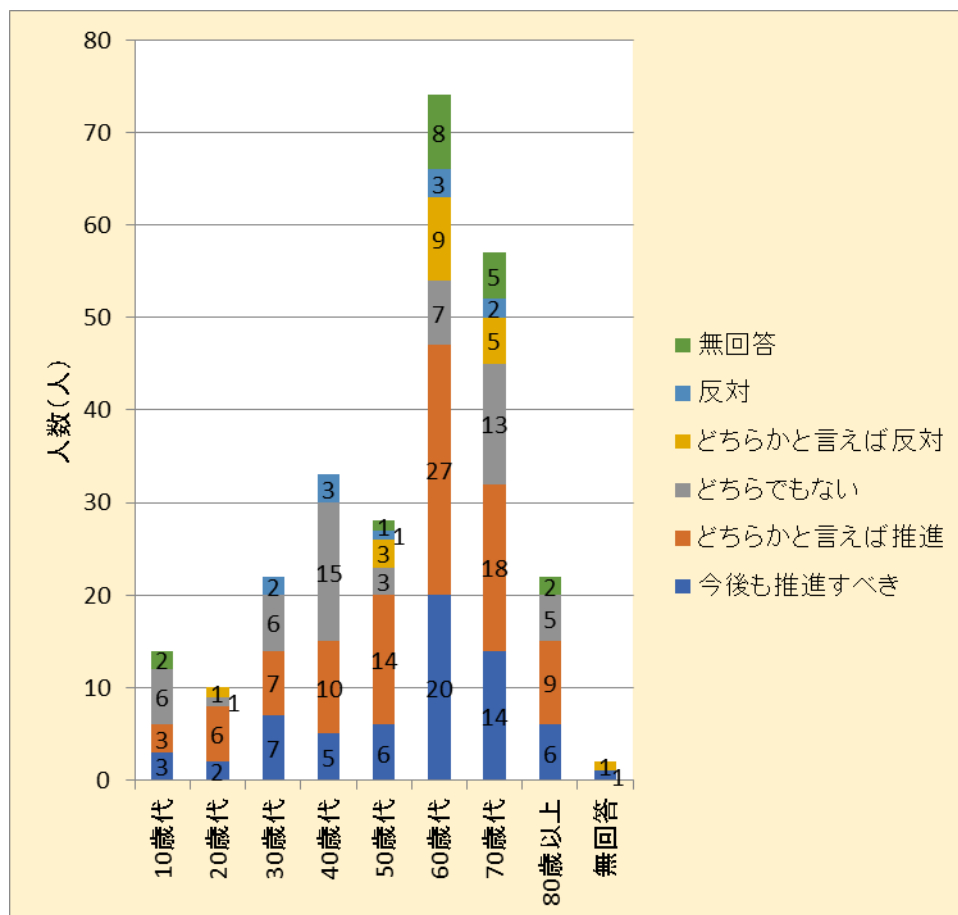


図 4 - 1 (39) 年代と石狩市内での風力発電について

居住地区と石狩市内での風力発電の賛否のクロス集計では、旧石狩市地区においては、「どちらかと言えば推進」が最も多く、厚田区及び浜益区においては、「今後も推進すべき」「どちらかと言えば推進」「どちらでもない」の回答が割合を大きく占める結果となっている。旧石狩市地区内においては、回答者数が多かった花川北及び花川南において「どちらかと言えば推進」が最も多くなっている。

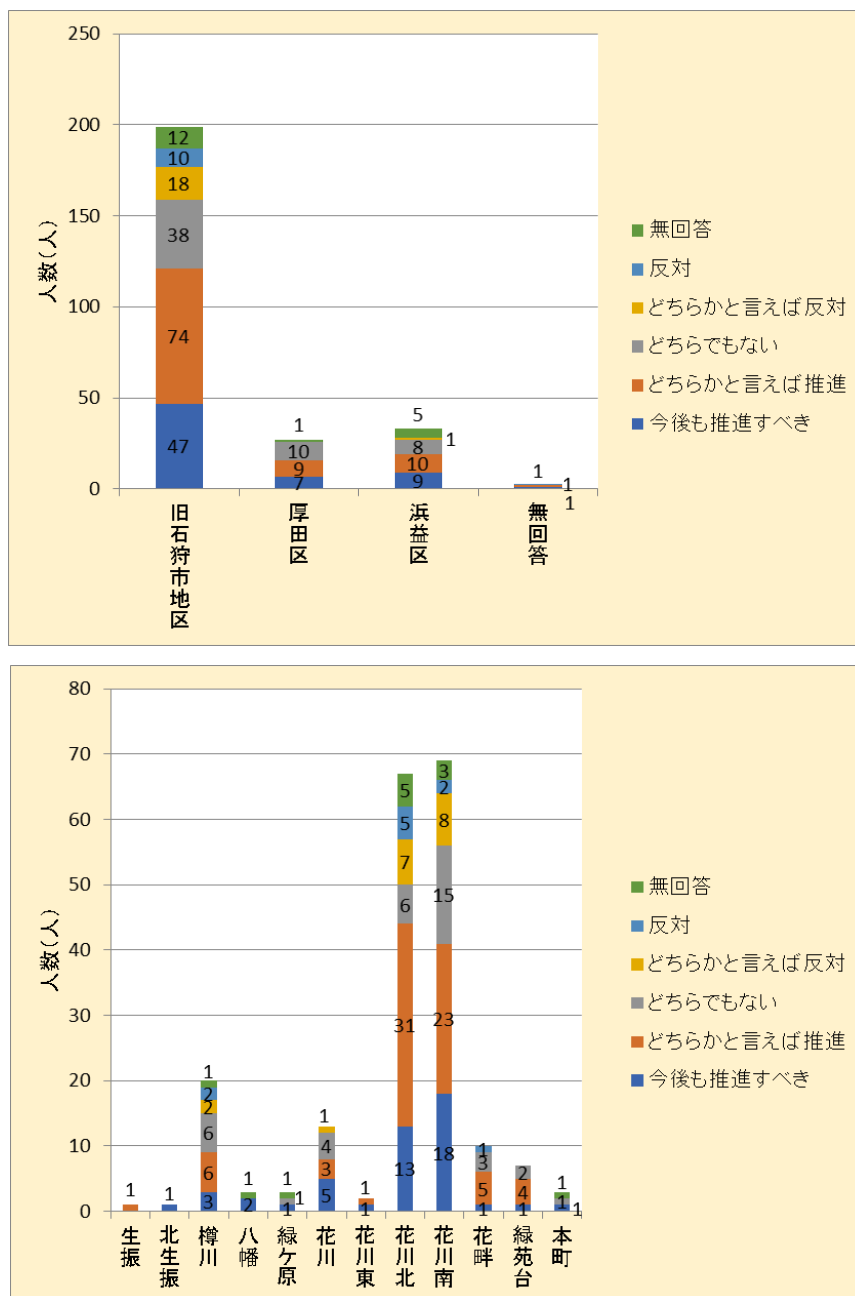


図４－１（４０） 居住地区と石狩市内での風力発電について

表 4－1（17） 石狩市内での風力発電について（具体的な理由）（1/2）

選択肢	具体的な理由
①今後も推進すべき	・ 自然エネルギーの活用。 ・ 石狩市は道内有数の風の町であり、自然の恵みを利用しない手はないと思う。 ・ 当地は四季を通して風が強い。悪者を有効利用する。 ・ エネルギーの地産地消。特定業者のエネルギー供給独占回避。 ・ 風が強いから。 ・ 石狩市民に電気料金の値下げにつながり、石狩市へ有益となるのなら。 ・ 電力の使用量の増大。安定供給。 ・ 原発及び化石燃料依存から徐々に退却した方が良い。 ・ 風車も観光資源になりうるから（サイクリングロードや公園とか）。 ・ 原子力発電に頼らず、出来るだけ火力発電に頼らないようにすべきと思う。 ・ 様々なエネルギーにより自分達の地域で自分達のエネルギーを作ることができたらと思ったから。 ・ 石狩は風が道内でも強いので有効的に使うべき。 ・ これからは再生エネルギーへの依存を高めること。 ・ 原子力発電が不安だから。 ・ 適地が余っているのであれば有効活用し、安い電気代を地元住民へ還元すべき。
②どちらかと言えば推進	・ 住宅地ではない場所で発電できるなら良いと思う。 ・ エコな発電ができることは、とても大事だと思う。あとは、石狩は海側の個人宅の無い場所に作れば、問題は少ないと思う。 ・ 原子力発電は反対です。その他の発電でカバーするには風力も必要と思います。 ・ 電気代が安くなってほしいから。 ・ 石狩市といえば風。風を利用しない手はない。 ・ 温暖化。 ・ 地域的設置場所があるから。 ・ 低周波をなくせるのなら①（今後も推進すべき）。 ・ 特にはないけど、ないよりはあった方が今後何かしらに役立つと思った。 ・ 自助努力も必要かと。 ・ 振動により住民への影響。 ・ 騒音、台風時の事故。 ・ 自然環境及び社会環境に配慮出来るものなら。 ・ 原子力よりは良い。 ・ 多様なエネルギーの確保。 ・ 再生可能エネルギー、自然エネルギー開発には賛成だが、人・動物・環境への影響を極力抑えた方法であれば。 ・ 詳しくは知らないが、環境のためにも、進めていくべきだと思います。

表 4－1（18） 石狩市内での風力発電について（具体的な理由）（2/2）

選択肢	具体的な理由
③どちらでもない	・耐久性だよね。ハネがおれたり。 ・よく理解していない為。 ・設置費用に対し、利益はとれているのか。 ・便利だとは思いますが健康被害を訴えている人のチラシを見た事があるので、設置場所をよく考えないといけないと思う。 ・理解できていない。 ・知り合いから健康被害の話聞いたが、まだあまり風力発電のことを知らないため。イメージは悪いよ。 ・導入コストに見合う対価が得られるのかわからないから。 ・環境や動植物への影響。 ・子供達の健康被害がなく、事故が 100%起きない、自分の住所のそばでない（身勝手ですが）なら反対ではないですが。 ・メリット・デメリットがよくわからない。
④どちらかと言えば反対	・羽根の故障による事故等。 ・騒音、振動、低周波音。 ・健康被害が心配。 ・環境に対しての不安→別の住居を考え、移動するかも？ ・ライジングサンロックフェスティバルを行えなくなったら困る。 ・現在設置されている物は外観が恐いです。
⑤反対	・人体への影響、鳥類等の被害がある事が知られているので、反対です。 ・環境、景観、健康害（低周波）。 ・人体や生態系への影響が心配。 ・低周波音等による、健康被害の不安（ペットも）。 ・自然が沢山あっておだやかだったハズ、大きな人工物が沢山建てられて違和感だらけです。
無回答	・場所によりけり。 ・現在はあまりくわしくわかりません。

【Ⅲ－5. 現在、お住まいの地域に風力発電所はありますか。】

居住地域における風力発電所の有無については、「10km 以上は離れている、または近くにはない」が 78 人 (34.2%) で最も多く、次いで、「かなり離れた場所にある (5km～10km くらいの場所)」が 69 人 (30.3%)、「離れた場所にある (3km～5km くらいの場所)」が 37 人 (16.2%) であった。

表 4－1 (19) 居住地域における風力発電所の有無について

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
	すぐ近くにある (0m～500m くらいの場所)	近くにある (500 m～1km くらいの場所)	少し離れた場所にある (1km～2km くらいの場所)	やや離れた場所にある (2km～3km くらいの場所)	離れた場所にある (3km～5km くらいの場所)	かなり離れた場所にある (5km～10km くらいの場所)	10km 以上は離れている、または近くにはない	
人数 (人)	2	2	22	18	37	69	78	228
割合 (%)	0.9%	0.9%	9.6%	7.9%	16.2%	30.3%	34.2%	100.0%

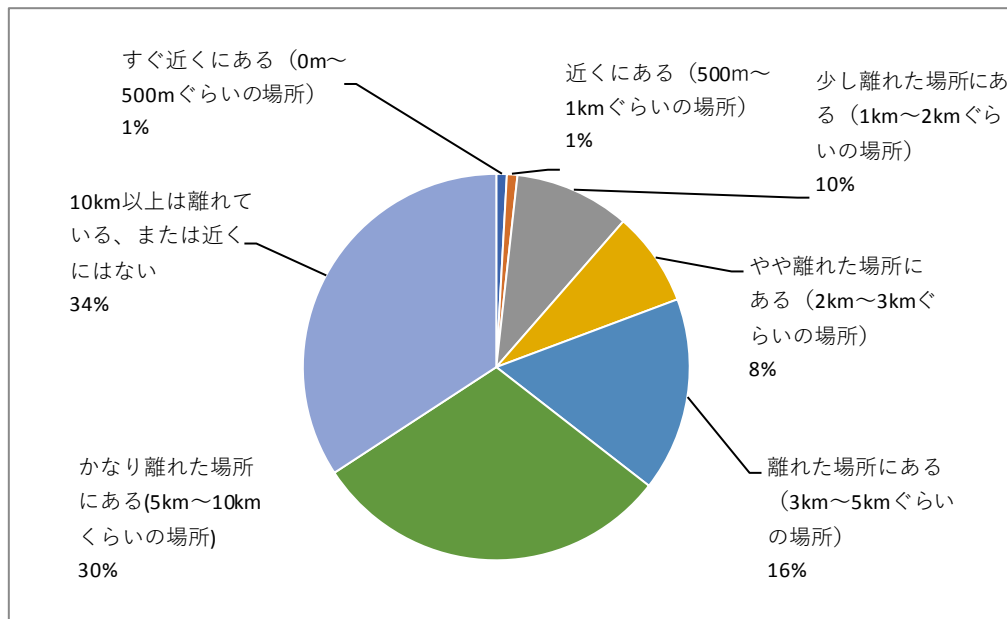


図 4－1 (41) 居住地域における風力発電所の有無について

年代と居住地における風力発電所の有無についてのクロス集計では、全年代において、離れた場所にある（3km～10km 以上）との回答が大きく占める結果となっている。「すぐ近くにある（0m～500m ぐらいの場所）」は 40 歳代と 70 歳代で 1 人ずつ、「近くにある（500m～1km ぐらいの場所）」は 40 歳代と 60 歳代で 1 人ずつ回答している。

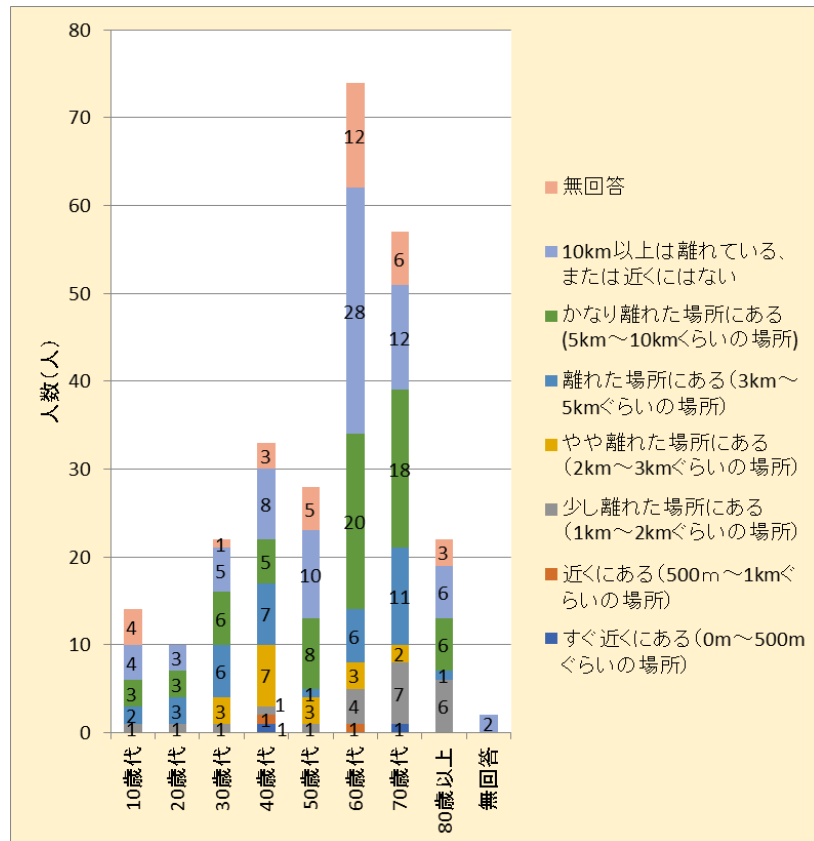


図 4－1（42） 年代と居住地における風力発電所の有無について

居住地区と居住地における風力発電所の有無についてのクロス集計では、旧石狩市地区では「かなり離れた場所にある（5km～10km ぐらいの場所）」が最も多く、厚田区では「離れた場所にある（3km～5km ぐらいの場所）」が最も多く、浜益区では「10km 以上は離れている、または近くにはない」が最も多い結果となっている。「すぐ近くにある（0m～500m ぐらいの場所）」は厚田区で 2 人、「近くにある（500m～1km ぐらいの場所）」は旧石狩市地区の樽川と花川北で 1 人ずつ回答している。

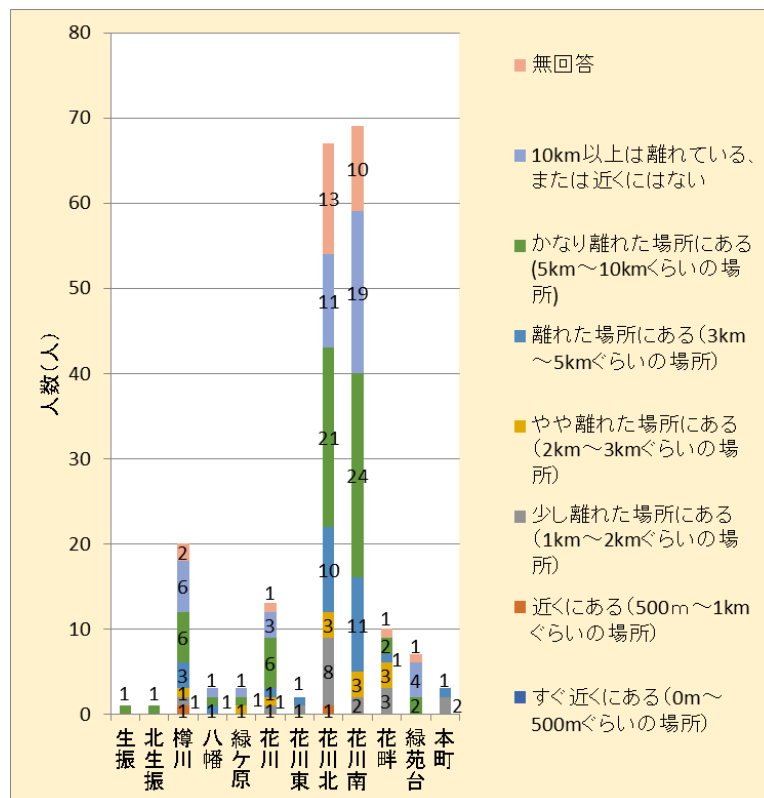
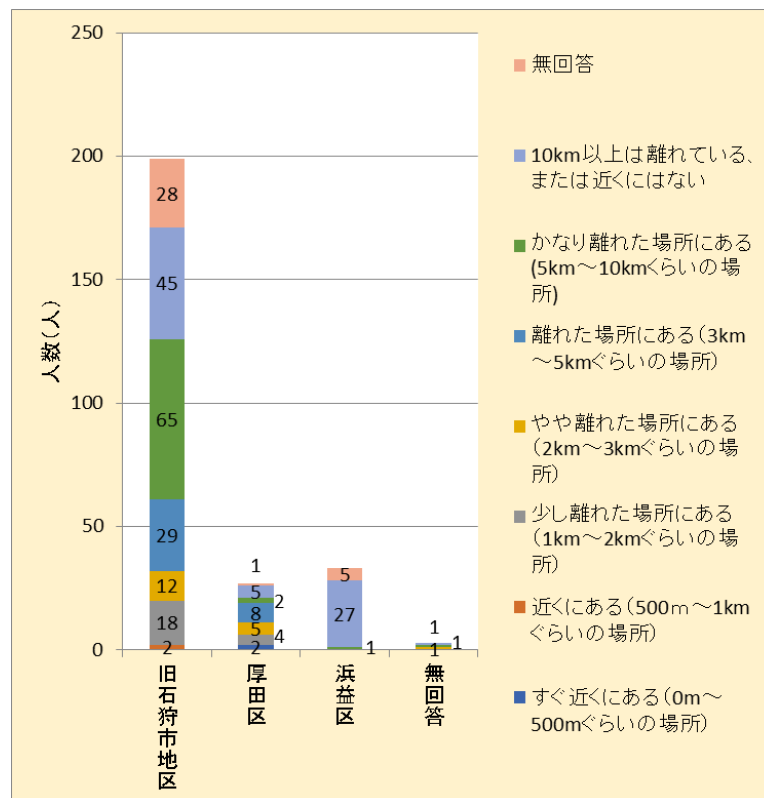


図 4－1 (43) 居住地区と居住地域における風力発電所の有無について

居住地域における風力発電所の有無と石狩市内における風食発電の賛否のクロス集計では、「すぐ近くにある（0m～500m ぐらいの場所）」と回答した 2 人は「今後も推進すべき」又は「どちらかと言えば推進」と回答している。また、「近くにある（500m～1km ぐらいの場所）」と回答した 2 人は「どちらかと言えば推進」と回答している。「10km 以上は離れている、または近くにはない」においては、「どちらでもない」の回答人数が多くなっている。

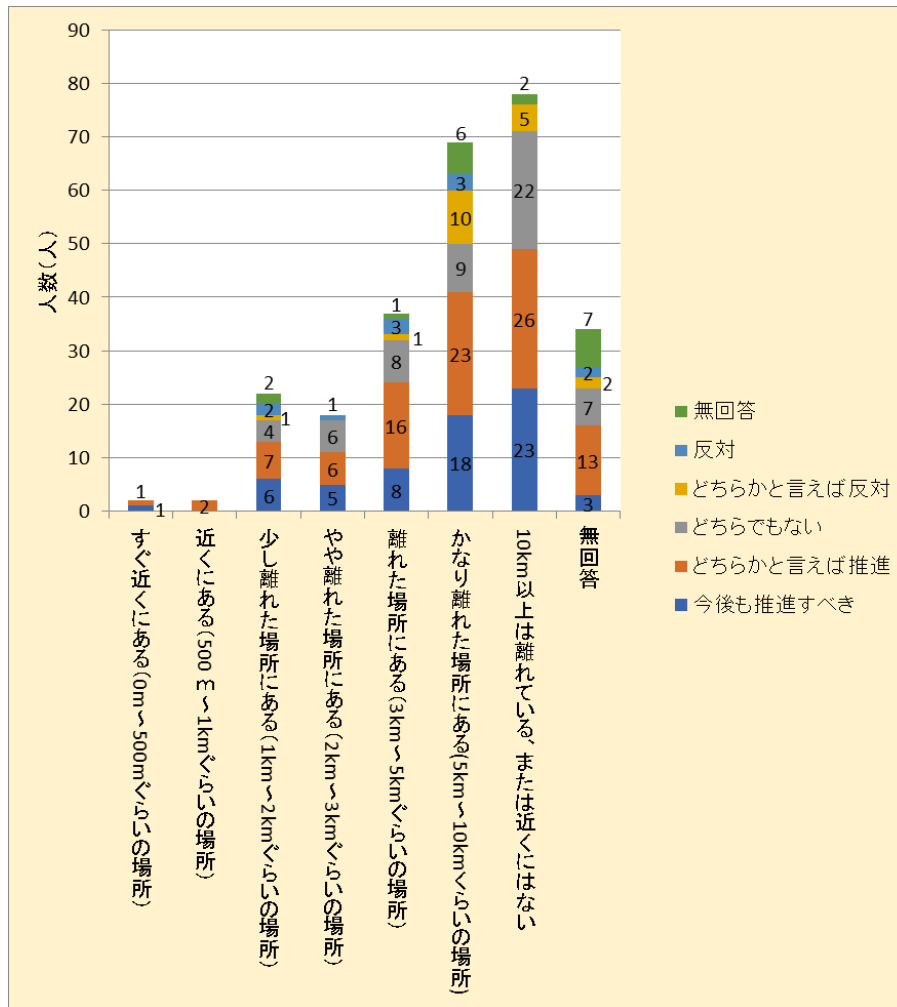


図 4－1（44） 居住地域における風力発電所の有無と石狩市内における風食発電の賛否

【Ⅳ． 風力発電のゾーニング計画に関してお聞きます。】

【Ⅳ－1． 現在、石狩市が検討を進めている風力発電のゾーニング計画についてご存知ですか。】

現在、石狩市が検討を進めている風力発電のゾーニング計画については、「知らない」が169人（67.3%）で最も多く、次いで、「聞いたことがあるが、内容はよくわからない」が76人（30.3%）、「知っている」が6人（2.4%）であった。

表４－１（20） 石狩市が検討を進めている風力発電のゾーニング計画について

選択肢	①	②	③	合計
	知っている	聞いたことがあるが、内容はよくわからない	知らない	
人数（人）	6	76	169	251
割合（％）	2.4%	30.3%	67.3%	100.0%

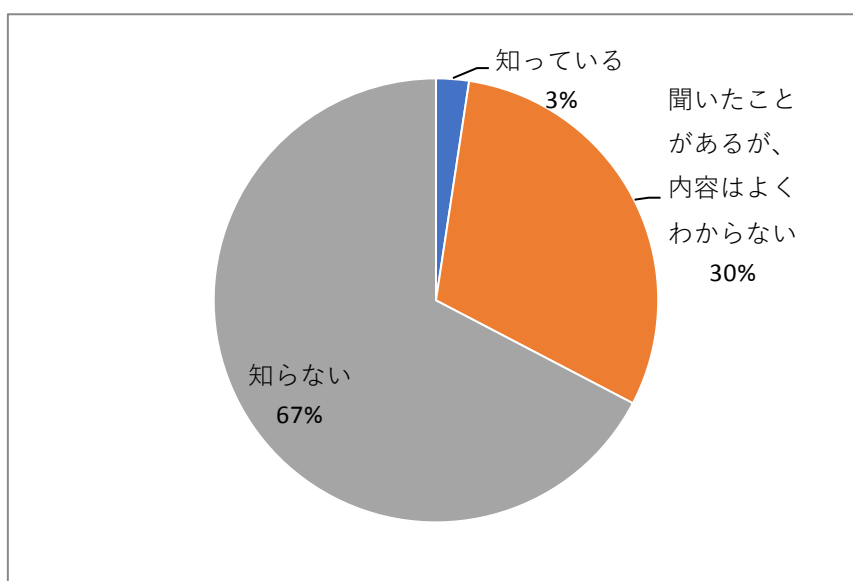


図４－１（45） 石狩市が検討を進めている風力発電のゾーニング計画について

年代と石狩市が検討を進めている風力発電のゾーニング計画についてのクロス集計では、全年代において「知らない」が大きく占めている。「知っている」は30歳代及び40歳代で1人ずつ、60歳代及び70歳代で2人ずつ回答している。70歳代及び80歳以上においては、「聞いたことがあるが、内容がよくわからない」の割合が他の年代に比べて大きくなっている。

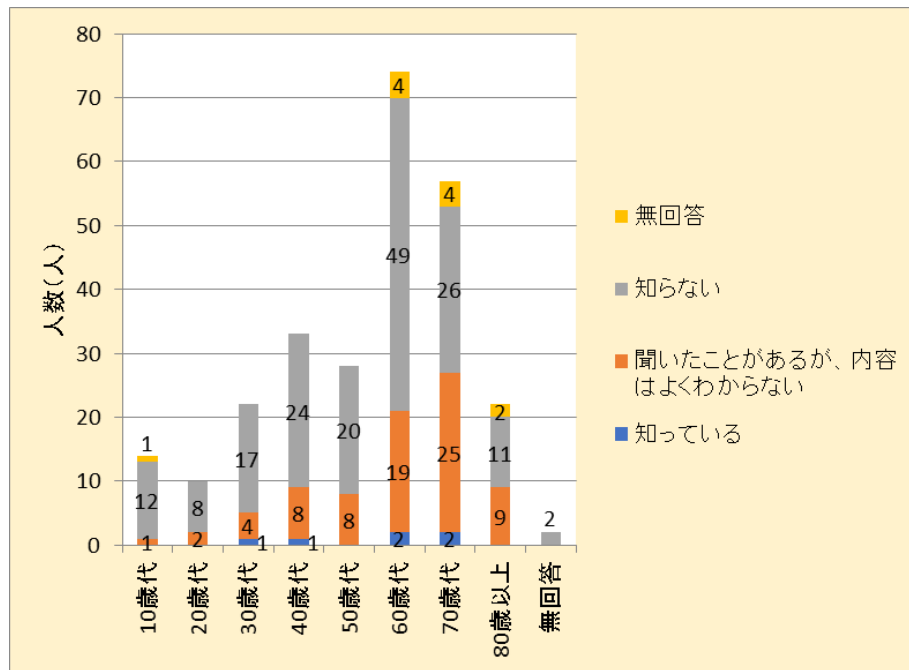


図4-1 (46) 年代と石狩市が検討を進めている風力発電のゾーニング計画について

居住地区とゾーニング計画の周知のクロス集計では、「知っている」は浜益区で1人、旧石狩市地区の花川北及び花川南で2人ずつ、本町で1人が回答している。

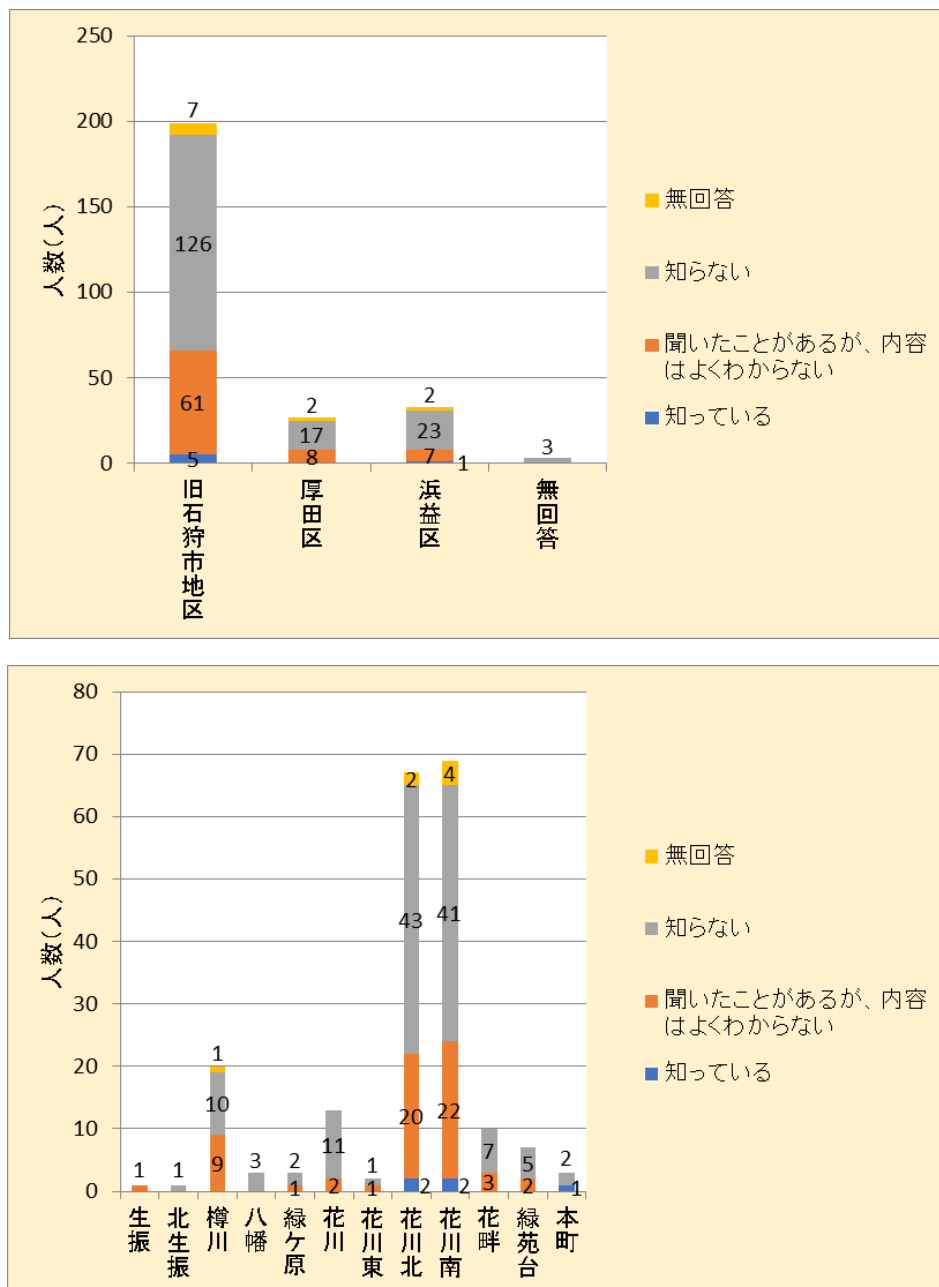


図 4－1（47） 居住地区と石狩市が検討を進めている風力発電のゾーニング計画について

【Ⅳ－2. 今後の風力発電事業において「環境保全を優先すべきエリア」と「風力発電事業の導入可能なエリア」を区分することについてどのように思われますか。＊具体的な理由があればお答えください】

今後の風力発電事業において「環境保全を優先すべきエリア」と「風力発電事業の導入可能なエリア」を区分することについては、「どちらかと言えば賛成」が 86 人（35.2%）で最も多く、次いで、「賛成」が 82 人（33.6%）、「どちらでもない」が 63 人（25.8%）であった。

具体的な理由については、27 人から回答が得られた。具体的な理由の回答結果を表に示す。

表 4－1（21） 「環境保全を優先すべきエリア」と
「風力発電事業の導入可能なエリア」を区分することについて

選択肢	①	②	③	④	⑤	合計
	賛成	どちらかと言え ば賛成	どちらでも ない	どちらかと言え ば反対	反対	
人数（人）	82	86	63	10	3	244
割合（%）	33.6%	35.2%	25.8%	4.1%	1.2%	100.0%

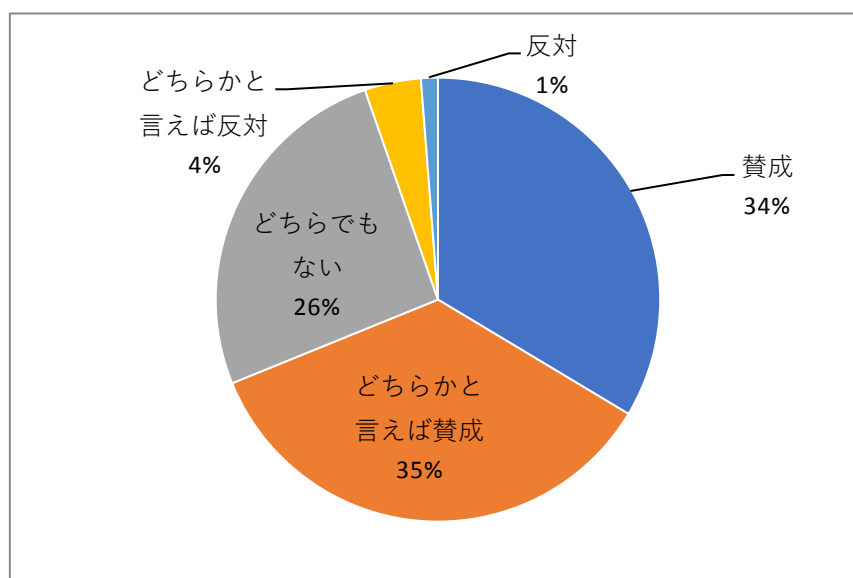


図 4－1（48） 「環境保全を優先すべきエリア」と
「風力発電事業の導入可能なエリア」を区分することについて

年代と「環境保全を優先すべきエリア」と「風力発電事業の導入可能なエリア」を区分することについてのクロス集計では、30 歳代及び 60 歳代は「賛成」が最も多く、20 歳代、50 歳代、70 歳代及び 80 歳以上は「どちらかと言えば賛成」が最も多く、10 歳代及び 40 歳代は「どちらでもない」が最も多い結果となっている。

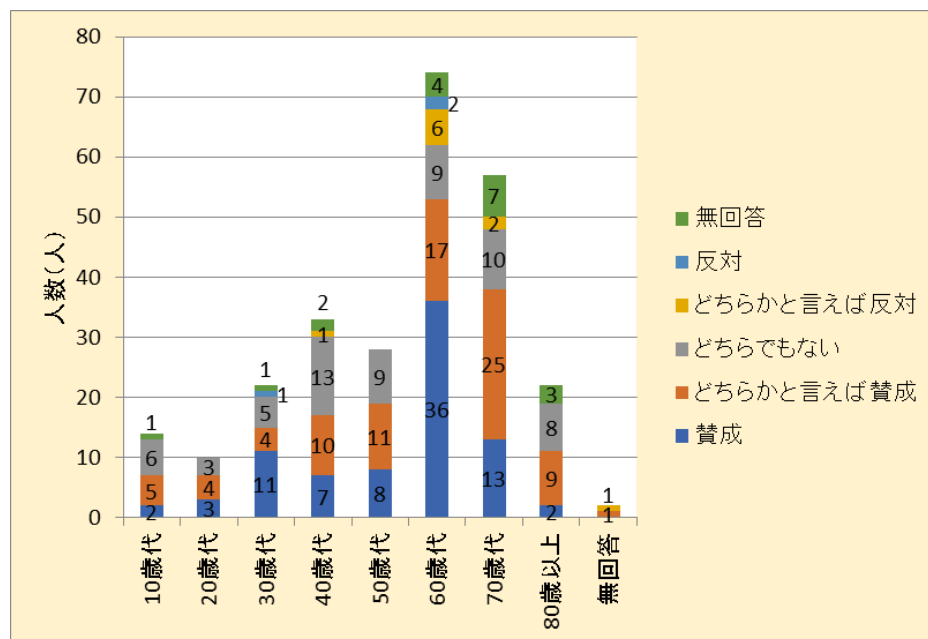


図 4－1 (49) 年代と
「環境保全を優先すべきエリア」と「風力発電事業の導入可能なエリア」を
区分することについて

居住地区と「環境保全を優先すべきエリア」と「風力発電事業の導入可能なエリア」を区分することについてのクロス集計では、旧石狩市地区は「賛成」と「どちらかと言えば賛成」が同数で最も多く、厚田区は「どちらかと言えば賛成」が最も多く、浜益区は「どちらでもない」が最も多い結果となっている。

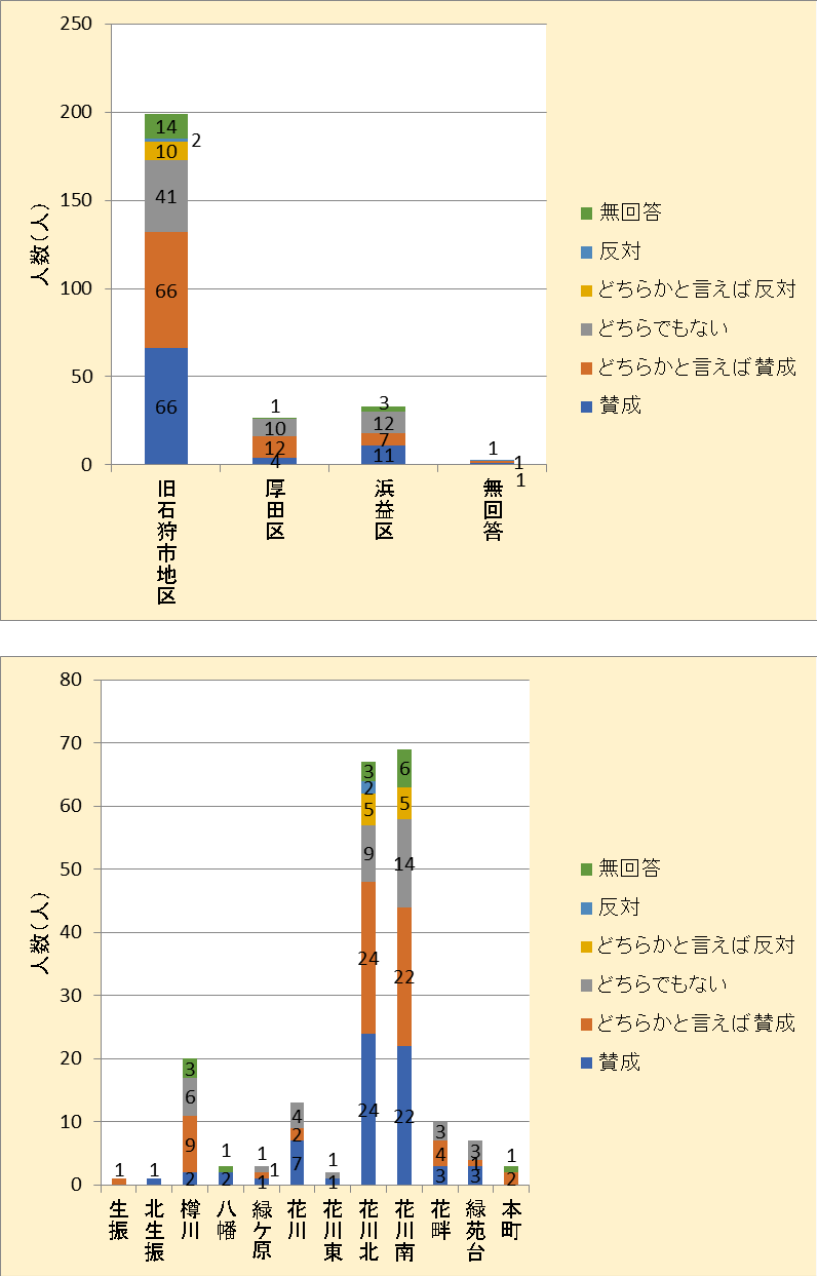


図 4－1 (50) 居住地と
「環境保全を優先すべきエリア」と「風力発電事業の導入可能なエリア」を
区分することについて

表４－１（２２） 「環境保全を優先すべきエリア」と
「風力発電事業の導入可能なエリア」を区分することについて（具体的な理由）

選択肢	具体的な理由
①賛成	・出来るだけ人のいない広い場所に作ってほしい。 ・景観も大切であり、計画的に美しい風力発電設備にしていきたい。 ・近くに住む人の意見が重要だと思う。 ・エネルギーも大事だが環境も大事だと思うから。 ・すべての事業に規制・区分等ある。 ・石狩浜などの希少な生物や植物を保全している地域は守りたいので。 ・騒音や、振動、事故、破損等を考え、エリアを区分することは必要。 ・環境保全を優先する事は大事だと思う。環境破壊してまで造るべきではないと思う。 ・当然の事だと思う。 ・未来の為にも、今ある良い環境は持続させた方が良く、再生可能エネルギーも積極的に取り入れた方が良く、この両者が共存するにはなるべく影響の出ないところを選定した方が良いため。
②どちらかと言えば賛成	・エリアで分ければ問題が起きづらいと思う。 ・具体的に進めていくのであればエリアは分ける方が望ましい。 ・民家のない所があるから。 ・賛成ですが健康被害とか色々マイナスの面もあると聞きます。これから関心を持って見ていきます。 ・やっぱり区分してもらった方が有難いと思う。あと反対意見も聞いてみたい。 ・将来への観光の為。 ・事故の心配。 ・この間の意味がよくわかりません。エリアを選別するのはあたり前ですよね？
③どちらでもない	・どこに設置しようとも、低周波の問題を解決できるなら賛成。 ・風力発電が環境をすべて破壊するとは思えない。あくまでも風力発電の適地（風力エネルギーを MAX 利用、風車の設置可能な場所）を選定するのが先ではない。
④どちらかと言えば反対	・自然を壊しますので風力発電は必要ないです。
⑤反対	—
無回答	・詳しくわかりません。 ・あまり関心がないのでわかりません。 ・導入には反対。 ・むずかしくてよくわからないので賛成とも反対とも言えません。 ・良くわかりませんが、区分して計画を進めても最後には２つの条件が合わない現実にならないかと思うのですが。 ・渡り鳥のルート及び危惧種・希少種の生息地。

【Ⅳ－3. 石狩市が育んできた歴史や文化を踏まえて、お住まいの地域で守りたい自然環境や景観（石狩市らしい景観や昔ながらの原風景など）があれば教えてください。また、その場所・位置についてわかる範囲で添付の地図に書き込んでください。（記述式）】

守りたい自然環境や景観については、58 人から回答が得られた。回答結果を表に示す。石狩川や石狩浜、防風林等が挙げられている。

表 4－1（23） 守りたい自然環境や景観について（1/2）

回答
・記入例（「黄金山の景色（地域の代表的な景色）」、「浜益川河口のサケ（身近な生き物）」、「戸田記念墓地公園の桜（守りたい風景）」）のとおりに。 ・石狩川周辺のはまなすの浜を守っていききたいと思っています。 ・花川近辺の防風林、石狩川。 ・増毛山道、濃昼山道沿線。 ・紅山公園の緑地、池。 ・戸田墓地の桜、石狩川そのもの！ ・場所を特定できないけれど歴史を踏まえて欲しい。 ・幼・小・中・高等、学校の近く。 ・石狩川。 ・浜益の山菜。 ・特に風景地で目に入らない範囲。 ・石狩の灯台付近。防風林（花川）。 ・海。 ・札幌から移転して、石狩市の防風林が在ることに感激したものです。 ・戸田公園、キャンプ場等。 ・場所の特定はないですが、緑が壊されることは反対です。 ・はまなすの丘公園、市街地の内にある防風林。 ・戸田記念墓地公園の桜。 ・石狩湾新港の区域。 ・特になし。石狩は風が強いので今後は風力発電を進めるべし。 ・石狩川。 ・厚田から浜益に至る海岸線、国道から目につく所への設置は反対。 ・石狩市の歴史に特に興味は持たず、石狩市らしい昔ながらの風景等実際の生活に関係する事はない。 ・住居地、農地。 ・海岸の防風林。 ・柏木神社境内地周辺（ユーカラの発祥地といわれている。）、川下神社、荘内藩陣屋跡地周辺。 ・河川敷。 ・紅葉山公園と遊歩道。 ・石狩灯台の近辺。 ・特にわかりません。でも自然は残してほしいと思います。 ・すべての防風林。 ・石狩ふれあいの杜公園。

表 4－1（24） 守りたい自然環境や景観について（2/2）

回答
・石狩浜。 ・はまなすの丘、海浜植物等保護地区、花川南防風林をはじめとする市内～屯田の各防風林。 ・石狩浜、大事にしてほしい。公園全体的に。茨戸川も。 ・生振地区の田園、畑風景。 ・うまく地図に書けませんが、安瀬まで望来からの海岸線、石狩灯台、弁天歴史館等々。 ・マクンベツミズバショウ群生地、はまなすの丘公園附近全体、遮断緑地のエンレイソウ群生地。 ・黄金山の景観。浜益区にいるチョウ、鳥類。登山道の整備。 ・番屋の湯の周辺。 ・海岸など。 ・海岸沿い→一番風力発電を設置しやすいのかもしれないが、苫前のように、林立した風景は気味悪い。 ・戸田公園の桜、あそびーちの自然環境。 ・花川防風林の中に咲く、オオバナノエンレイソウ、オオウバユ等、石狩浜、はまなすの丘公園。 ・浜益川河口付近。 ・黄金山、浜益の郷土資料館。 ・花畔地域の防風林（緑地帯）。 ・石狩浜のハマナス、ハマボウフウなど。 ・暑寒別天売焼尻国定公園内。 ・石狩川の河川敷。 ・石狩市内にあるすべての防風林、紅葉山遺跡、寺社、公園、本町区、対岸、軽川運河、茨戸川河川敷。 ・ミズバショウの育成する近辺。 ・茨戸川の河川敷、樽川・花畔地域の畑や緑。 ・紅葉山公園の緑地、池、新港中央から花川南を貫く防風保安林。 ・防風林（すべて）。 ・石狩市域の海岸線（北端から石狩新港手前まで）、石狩川、真勲別川、正利冠川、浜益川、嶺泊駐車場公園、石狩新港より北側から正利冠川までの海岸付近。 ・海、川、防風林。 ・花畔神社とその周辺の防風林。

【Ⅳ－４．ご自身が感じる保全すべき身近な生き物（動物や植物）があれば教えてください。
また、その場所・位置についてわかる範囲で添付の地図に書き込んでください。（記述式）】

保全すべき身近な生き物については、48 人から回答が得られた。回答結果を表に示す。
オオワシやオジロワシ等の鳥類、遡上するサケ、石狩浜の海浜植物等が挙げられている。

表 4－1（25） 保全すべき身近な生き物について（1/2）

回答
・オオワシ、ハクチョウ。 ・石狩浜の海浜植物など。 ・防風林の生き物、鳥等。 ・タカとかワシ。 ・石狩浜の海浜植物。 ・ワラビ。 ・ハマボウフウ（石狩浜）。 ・場所を特定できないけれど歴史をふまえて欲しい。 ・石狩川のサケ遡上（実家のそばで毎年見ている。沢山の人に知ってもらえたら良い）。 ・遡上するサケ。 ・魚場。 ・ワシ等の猛禽類が多く飛来する場所（場所は不明）。 ・サケ、鳥。 ・シカ、フウロウ、キジ。 ・石狩市全体の海浜植物。 ・浜益川河口に遡上するサケ、飛来するオジロワシ、石狩浜の海浜植物。 ・川や水辺付近は反対です。 ・オジロワシ、サケ、海浜植物。 ・サケ・オジロワシ・トビ。 ・サケ。 ・風車等設置する計画等、身近に関する事はない。鳥とかに影響を及ぼすとか常に問題となるが近くに住む人々に良い環境を作る事が先ではないか。 ・絶滅危惧種がいるならそれら。 ・石狩浜の海浜植物。 ・飛来するオジロワシ、渡り鳥など。 ・石狩産の食べ物や生き物などは保全すべきだと思います。 ・はまなすの丘公園、戸田記念公園（墓地）桜。 ・海浜植物。 ・ヒバリ、ノビタキ、ヨシキリ、etc. 北海に来る渡り鳥（カワアイサ、キンクロハジロ、シギの仲間、オジロワシ、オオワシ）、アカゲラ、カッコウ、ハヤブサ、オオタカ、etc. ・石狩浜に咲いてるはまなす。浜海、川にいる魚、動物達すべて守るべき。

表 4－1（26） 保全すべき身近な生き物について（2/2）

回答
・石狩市の群生植物等。 ・サケ。 ・浜益川河口を遡上するサケ、石狩浜の海浜植物。 ・花川防風林の中に咲く、オオバナノエンレイソウ、オオウバユ等、石狩浜、はまなすの丘公園。石狩浜の海浜植物。 ・サケ、ハマナス。 ・保全すべき生き物はいませんが、鹿やキツネに畑を荒らされて困っています。 ・石狩浜のハマナス、ハマボウフウ。 ・サケ、区内各河川等。 ・石狩川の海浜植物。 ・浜益川河口のサケ。 ・石狩浜の海浜植物。 ・浜益川河口を遡上するサケ、石狩浜の海浜植物遡上するサケ。 ・サケ。 ・サケは絶対守ってほしい。ニシン、ウニ、アワビも。 ・石狩市内で、鮭科の魚が棲息する河川・ダム・サケの遡上が激減してる今、これ以上砂防ダムや堰等の人工物を廃止し、自然遡上できるようにすべき。 ・オオワシ（絶滅危惧種）・オジロワシ（絶滅危惧種）・ハイタカ（準絶滅危惧種）・ハヤブサ（絶滅危惧種）・白鳥・オオジシギ（希少種）・エゾアカヤマアリのスーパーコロニー（世界一規模のコロニー）・キタアカシジミ（絶滅危惧）・アイヌハンミョウ・カラフトイトトンボ（絶滅危惧種）・エゾアカネ（希少種）・エゾカミキリ（希少種）・オオアオイトトンボ（希少種）。 ・サケはおいしいので守りましょう。 ・現状維持が望ましい。 ・石狩砂丘地域にある、天然のカシワ樹林や海浜植物、マクンベツ湿原のミズバショウ。

質問Ⅳ－3 及びⅣ－4 の添付の地図に記入された回答結果を表及び図に示す。なお、分布地域により、「広域」「浜益地区」「厚田地区」「旧石狩市地区」「石狩川河口及び石狩浜周辺」の地域に分けて示した。広域では、石狩市の河川や海岸、浜益地区では、黄金山や増毛山道、浜益川河口等、厚田地区では、濃昼山道や戸田公園等、旧石狩市地区では、マクンベツ湿原や防風林、市街地にある公園等、石狩川河口及び石狩浜周辺では、石狩浜の海浜植物や防風林、公園等が示されている。

表 4－1 (27) Ⅳ－3 及びⅣ－4 の添付図面の回答（広域・浜益地区・厚田地区）

地区等	回答
広域	・ 浜益地区及び厚田地区の河川（千代志別川、幌川、群別川、浜益川、毘砂別川、濃昼川、厚田川（既に終年保護）、古潭川、望来ダム、望来川） ・ 浜益地区及び厚田地区の河川（幌内川、送毛川）（※1） ・ 石狩市の海岸（※1） ・ 海域（※1） ・ 旧石狩市地区全体（※1）
浜益地区	・ 黄金山（回答数 3） ・ 増毛山道（回答数 2） ・ 郷土資料館 ・ 白銀の滝 ・ 毘砂別 ・ 毘砂別展望台 ・ 川下神社、荘内藩陣屋敷跡地 ・ 柏木神社 ・ 浜益川河口付近（※1） ・ 浜益川（※1） ・ 浜益川河口、サケ ・ 浜益 ・ サケ、河口 ・ サケ（回答数 2） ・ サケ（群別川）（※1） ・ オジロワシ、オオワシ、ハクチョウ ・ シカ、フクロウ、山菜 ・ 浜益区群別（※1） ・ 浜益区送毛（※1）
厚田地区	・ 濃昼山道（回答数 2） ・ 厚田漁港 ・ 厚田川清流保存 ・ 戸田記念墓地公園の桜（守りたい風景） ・ 戸田霊園 ・ 戸田記念公園桜 ・ 戸田公園 ・ 戸田公園周辺（※1） ・ 望来付近（海岸） ・ 厚田の夕日（陽） ・ 厚田から見る海の景色 ・ 正利冠川（※1） ・ サケ（※1）

※1 図面に場所名等が記載されていなかったため、図示された場所や設問Ⅳ－3、4 の回答から判断し内容を記載した。

表 4－1 (28) IV－3 及びIV－4 の添付図面の回答

(旧石狩市地区・石狩川河口及び石狩浜周辺)

地区等	回答
旧石狩市地区	・人の暮らしに近い NG ・マクンベツ湿原 ・石狩川マクンベツ湿原 ・マクンベツ湿原のミズバショウ群生地 ・マクンベツ湿原のミズバショウ ・ミズバショウ群生地 ・防風林に住んでいる希少な生きもの ・市街地にある防風林 ・市内随所にある防風林 ・新港中央から花川南を貫く防風保安林 ・花畔神社とその周辺の防風林 ・樽川、花畔地域の畑や緑（守りたい風景） ・茨戸川の河川敷（守りたい風景） ・五の沢～高岡地区（景色、歴史、保全） ・新港で釣りがいつまでも楽しめる様に ・紅葉山公園 ・紅葉山公園の緑地・池 ・ふれあいの杜公園 ・了恵寺 ・生振地区の田畑 ・遮断緑地エンレイソウ群生地 ・ガトーキングダム周辺地域（身近な生き物：野鳥） ・キジ ・石狩新港付近（※1） ・石狩川、真勲別川、茨戸川（※1）
石狩川河口及び石狩浜周辺	・石狩川 ・石狩川河口付近（守りたい風景と歴史） ・石狩川河口周辺（守りたい風景） ・遡上するサケ ・石狩湾 ・石狩浜 ・石狩浜の海浜植物 ・石狩浜の海浜植物（身近な生き物） ・石狩浜周辺（※1） ・石狩浜周辺（飛来するオジロワシ、渡り鳥など）（※1） ・カシワ林、海岸保安防風林 ・石狩砂丘地域にある天然のカシワ林や海浜植物 ・ハマナス等海浜群 ・環境、植物、動物 ・石狩浜海浜植物保護センター ・石狩燈台付近 ・灯台周辺 ・はまなすの丘公園 ・はまなすの丘公園及び海浜地区 ・はまなす公園含む海岸エリア（環境保全、動植物保全） ・番屋の湯 ・温泉の水質が変わることがない様に ・あそびーち（回答数 2）

※1 図面に場所名等が記載されていなかったため、図示された場所や設問IV－3、4 の回答から判断し内容を記載した。





図 4 - 1 (52) IV-3 及びIV-4 の添付図面の回答 (浜益地区)

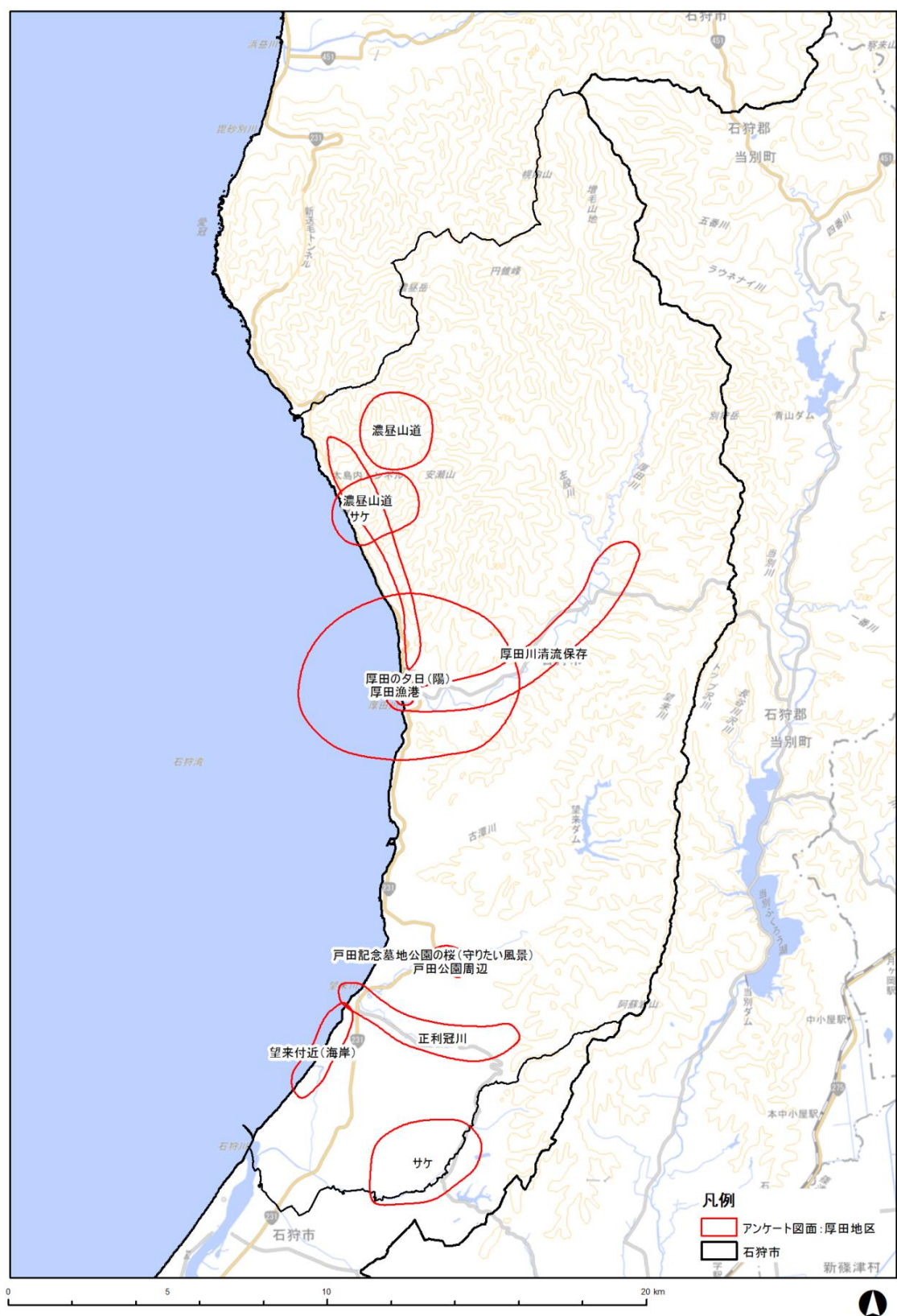


図 4 - 1 (53) IV-3 及び IV-4 の添付図面の回答 (厚田地区)

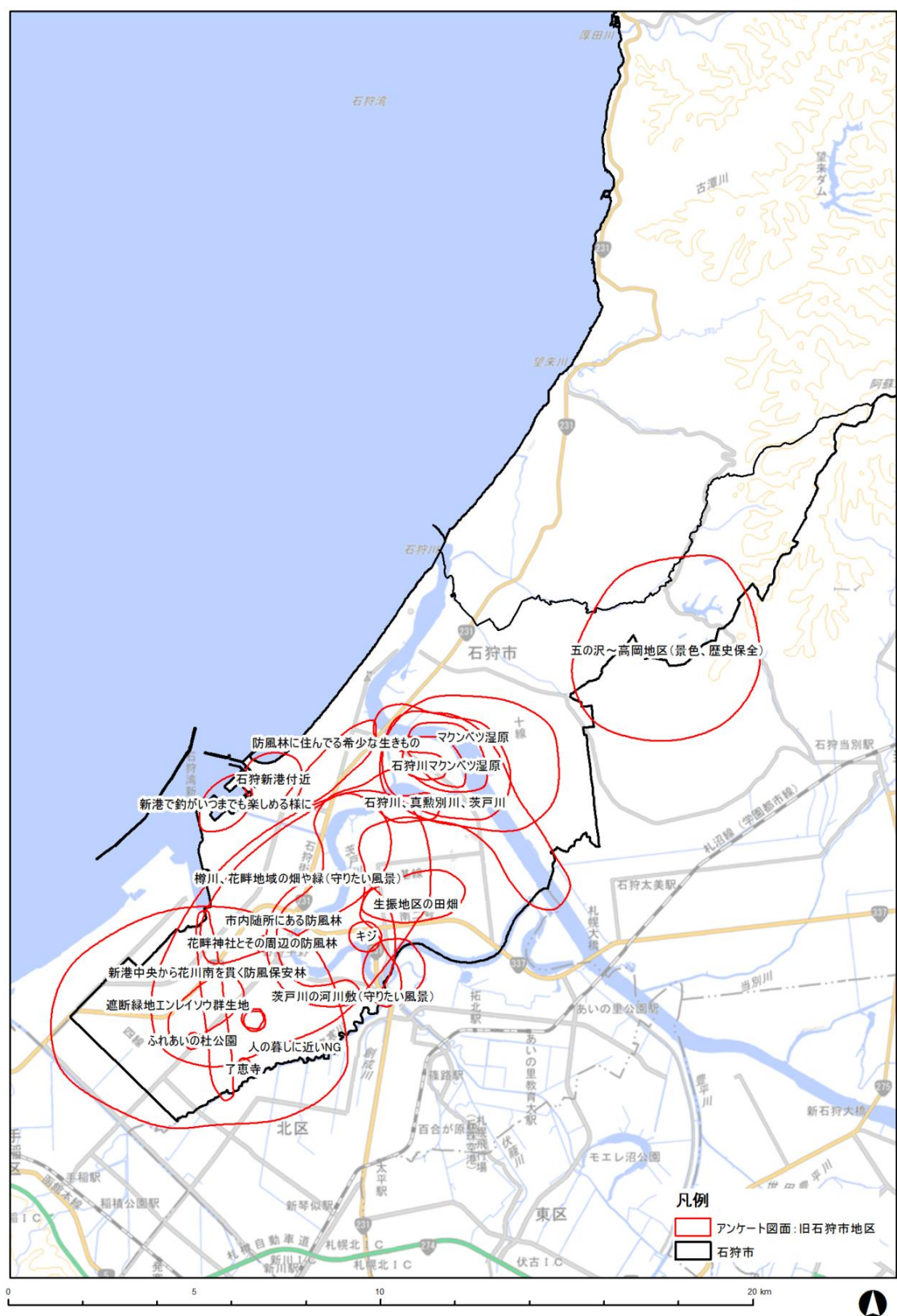
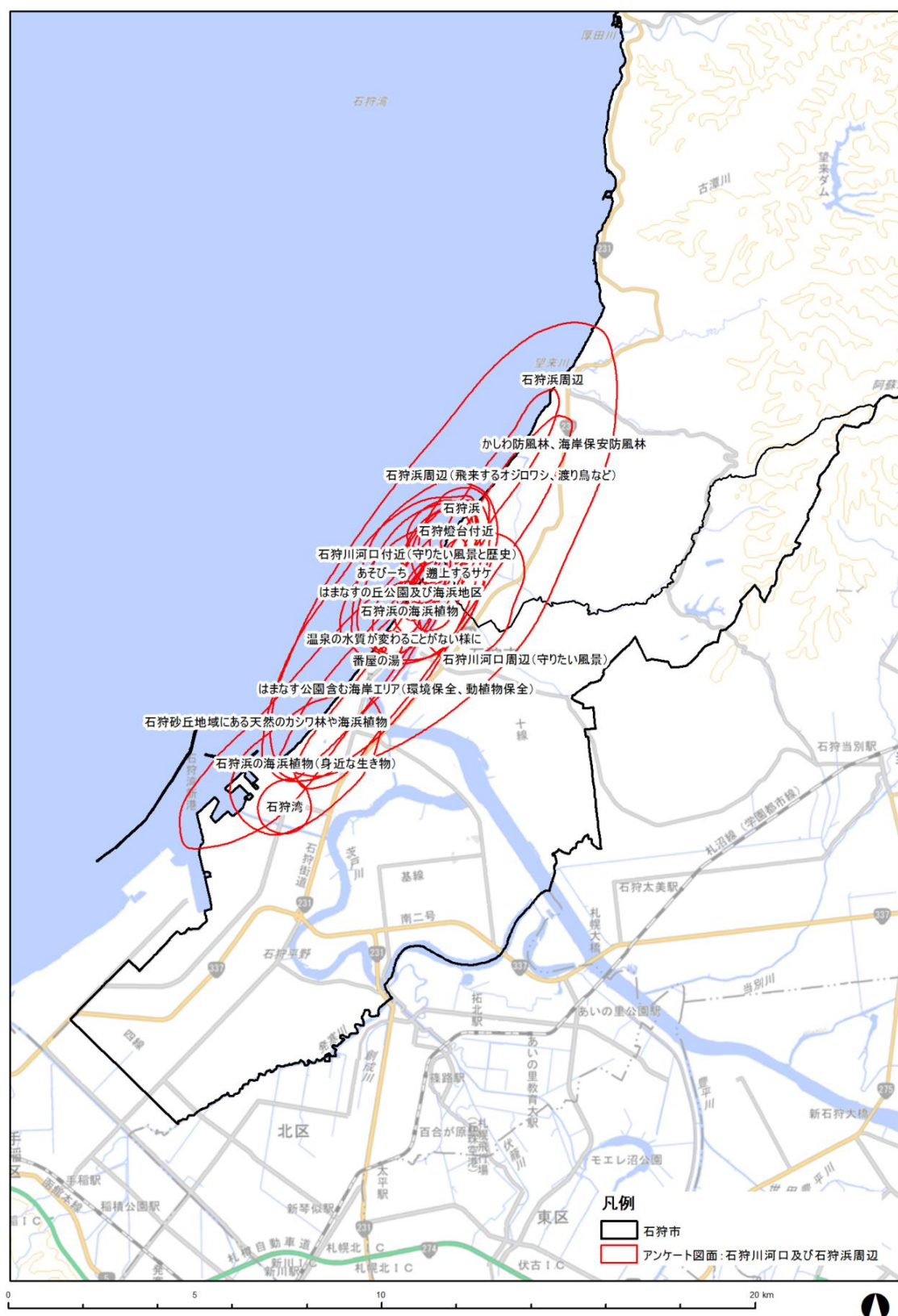


図4-1 (54) IV-3 及びIV-4 の添付図面の回答(旧石狩市地区)



【Ⅳ－5. 石狩市内で風力発電の立地が望ましくない場所はどのようなところですか。（複数回答可）】

石狩市内で風力発電の立地が望ましくない場所については、「人の暮らしに近い場所（住宅地、学校、病院など）」が 216 人（82.4%）で最も多く、次いで、「人の暮らしに近い自然（防風林、河岸、社寺林など）」が 156 人（59.5%）、「農林水産活動に近い場所（山林、農耕地、漁場など）」が 87 人（33.2%）であった。

表 4－1（29） 石狩市内で風力発電の立地が望ましくない場所について

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	人の暮らしに近い自然（防風林、河岸、社寺林など）	人の暮らしに近い場所（住宅地、学校、病院など）	生産活動に近い場所（港湾地域、工業用地など）	農林水産活動に近い場所（山林、農耕地、漁場など）	人の暮らしや生産活動・農林水産活動から離れた陸上	人の暮らしや生産活動・農林水産活動から離れた海上	その他
人数（人）	156	216	62	87	28	22	4
割合（%）	59.5%	82.4%	23.7%	33.2%	10.7%	8.4%	1.5%

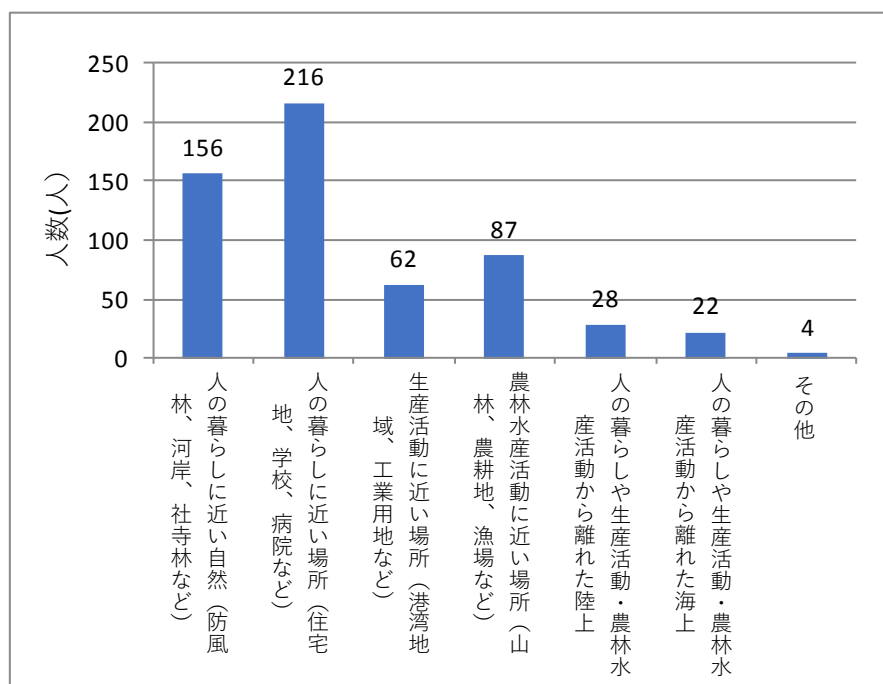


図 4－1（56） 石狩市内で風力発電の立地が望ましくない場所について

年代と石狩市内で風力発電の立地が望ましくない場所についてのクロス集計では、年代による差は大きくはみられない結果となっている。全ての年代において「人の暮らしに近い場所（住宅地、学校、病院など）」が最も多く、次いで「人の暮らしに近い自然（防風林、河岸、社寺林など）」が多い結果となっている。

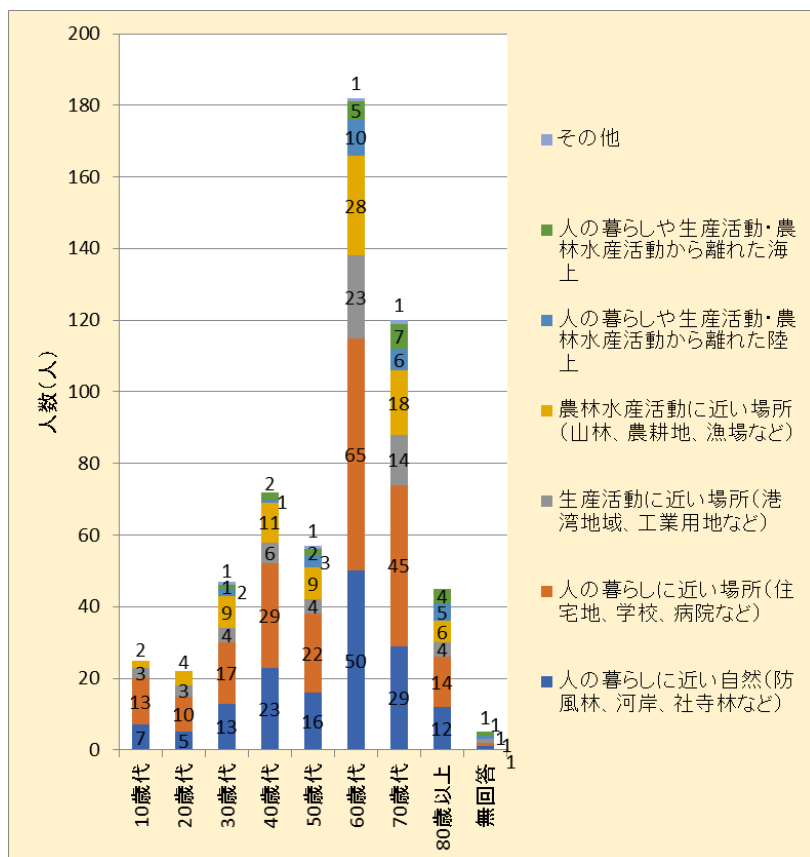


図4-1 (57) 年代と石狩市内で風力発電の立地が望ましくない場所について

居住地区と石狩市内で風力発電の立地が望ましくない場所についてのクロス集計では、居住地区による差は大きくはみられない結果となっている。全地区において「人の暮らしに近い場所（住宅地、学校、病院など）」が最も多く、次いで「人の暮らしに近い自然（防風林、河岸、社寺林など）」が多い結果となっている。旧石狩市地区内においては、回答者数の違いからばらつきがみられるが、回答者数の多い樽川、花川、花川北、花川南、花畔及び緑苑台等で同様の傾向がみられる。

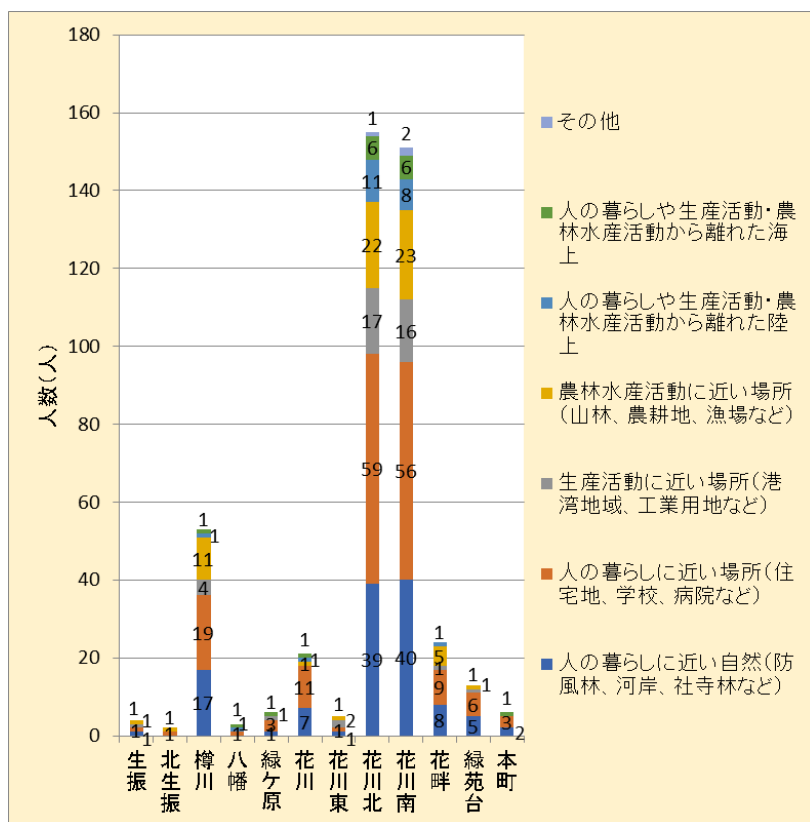
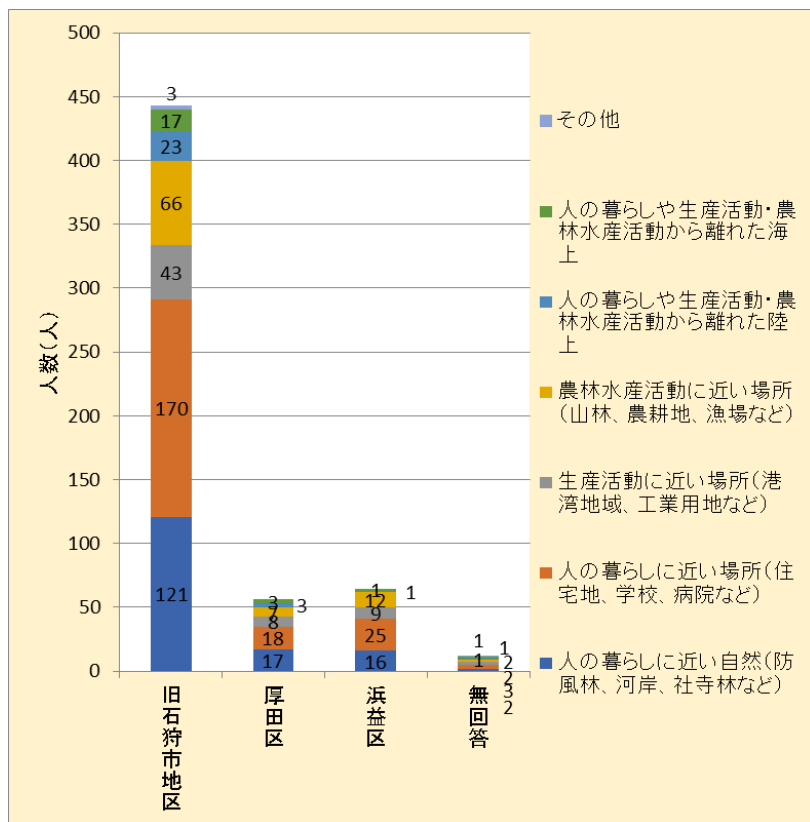


図 4 - 1 (58) 居住地区と石狩市内で風力発電の立地が望ましくない場所について

【本アンケート等に関してその他のご意見がありましたら、ご記入ください。（記述式）】

その他の意見については、46 人から回答が得られた。回答結果を表に示す。

表 4－1（30） その他の意見について（1/3）

地区等		回答
旧 石 狩 市 地 区	北生振	・収入源になるなら、どんどんやるべき。そして市民に還元すべき。
	樽川	・風力発電はあまり優先したくはないです。動物、自然を大事にしたいので、それが守れる範囲であれば、よく考えた上でよろしく願います。石狩を守っていききたいので。 ・勉強不足でわからない事が多く、答えられない事だらけですみません。 ・風力発電が今石狩に必要なのかがよくわからないので、アンケートを書きながらなんとも言えない気分になりました。ただ、石狩市で生まれ育っていないので、保全を望む場所が今はありませんが、今の環境は大切にしつつやって行ける事業があるならば、あっても良いのかもしれないとは思いました。風力発電ができたことによる健康被害等何かデメリットが知りたいと思いました。
	花川	・降雪をすれば大きな雪山ができる、冷源として利用する事を考えるのが良い。太陽光発電、風力発電は不安定で質量共に疑問あり。実験以上の意味があるとは思えない。荒地の利用法ならわかる。 ・ゾーニング計画を推進するに当たっては、風力発電施設の地域、環境へのメリット、デメリットを今までのほかの経験地域の実績等を参考にしながら、もっと詳しく市民に周知する事が大切だと思います。
	花川北	・石狩市に風力発電計画があるということ事態初めて聞く事で、もっと広く、地域全体に知れわたった時点でのアンケートなら納得がいくが、現状では、計画そのものに反対します。 ・車などの振動で発電することができる方が良いと思います。 ・ゾーニングとは？調べなければ解らない言葉には説明が必要と思う。 ・この様な計画があることを知らなかったので知る機会になった。 ・特にありません（石狩市に任せよう）。 ・基本的には風力発電は反対。 ・花畔神社の通りから見る風力発電の風景は異様だ。 ・太陽光発電の普及に関する政策を期待します。（個人的には家庭用を） ・IV-5については、人の生活圏でなくとも、鳥であったり、動物であったり、植物にも影響はあろうと思われます。こういった事業に対しての国からの補助金？（助成金？）地方からもあるのでしょうか、それが目当てでどんどんと業者が出てくる（同じ業者が名前を変える）のはおかしい話だと思います。 ・石狩に来た頃には見なかった植物が海の方から増えて、今では 337 号に沿った道や屯田や、もっと遠くまで増えている。増える力も強い。とても気になっています。 ・厚田方面の地形が望ましいのでは。

表 4－1 (31) その他の意見について (2/3)

地区等	回答
旧石狩市地区	・固形ガス燃料は良いと思います。 ・石狩は、せっかく海があるのだから、もっと利用すべきだと思う。個人宅の少ない土地もどんどん利用すべきだと思う。わざわざ街中に作る必要は無いと思う。 ・陸上は土地の利害関係取得費用の面から洋上が好ましい。 ・迷惑にならない場所。 ・よく理解できていないことが多かった。 ・どうしたら良いのか、良くわかりません。 ・風の強い場所が良いかと思います。 ・アンケート対象者を無作為に選ぶのも良いけど、その中の何人がアンケートを書くのかがちょっと心配です。特に高校生とか私のような例外は除いて書いてくれないと思います。少なくともうちの学校には書きそうな人はいません。もう少し興味をそそる何かを考えてみてはどうでしょう。私は思いつかないので丸投げします。 ・あまり知識がなくわからない事の方が多かった。 ・正直、内容についてあまりよくはわかっていないし、これからの未来どうなっていくかは全然わかりません。でも、少しでも環境が良くなって、自然が守れて、これからの将来、豊かに過ごせるようになってほしいなと思います。 ・風力発電は地域住民への振動低周波の影響を充分検討して立地場所を選定することを望みます。海上風力、太陽光発電を進めたいと思います。 ・風力発電は火力発電、原子力発電より環境に優しい発電で推進すべき。設置場所は生活（騒音、振動）、仕事（酪農家の家畜の影響）、景観に配慮して設置してほしい。Ⅳ-3、Ⅳ-4 のアンケート調査は石狩 30 年居住とはいえ市街地、厚田、浜益など広大な地域は熟知してなく調査記入をしませんでした。 ・脱原発につながる再生可能エネルギー（風力発電、太陽光発電、地熱発電 etc）の積極的導入を望みます。 ・アンケート内容について詳しく知らない為、うまく解答できず、申し訳ありません。 ・原子力発電よりも再生可能エネルギーを導入すべきと思います。 ・毎年初秋、我が家の上空は渡り鳥の飛行ルートとなっており鴨や白鳥などが仲間同士お互いに鳴き交わしながら越冬地へと飛んで行きます。 下川町とは縁あって何度となく出向く事があります。現在、下川町が推し進める木質バイオマス利用の一環である熱急供給施設「五味温泉木質バイオマスエネルギー」とその隣接施設にある「環境共生型モデル住宅 美桑」を実際体験する機会がありました。両施設とも真冬でもとても暖かく快適でペレットストーブもとても使い勝手のよい快適な時を過ごせました。 下川町の体験は自身にとってはとても距離が近く間伐材の有効利用等による山林の活性化や荒れた山林がなくなり、林業の雇用促進と高齢化による I ターン移住者の定住化などがみられます。 さて、ところで石狩市が推し進める「風力発電ゾーニング計画」は一般市民にとってどのような存在であるのでしょうか？家族、友人に聞いても「風車が新港近くにあって回っており、そのうち一基は何故か制止している。」実際に風力発電が何に利用され、どのように市民に還元されるのか具体的な使用目的が全く見えてきません。一般参加型の市民の目に見える形でサービスが利用出来なければ不信感が募る一方でしょう。 ・がんばって下さい。

表 4－1 (32) その他の意見について (3/3)

地区等		回答
旧石狩市地区	花畔	・風力発電は賛成ですが、地元住民にもう少しメリットを感じる事が出来れば、もっと賛成、協力したいと思う。最近、風力発電が増えてるのは感じますが、今のところメリット感がない。 ・平成 22 年に滝川から当地の息子の所へ来て主人を 28 年に亡くして花畔の施設でお世話になって石狩市のすばらしさ知りました。自分も年をかさねて、これからを少しでも元気で過ごしたいです。 ・すでにもう建てられていて、今さら意見を聞かれても、とってしましました。
	緑苑台	・原発廃止し、自然エネルギーを推進する必要があるなら、ゾーニングを決めるのは良い事と思う。しかし、実際には、決めるのに時間もかかり、特に意味をなさない様にも思われる。石狩市は海岸に面している場所でも、実際に風車の設置できる場所はかざられていると思う。無理にゾーニング計画を作っても自然エネルギー等の開発を遅らせる要因となる気がする。各種開発計画が先なのは。
	本町	・当地より浜益方面に向う時、望来の手前から海が開けるその坂を一気に降りる。海へ向って右手の丘は別荘地らしいのですが、そこに風力発電を建てた方が景観が良いと思う。あの別荘地は景観を壊す。私にとって別荘地は長野とニセコです。※地図の文字が薄くて判りずらかった。
厚田区		・設置場所は人の生活圏外にして欲しい。重低音や微振動が連続して発生する環境での生活は精神衛生上好ましくない。 ・強い風が吹くので、利用した方が良いと思う。そして、厚田区の電気料を安くすると厚田区は住みよくなり、人口も増えると思う。（特に厚田に住みたいと言う人は無料でも良い） ・風力発電を設置するなら、自然との融合、観光やすばらしい景観になるよう世間に発信できる事も考えてほしい。国内外から。例えて言うなら、ジブリアニメの「風の谷のナウシカ」のような現代の“石狩の風の谷”と呼ばれるとうれしい。インスタ映えできる景観、又、自然と共存できる人々の背景なども期待したい。厚田の道の駅までのオロロン街道の目玉としたい。
浜益区		・稚内のオトンルイ風力発電設備がお手本。エネルギーと観光をうまく取り入れた成功例と思う。同様な設備が良いとは言いませんが、極めて特徴のある設置方法であれば、地域の観光面でもメリットがあると思います。 ・あちこちに 1 基 2 基建てるのではなくて、元々ある所に増やせば、撮影スポットにもなるのではないのでしょうか。 ・体にどんな影響があるのか。

4.2 関係団体アンケート調査

4.2.1 趣旨

各種環境配慮情報の収集・整理、現地調査等を実施するほか、地域固有の自然環境の情報を幅広く収集するため、地域の自然保護団体等に対し動植物等情報のアンケート調査を実施した。

4.2.2 実施概要

実施主体：石狩市

実施対象：地域の自然保護団体等 14 団体

実施時期：平成 30 年 8 月 17 日～平成 30 年 8 月 31 日

実施方法：アンケート調査票に返信用封筒を同封し、回収を行う。

調査票：図 4-2(1)～(4)に示す

配布数：14 通

回収数：8 通（回収率：57.1%）

風力発電ゾーニング計画に資する自然環境情報の収集に関するアンケート票

I. 貴団体、貴法人、貴会の活動内容などについて

I-1 貴団体、貴法人、貴会の名称、連絡先などについて

名称、代表者または担当者（アンケート票記入者）、連絡先について記入して下さい。

※情報提供の内容についての詳細確認・ヒヤリングなどのため、ご連絡させて頂く場合があります。

・名 称 ()

・代表者（担当者） ()

・連絡先 (住 所：)

(電 話： FAX：)

(e-mail：)

I-2 主な活動対象地域

該当する番号に○をつけ、具体的な対象地域について () 内にわかる範囲で記入して下さい。

例：市全域、厚田区、浜益区、石狩浜周辺など

① 石狩市 ()

② 石狩市を含む地域 ()

③ その他 ()

I-3 活動の内容

主な活動の内容（項目）について枠内に記入して下さい。

例：観察会や学習会の開催、施設の運営管理、定期的な現地調査、機関紙や会報等の出版、Web による配信など

I-4 主に対象としている動植物、自然環境などの分野

該当する番号に○をつけ、具体的な対象分野があれば（鳥類、哺乳類、魚類など）について

() 内にわかる範囲で記入して下さい。

① 動物 ()

② 植物 ()

③ 景観・地形地質 ()

④ その他 ()

図 4-2 (1) 関係団体アンケート調査票 (1/3)

Ⅱ. 石狩市および周辺地域における動植物の生息、分布等の自然環境情報について

Ⅱ-1 調査の結果、保有する情報などについて

石狩市や隣接する地域の動植物や地形・地質など自然環境に関して保有している情報について、該当する番号に○をつけ、具体的な対象分野（鳥類、哺乳類、魚類など）について（ ）内にわかる範囲で記入して下さい。

- ① 動物 ()
- ② 植物 ()
- ③ 景観・地形地質 ()
- ④ その他 ()

Ⅱ-2 動植物の生息、分布情報等の公開の有無について

保有している動植物の生息、分布情報の一般への公開状況について、該当する番号に○をつけて下さい。

- ① 一般にすべて公開
- ② 情報を限定して一般に公開
- ③ 非公開（会員等のみへの限定公開を含む）
- ④ その他 ()

Ⅱ-3 調査結果等の公開の方法について

一般に公開されている場合、その方法を枠内に記入ください。

例：資料展示、会報等配布、冊子や報告書作成、Web 掲載（掲載サイト名）など

Ⅱ-4 公開資料の名称や発行時期などについて

会報や冊子などの資料を公開されている場合、資料の名称や発行状況を枠内にご記入ください。

例：会報などの資料の名称、発行時期や発行頻度など

図 4-2（2） 関係団体アンケート調査票（2/3）

4.2.3 調査結果

関係団体アンケート調査では、表 4-2(1)に示す 8 団体より回答を得た。I - 2 以降の各設問の回答結果を以下に示す。

表 4 - 2 (1) 回答団体

整理 番号	団 体 名 (自然環境関連)
1	NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ (石狩浜海浜植物保護センター)
2	石狩鳥類研究会
3	北海道希少生物調査会
4	日本野鳥の会札幌支部
5	北海道地方環境事務所
6	一般社団法人 北海道自然保護協会
7	石狩浜夢の木プロジェクト
8	石狩浜定期観察の会

【Ⅰ. 貴団体、貴法人、貴会の活動内容などについて】

【Ⅰ-2 主な活動対象地域

該当する番号に○をつけ、具体的な対象地域について（ ）内にわかる範囲で記入して下さい。

①石狩市 ②石狩市を含む地域 ③その他 】

主な活動の対象地域は、「石狩市」が2団体（25%）、「石狩市およびその他の地域」が6団体（75%）であった。

表4-2（2） 主な活動対象地域

整理 番号	団 体 名 （自然環境関連）	Ⅰ-2 主な活動の対象地域
1	NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ （石狩浜海浜植物保護センター）	①石狩市（海浜）
2	石狩鳥類研究会	②石狩市を含む地域（石狩振興局管内全域）
3	北海道希少生物調査会	①石狩市（厚田区） ②石狩市を含む地域（石狩川流域） ③その他（札幌市全域）
4	日本野鳥の会札幌支部	②石狩市を含む地域（札幌市・北広島市・当別町）
5	北海道地方環境事務所	③その他（国立公園及び国指定鳥獣保護区）
6	一般社団法人 北海道自然保護協会	③その他（北海道全域）
7	石狩浜夢の木プロジェクト	①石狩市（花川南防風林及びはまなすの丘公園、年に1度、市外や厚田区等の観察を行う。）
8	石狩浜定期観察の会	①石狩市（はまなすの丘公園）

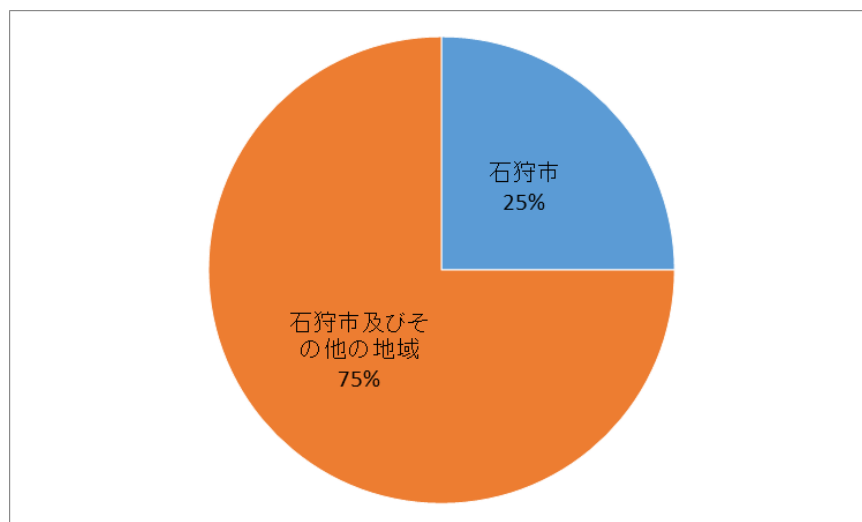


図4-2（4） 主な活動対象地域

【I-2 活動の内容

主な活動の内容（項目）について枠内に記入して下さい。 】

活動の内容を表 4-2(3)に示す。活動の内容として、定期的な生物調査、学習会や観察会の実施、関係機関との連携等が挙げられている。

表 4－2（3） 活動の内容

整理 番号	団 体 名 （自然環境関連）	I-3 活動の内容
1	NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ （石狩浜海浜植物保護センター）	施設の運営、観察会ツアーの開催、小中学校への環境学習指導（自然分野）、植生モニタリング、啓発活動、ゴミ拾いなど
2	石狩鳥類研究会	石狩管内鳥類年次記録の収集と公表
3	北海道希少生物調査会	・コウモリ調査：円山 Zoo との協働事業として調査、飼育研究、観察会など ・シロマダラ調査：石狩市厚田区にて経年的に、この希少爬虫類を探索、観察 ・オジロワシ調査：石狩川流域のオジロワシ繁殖状況を把握する調査
4	日本野鳥の会札幌支部	観察会（探鳥会）や学習会の開催、機関紙や会報「カッコウ」（A4 版 16P、年 10 回）の発行、オジロワシ・オオワシ越冬調査・定期的な現地調査、支部ホームページによる Web による配信、講演会・写真展などの開催、必要に応じての野帳生息調査など。
5	北海道地方環境事務所	省略
6	一般社団法人 北海道自然保護協会	1964 年多岐にわたる分野の専門家や自然愛好家が集まった団体であり、1979 年北海道より社団法人の認可を受け、2012 年より一般社団法人に移行した。自然破壊の問題について道内各地の方々や団体と連携して保護活動を行っている。
7	石狩浜夢の木プロジェクト	観察会や学習会の開催。年に 1 度、花川南防風林に設定した 5 ヶ所の観察ポイントの植生調査。月に 1 度（4～11 月）、花川南防風林の開花調査と小動物調査。
8	石狩浜定期観察の会	定期的（4 月中旬～11 月 3 日までの第 1・3・5 水曜日）な現地調査（主に開花調査）

【I-4 主に対象としている動植物、自然環境などの分野

該当する番号に○をつけ、具体的な対象分野があれば（鳥類、哺乳類、魚類など）について（ ）内にわかる範囲で記入して下さい。

①動物 ②植物 ③景観・地形地質 ④その他 】

主に対象としている分野は、「動物」が3団体（37%）、「動物及び植物」が2団体（25%）、「動植物及び景観・地形地質」が1団体（13%）、「動植物及び景観・地形地質、その他」が1団体（13%）、未回答が1団体（13%）であった。

表4-2（4） 主に対象としている分野

整理番号	団 体 名 （自然環境関連）	I-4 主に対象としている分野
1	NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ （石狩浜海浜植物保護センター）	①動物（鳥類、昆虫類ほか） ②植物（海浜植物） ③景観・地形地質（砂丘）
2	石狩鳥類研究会	①動物（鳥類）
3	北海道希少生物調査会	①動物（鳥類、哺乳類、爬虫類）
4	日本野鳥の会札幌支部	①動物（鳥類）
5	北海道地方環境事務所	—
6	一般社団法人 北海道自然保護協会	①動物 ②植物 ③景観・地形地質 ④その他
7	石狩浜夢の木プロジェクト	①動物（鳥類、昆虫等） ②植物
8	石狩浜定期観察の会	①動物（鳥類、昆虫等） ②植物

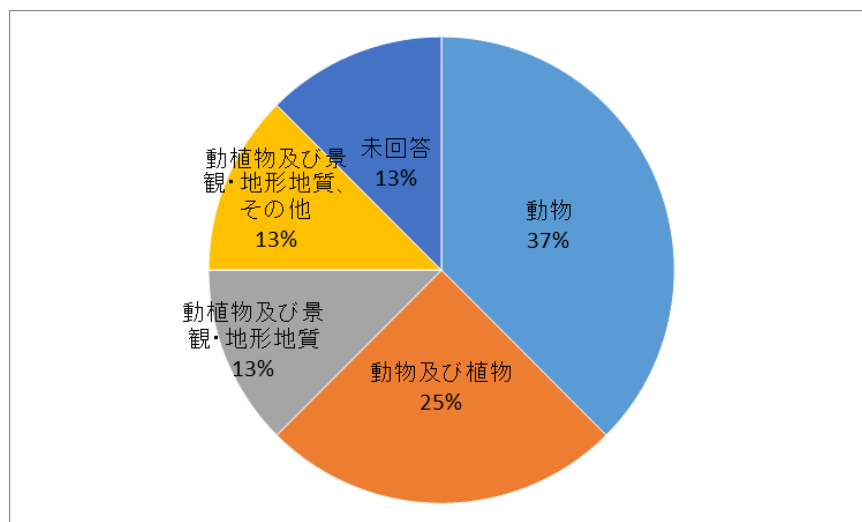


図4-2（5） 主に対象としている分野

【Ⅱ． 石狩市および周辺地域における動植物の生息、分布等の自然環境情報について】

【Ⅱ-1 調査の結果、保有する情報などについて

石狩市や隣接する地域の動植物や地形・地質など自然環境に関して保有している情報について、該当する番号に○をつけ、具体的な対象分野（鳥類、哺乳類、魚類など）について（ ）内にわかる範囲で記入して下さい。

①動物 ②植物 ③景観・地形地質 ④その他 】

保有する情報などについては、「動物」が4団体（50%）、「植物」が1団体（13%）、「動物及び植物」が2団体（25%）、動植物及び景観・地形地質が1団体（13%）であった。動物の中でも、鳥類に関する情報を保有している団体が多くみられた。

表4-2（5） 保有する情報などについて

整理番号	団 体 名 （自然環境関連）	Ⅱ-1 保有する情報などについて
1	NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ （石狩浜海浜植物保護センター）	②植物（海浜植物、海岸林の植物）
2	石狩鳥類研究会	①動物（鳥類）
3	北海道希少生物調査会	①動物
4	日本野鳥の会札幌支部	①動物（鳥類）
5	北海道地方環境事務所	①動物（鳥類）
6	一般社団法人 北海道自然保護協会	①動物 ②植物 ③景観・地形地質
7	石狩浜夢の木プロジェクト	①動物（鳥類、昆虫等） ②植物
8	石狩浜定期観察の会	①動物（鳥類、昆虫等） ②植物

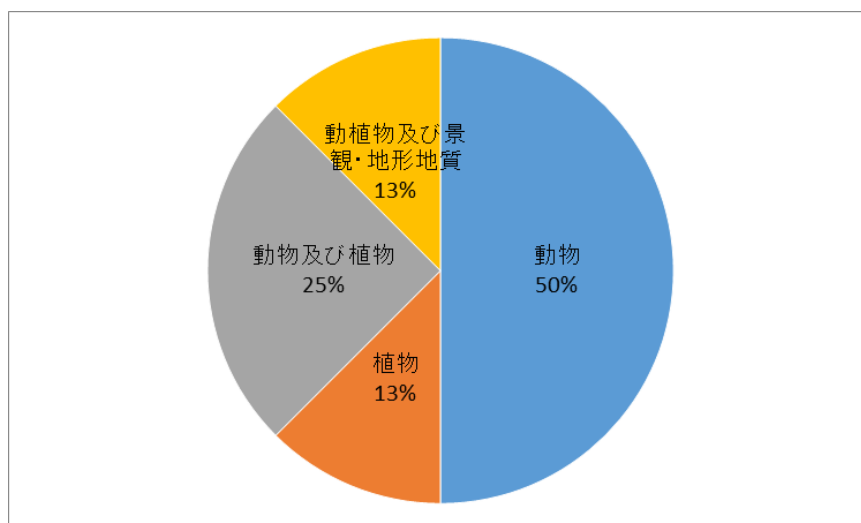


図4-2（6） 保有する情報などについて

【Ⅱ-2 石狩市および周辺地域における動植物の生息、分布等の自然環境情報について
保有している動植物の生息、分布情報の一般への公開状況について、該当する番号に○
をつけて下さい。

- ①一般にすべて公開 ②情報を限定して一般に公開
③非公開(会員等のみへの限定公開を含む) ④その他

】

情報等の公開の有無については、「①一般にすべて公開」が1団体(13%)、「②情報を限定して一般に公開」が3団体(37%)、①と②を選択した団体が1団体(13%)、「③非公開」が2団体(25%)、「④その他」が1団体(13%)であった。

表4-2(6) 情報等の公開の有無について

整理 番号	団 体 名 (自然環境関連)	Ⅱ-2 情報等の公開の有無について
1	NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ (石狩浜海浜植物保護センター)	④その他(モニタリングサイト1000里地として報告、 資料がまとまったものは展示や紀要へ寄稿)
2	石狩鳥類研究会	①一般にすべて公開
3	北海道希少生物調査会	②情報を限定して一般に公開
4	日本野鳥の会札幌支部	①一般にすべて公開 ②情報を限定して一般に公開
5	北海道地方環境事務所	③非公開
6	一般社団法人 北海道自然保護協会	②情報を限定して一般に公開
7	石狩浜夢の木プロジェクト	③非公開
8	石狩浜定期観察の会	②情報を限定して一般に公開

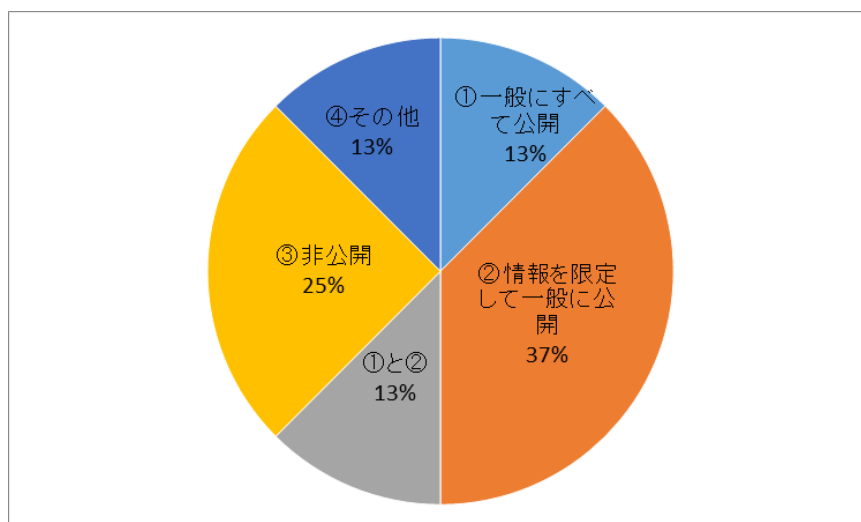


図4-2(7) 情報等の公開の有無について

【Ⅱ-3 調査結果等の公開の方法について

一般に公開されている場合、その方法を枠内に記入ください。】

公開の方法について表 4-2(7)に示す。展示、講演会、HP での公開、会報の発行等が挙げられている。

表 4-2 (7) 公開の方法について

整理 番号	団 体 名 (自然環境関連)	Ⅱ-3 公開の方法について
1	NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ (石狩浜海浜植物保護センター)	展示
2	石狩鳥類研究会	会報「石狩鳥報」の発行、石狩鳥類研究会ホームページへの公表
3	北海道希少生物調査会	講演会が主。捕獲したものについては動物園に展示しています (シロマダラ)。
4	日本野鳥の会札幌支部	・会報等配布 ・Web 掲載 (日本野鳥の会札幌支部ホームページの「鳥日和・探鳥会で見た鳥」欄
5	北海道地方環境事務所	—
6	一般社団法人 北海道自然保護協会	石狩市の HP での公開、ダウンロードプリントアウトの無制限化
7	石狩浜夢の木プロジェクト	—
8	石狩浜定期観察の会	・石狩浜海浜植物保護センターHP ・いしかり砂丘の風資料館紀要 ・観察記録のコピーを石狩浜海浜植物保護センター提供 ・写真情報の一部は調査日毎に公開 (保護センター・はまなすの丘公園ヴィジターセンター・石狩市民図書館に展示) ・毎年、石狩市民図書館及び札幌エルプラザにおいて一年間の観察写真展を開催している。

【Ⅱ-4 公開資料の名称や発行時期などについて

会報や冊子などの資料を公開されている場合、資料の名称や発行状況を枠内にご記入ください。】

公開資料について表 4-2(8)に示す。会報や会誌等の資料を発行している団体がみられる。

表 4-2 (8) 公開資料について

整理 番号	団 体 名 (自然環境関連)	Ⅱ-4 公開資料について
1	NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ (石狩浜海浜植物保護センター)	—
2	石狩鳥類研究会	毎年の記録を、例えば2017年の記録であれば「石狩鳥報2017」として、翌年2月頃に発行
3	北海道希少生物調査会	—
4	日本野鳥の会札幌支部	日本野鳥の会札幌支部会報「カッコウ」B5版16ページ、年10回(1月2月4月5月6月7月8月10月11月12月)発行
5	北海道地方環境事務所	—
6	一般社団法人 北海道自然保護協会	・北海道自然保護協会会誌毎年1回発行 ・NC HOKKAIDO 会報毎年3回発行 ・その他資料、パンフレット
7	石狩浜夢の木プロジェクト	—
8	石狩浜定期観察の会	・いしかり砂丘の風資料館紀要(第2巻(2012年3月発行)) 「はまなすの丘公園で見られる主な植物の2011年における開花・結実フェノロジー」p49～55)

【Ⅲ. 自然環境情報のゾーニング計画での活用について】

【Ⅲ-1 情報の提供、ゾーニング計画での利用について

保有している動植物の生息、分布情報等の本ゾーニング計画での利用について、該当する番号に○（複数可）をつけて下さい。

※ゾーニング計画では、主に動植物の生息・生育位置、確認状況に関する既往情報を地図上に整理し利用します。

- ①一般に公開している情報については、ゾーニング計画での利用は可能
- ②一般に公開している情報については、「条件」によりゾーニング計画での利用は可能
- ③非公開情報についても、「条件」によりゾーニング計画での利用は可能
- ④一般に公開している情報を含めて、ゾーニング計画での利用はすべて不可
- ⑤その他

】

情報の提供、ゾーニング計画での利用については、「①一般に公開している情報については、ゾーニング計画での利用は可能」が 3 団体（37%）、「③非公開情報についても、「条件」によりゾーニング計画での利用は可能」が 2 団体（25%）、①と③を選択した団体が 2 団体（25%）、「②一般に公開している情報については、「条件」によりゾーニング計画での利用は可能」と③と「⑤その他」を選択した団体が 1 団体（13%）であった。

表 4-2（9） 情報の提供、ゾーニング計画での利用について

整理 番号	団 体 名 （自然環境関連）	Ⅲ-1 情報の提供、ゾーニング計画での利用について
1	NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ （石狩浜海浜植物保護センター）	①一般に公開している情報については利用可能
2	石狩鳥類研究会	①一般に公開している情報については利用可能
3	北海道希少生物調査会	①一般に公開している情報については利用可能
4	日本野鳥の会札幌支部	①一般に公開している情報については利用可能 ③非公開情報についても「条件」により利用可能
5	北海道地方環境事務所	③非公開情報についても「条件」により利用可能
6	一般社団法人 北海道自然保護協会	②一般に公開している情報については「条件」により利用可能 ③非公開情報についても「条件」により利用可能 ⑤その他（但し希少種等については配慮する）
7	石狩浜夢の木プロジェクト	③非公開情報についても「条件」により利用可能
8	石狩浜定期観察の会	①一般に公開している情報については利用可能 ③非公開情報についても「条件」により利用可能

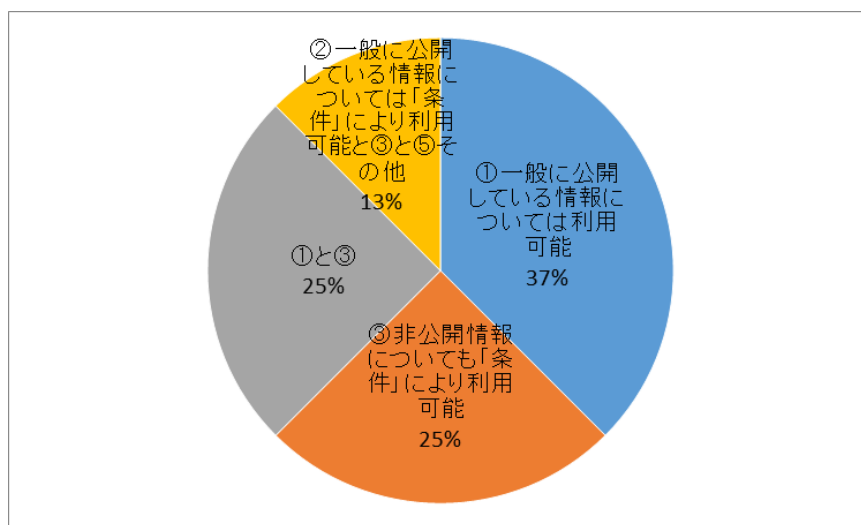


図 4 - 2 (8) 情報の提供、ゾーニング計画での利用について

【Ⅲ-1 情報利用の際の「条件」等について

提供頂いた情報を利用する際の「条件」等がある場合、その内容を枠内に記入ください。】

利用条件について表 4-2(10)に示す。は、出典の明記、重要種の位置情報の非公開、ゾーニング計画以外の用途には使用しない又は要相談等の条件が挙げられている。

表 4-2 (10) 情報の提供、ゾーニング計画での利用について

整理 番号	団 体 名 (自然環境関連)	Ⅲ-2 利用条件について
1	NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ (石狩浜海浜植物保護センター)	—
2	石狩鳥類研究会	出典を明記すること。参考資料として「石狩鳥報」を記すだけでも可。
3	北海道希少生物調査会	ポイントを絞らない。そのためには、概査しないとウソの情報になりますよ。
4	日本野鳥の会札幌支部	・ゾーニング計画以外の用途には使用しないこと。 ・1900 年代の古い情報は現況と相違があるため取扱いに注意すること。
5	北海道地方環境事務所	提供依頼により、メッシュ単位での情報提供可。
6	一般社団法人 北海道自然保護協会	重要種の繁殖地その他の位置情報が一般に公開されない様配慮すること。
7	石狩浜夢の木プロジェクト	ゾーニング計画での利用については特に「条件」はない。 他の用途に使用する時は要相談。
8	石狩浜定期観察の会	ゾーニング計画以外の用途に使用しないこと。 他の用途への使用については要相談。

【Ⅳ. その他】

【 本アンケートに関するその他のご意見がありましたら、ご記入ください。

また、石狩市および周辺地域で自然環境に関する活動を行っている他の団体の情報など、その他の情報がありましたら、ご記入ください。 】

その他意見等について表 4-2(11)に示す。生物情報に対する意見や他の団体の情報等について挙げられている。

表 4-2 (11) その他意見等

整理番号	団 体 名 (自然環境関連)	Ⅳ その他
1	NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ (石狩浜海浜植物保護センター)	—
2	石狩鳥類研究会	・Ⅲ-1 で④（利用すべて不可）であれば、他の項目については答えても無意味ではないでしょうか。 ・基本的に「再生可能エネルギー（風力発電）の導入の推進」である以上、他団体の情報提供は困難です。その団体が風車建設反対の方針をとっているかもしれません。
3	北海道希少生物調査会	・鳥類以外の動物たちについて力を入れているのか？疑問に思う。 ・厚田区沿岸域にてシロマダラが確認されています。個人的には川沿いにどこまで分布するのかわからないことが多くて、事業などとの関わりに不安を覚えます。コウモリの生息状況を調べた方が良いでしょう。
4	日本野鳥の会札幌支部	・当支部の他に公益財団法人日本野鳥の会自然保護室（本部：東京）では石狩市での鳥類調査データや日本・海外での風力発電関連情報を豊富に有しているし、著作物も多数出版している。 ・公益財団法人山階鳥類研究所保全研究室鳥類標識センターは環境省の委託を受けて、鳥類標識調査（バンディング調査）を全国で行っている。過去にも多くの方々が石狩市内での鳥類標識調査を実施している。鳥類標識調査情報（年月日・調査場所・鳥類名・捕獲数・性別・成鳥幼鳥別など）を保有しているので鳥類保護補選に役立つのであれば石狩市より情報の提供依頼をして欲しい。
5	北海道地方環境事務所	—
6	一般社団法人 北海道自然保護協会	自然環境や人間への影響の配慮が甘い。大型小型風車による低周波振動他の影響の評価が著しく欠けている。
7	石狩浜夢の木プロジェクト	・小樽総合博物館は銭函 4・5 丁目の砂丘周辺での植物と昆虫の調査を行っている（博物館紀要 2008～2012 年）。 ・佐藤謙氏（北海学園大名誉教授）は、2016 年に石狩海岸（小樽市銭函 4・5 丁目～石狩市厚田区無煙浜）の砂丘及び海岸林の植生調査を行っている。 ・小林英男氏は昆虫全般について石狩市域も含め広域的に調査を行っている。2015 年に厚田区古たんにて、甲虫ハネカクシ科の新種を発見している。
8	石狩浜定期観察の会	・石狩海岸の海浜性キノコの情報については、北方菌類フォーラム及び星野保氏（産業技術総合研究所生物プロセス研究部門）が詳しい。 ・志賀健司学芸員（砂丘の風資料館）が、砂泥底に自生する草本類アマモの情報を持っている。また、あそび一ちにおける海水の基礎データ（海水温、塩分濃度等）を毎日測定している。 ・石川治氏（花畔網 [HP] 制作者）は、はまなすの丘公園の砂嘴の地形変化を継続的に調査している。